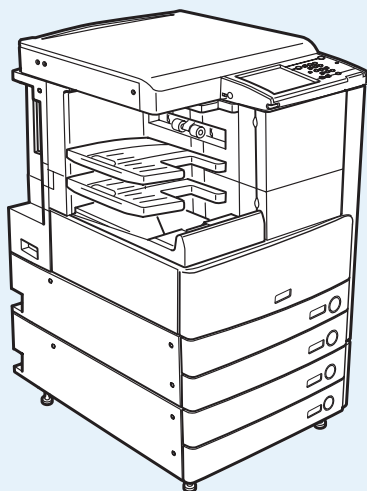
Canon

レーザービームプリンタ

Satera
LBP4510

操作ガイド

最初にお読みください。

ご使用前に必ず本書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

次ページで本製品の取扱説明書を紹介しています。目的に応じてお読みください。

はじめに

第1章　お使いになる前に

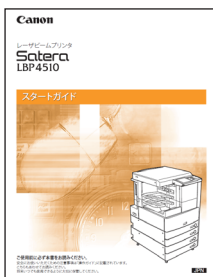
第2章　日常のメンテナンス

第3章　困ったときには

第4章　付録

取扱説明書のご紹介

本製品の取扱説明書は、下記のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本製品を十分にご活用ください。

本製品の設置後に行う作業および設定について知るには（本書）

スタートガイド※

本製品の設置後、ご使用になる機能にあわせて行う作業および設定について知りたいときにお読みください。

- ネットワークの設定について
- コンピュータから本製品を管理する
- コンピュータから印刷する前に

本製品の使いかた、機能の概要を早く簡単に知るには

かんたん印刷ガイド※

基本的な操作方法を知りたい、本製品でどんなことができるのか概要をつかみたい、どのような便利な機能がそろっているのか知りたいときにお読みください。本製品のそばに置いてご利用ください。

- 操作パネルについて
- パソコンからのプリントについて
- ボックスへの保存について
- ボックスからのプリントについて
- ボックス機能の使いかたについて
- その他便利な機能を知りたいとき

本製品の取り扱いかた、トラブルの解決方法について知るには

操作ガイド※

本製品をご使用いただくときの注意事項や日常のメンテナンス方法、トラブルの解決方法について知りたいときにお読みください。本製品のそばに置いてご利用ください。

- 取り扱う前に知っておくことは
- トナー容器を交換するときは
- 用紙を補給するには
- 紙づまりが起きたときは
- 仕様
- システム管理者の方が行う設定について

※ 製品に同梱されている紙マニュアルです。また、付属の ユーザーズガイドにもPDFで収められています。

本製品の取り扱い、操作方法について知るには

ユーザーズガイド

付属の取扱説明書 CD-ROM に含まれる下記の内容をお使いのパソコンで閲覧できます。

● はじめに

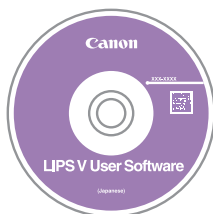
・お使いになる前に	本製品をお使いになる前に知っておいていただきたいことを説明しています。
・取扱説明書の使いかた	取扱説明書の使いかたや動作環境について説明しています。
・こんなことができます	本製品の特徴や便利な使いかた、機能について説明しています。
・基本的な使いかた	本製品の基本的な使いかたについて説明しています。
・オプション機器について	本製品に装着して使用することができるオプション機器について説明しています。
・初期設定／登録	本製品を使いかたにあわせて設定する「初期設定／登録」について説明しています。

● 困ったときには

・トラブルシューティング	紙づまりが起きたときや、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。
・メンテナンス	用紙の補給方法や消耗品の交換方法について説明しています。

● プリント　● ボックス　● ネットワーク　● リモート UI

● セキュリティ　● ソフトウェア　● MEAP/SSO

本製品のドライバのインストール方法を知るには

User Software CD-ROM:
- **プリンタドライバ インストールガイド**
- **Macintosh 用プリンタドライバ オンラインマニュアル**

マニュアルは、User Software CD-ROMに収められています。
パソコンから印刷するためのドライバをインストールする方法を知りたいときにお読みください。ドライバの選択方法、マニュアルの表示方法については、スタートガイド 第9章をご参照ください。

本書の構成について

第 1 章　お使いになる前に

必ずお読みください

第 2 章　日常のメンテナンス

第 3 章　困ったときには

第 4 章　付録

本体やオプション機器の仕様、レポートサンプル、用紙のセット向きについて、ローマ字入力表、JIS 漢字コード表などを説明、掲載しています。

目次

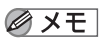
第２章　日常のメンテナンス

第 3 章　困ったときには

第４章　付録

はじめに

このたびはキヤノン LBP4510 をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本製品の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。また、お読みいただきました後も大切に保管してください。

本書の読みかた

マークについて

本書では、安全のためにお守りいただきたいことや取り扱い上の制限・注意などの説明に、下記のマークを付けています。

警告 取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

注意 取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

重要 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。誤った操作によるトラブルや故障、物的損害を防ぐために、必ずお読みください。

メモ 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

製品の取り扱いにおいて、その行為を禁止することを示しています。指示内容をよく読み、禁止されている事項は絶対に行わないでください。

キーについて

本書では、キー名称を以下のように表しています。

- タッチパネルディスプレイ上のキー：[キー名称]

  例：[キャンセル]
  　　[閉じる]

- 操作パネル上のキー：<キーアイコン>＋（キー名称）

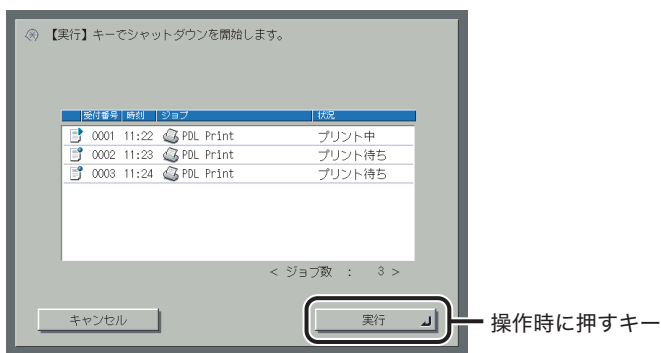
  例：(初期設定／登録)

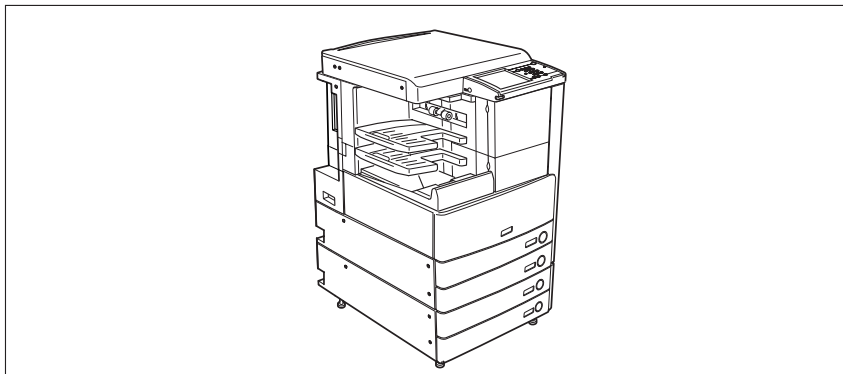
画面について

本書で使われている画面は、お使いの環境によって表示が異なる場合があります。

アクセサリ、オプションの組み合わせによって使用できない機能に関しては、本製品の画面には表示されませんが、ご了承ください。

操作時に押すキーの場所は、（丸）で囲んで表しています。また、操作を行うキーが複数表示されている場合は、それらをすべて囲んでいますので、ご利用に合わせて選択してください。

2 実行中または待機中のジョブを確認したあと、［実行］を押します。

イラストについて

本書で使われているイラストは、特にお断りがない限り、フィニッシャー・S1、フィニッシャー用追加トレイ・B1、2段カセットペディスタル・Y3が装着されている場合のものです。

略称について

本書に記載されている名称は、下記の略称を使用しています。

Microsoft Windows operating system： Windows

本書では、郵便事業株式会社製のはがきを「郵便はがき」と記載しています。

商標について

規制について

本体製品名称について

この製品は、販売されている地域の安全規制に従って、以下の（）内の名称で登録されている場合があります。

LBP4510（F152001）

電波障害規制について

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

通信ケーブルはシールド付をご使用ください。

VCCI-B

高調波の抑制について

本機器は JIS C 61000-3-2 高調波電流発生限度値に適合しています。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。
国際エネルギースタープログラムは、コンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化推進のための国際的なプログラムです。このプログラムは、エネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリおよび複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク（ロゴ）は参加各国の間で統一されています。

IPv6 Ready Logo について

本製品搭載のプロトコルスタックは、IPv6 Forum が定める IPv6 Ready Logo Phase-1 を取得しています。

物質エミッションに関する認定基準について

粉塵、オゾン、スチレン、ベンゼンおよび TVOC の放散については、エコマーク No.122「プリンタ Version2」の物質エミッションの放散速度に関する認定基準を満たしています。（トナーは本製品用に推奨しておりますCanon Toner Cartridge 530を使用し､印刷を行った場合について、試験方法：RAL-UZ122：2006 の付録 2 に基づき試験を実施しました。）

第三者のソフトウェアについて

A. お客様がご購入のキヤノン製品（以下、「本製品」）には、第三者のソフトウェア・モジュール（その更新されたものを含み以下、「第三者ソフトウェア」）が含まれており、かかる「第三者ソフトウェア」には、以下１～８の条件が適用されます。

1. お客様が「第三者ソフトウェア」の含まれる「本製品」を、輸出または海外に持ち出す場合は、日本国及び関連する諸外国の規制に基づく関連法規を遵守してください。
2. 「第三者ソフトウェア」に係るいかなる知的財産権、権原および所有権は、お客様に譲渡されるものではなく、「第三者ソフトウェア」の権利者に帰属します。
3. お客様は、「第三者ソフトウェア」を、「本製品」に組み込まれた状態でのみ使用することができます。
4. お客様は、権利者の事前の書面による許可無く、「第三者ソフトウェア」を開示、再使用許諾、販売、リース、譲渡してはなりません。
5. 上記にかかわらず、お客様は、以下の条件に従う場合のみ、「第三者ソフトウェア」を譲渡することができます。
   ・お客様が「本製品」に関するすべての権利、および「第三者ソフトウェア」に関するすべての権利および義務を譲渡すること
   ・お客様から譲渡を受ける者が、「本製品」に附帯する条件に同意していること
6. お客様は、「第三者ソフトウェア」の全部または一部を修正、改変、逆アセンブル、逆コンパイル、その他リバースエンジニアリング等することはできません。
7. お客様は、「本製品」に含まれる「第三者ソフトウェア」を除去したり、「第三者ソフトウェア」を複製してはなりません。
8. 「第三者ソフトウェア」中のソースコードについては、お客様にいかなるライセンスも許諾されません。

B. 上記 A の条件にかかわらず、別途固有の許諾条件が用意されている第三者のソフトウェア、および下記に記載されたオープンソースソフトウェアについては、別途の許諾条件が適用されるものとします。

別途固有の許諾条件が用意されている第三者のソフトウェアについて

詳細およびライセンス条件につきましては、本製品に同梱されている CD-ROM 内の e マニュアルをご参照ください。

オープンソースソフトウェアについて

本製品に搭載されるオープンソースソフトウェアについて、対応するそれぞれのライセンス条件に基づき、ソースコードの入手を希望される方は、日本語または英語で下記メールアドレスまでご連絡ください。

<oipossg@canon.co.jp>

詳細およびライセンス条件につきましては、本製品に同梱されている CD-ROM 内の e マニュアルをご参照ください。

原稿などを読み込む際の注意事項

以下を原稿として読み込むか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製する場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

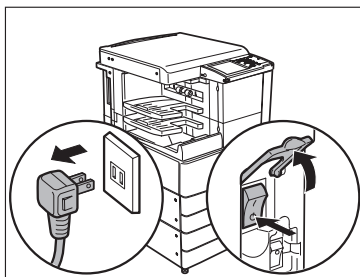
［関係法律］		
	● 刑法	● 郵便法
	● 著作権法	● 郵便切手類模造等取締法
	● 通貨及証券模造取締法	● 印紙犯罪処罰法
	● 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律	● 印紙等模造取締法

安全にお使いいただくために

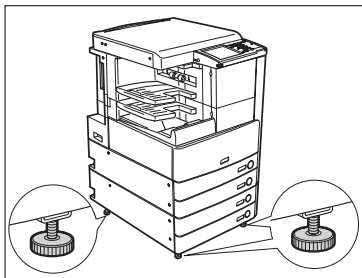
本製品をお使いになる前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みいただき、正しくご使用ください。ここに書かれている警告・注意事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容ですので、必ずお守りください。また、本書に記載されていること以外は行わないでください。

設置について

警告

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の上に次のような物を置かないでください。これらが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になることがあります。
  製品内部に入った場合は、直ちに操作部電源スイッチを切り、本体右側の主電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
  ・ネックレスなどの金属物
  ・コップ、花瓶、植木鉢など、水や液体が入った容器

注意

- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所、振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 製品には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。通気口をふさがれると製品内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 製品を次のような場所に設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
  ・湿気やほこりの多い場所
  ・水道の蛇口付近などの水気のある場所
  ・直射日光のあたる場所
  ・高温な場所
  ・火気に近い場所

- 設置したあとは、製品固定用のストッパは外さないでください。製品が動いたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。

電源について

警告

- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものを置いたり、引っぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。
- 電源コードを熱器具に近づけないでください。コードの被覆が溶けて、火災や感電の原因になります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。
- タコ足配線はしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードを束ねたり、結んだりしないでください。火災や感電の原因になります。
- 電源コードはコンセントの奥までしっかりと差し込んでください。しっかりと差し込まないと、火災や感電の原因になります。
- 付属の電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離して行って下さい。
- アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になります。
- アース線を接続するときは、以下の点にご注意ください。
  〈アース線を接続してもよいもの〉
  電源コンセントのアース端子
  接地工事（D 種）が行われているアース端子
  〈アース線を接続してはいけないもの〉
  水道管：配管の途中でプラスチックになっている場合があり、その場合にはアースの役目を果たしません。ただし、水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。
  ガス管：ガス爆発や火災の原因になります。
  電話線のアースや避雷針：落雷のときに大きな電流が流れ、火災や感電の原因になります。
- 原則的に延長コードは使用しないでください。また、延長コードの多重配線はしないでください。火災や感電の原因になります。やむを得ず延長コードを使用する場合は、100 V15 A 以上のものを使用してください。使用時は束ねをほどき、電源コードと延長コードの接続が確実になるように根もとまで電源プラグを差し込んでください。

注意

- 表示された以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。

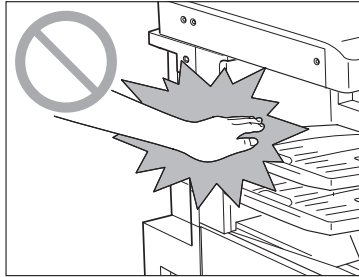
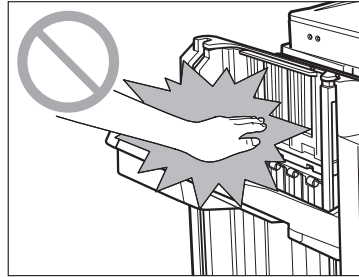
取り扱いについて

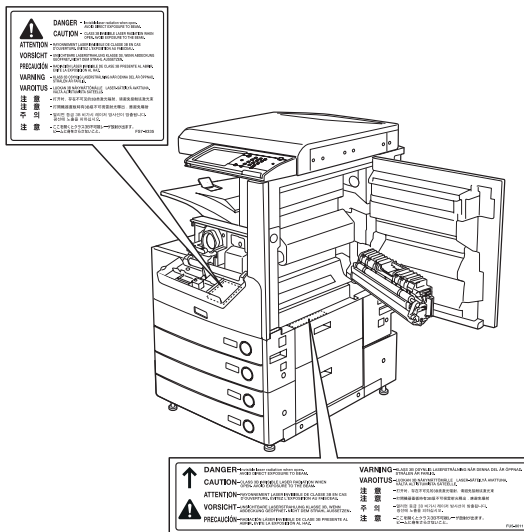
警告

- 製品を分解したり、改造したりしないでください。内部には高圧・高温の部分があり、火災や感電の原因になります。
- 異常な音がしたり、煙が出たり、熱が出たり、変なにおいがした場合は、直ちに操作部電源スイッチを切り、本体右側面の主電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いて、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。そのまま使用すると、火災や感電の原因になります。
- 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスなどが製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品を移動させる場合は、必ず操作部電源スイッチを切り、本体右側面の主電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜き、インタフェースケーブルを取り外してください。そのまま移動すると電源コードやインタフェースケーブルが傷つき、火災や感電の原因になります。
- 製品内部にクリップやホッチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが製品内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。これらが製品内部に入った場合は、直ちに操作部電源スイッチを切り、本体右側面の主電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

注意

- 製品の上に重いものを置かないでください。置いたものが倒れたり、落ちてけがの原因になることがあります。
- プリント中は、フィニッシャのトレイに触れたりしないでください。フィニッシャのトレイはプリント中に位置が移動するため、けがの原因になることがあります。
- 夜間などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため操作部電源スイッチを切ってください。また、連休などで長時間ご使用にならない場合は、安全のため操作部電源スイッチを切り、本体右側面の主電源スイッチを切ってから、電源プラグを抜いてください。
- 左側面など、本製品の排紙部にあるローラには手を近づけないでください。動作中でなくても、プリントなどのため急に動き出し、衣服や手が巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

- フィニッシャを装着しているときは、トレイ内のステイプルされる場所やローラ部に手を入れないでください。けがの原因になることがあります。

フィニッシャー・S1

フィニッシャー・AE1／
サドルフィニッシャー・AE2

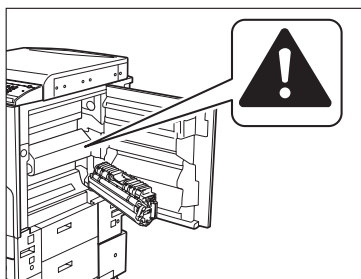
- レーザー光は、人体に有害となる恐れがあります。そのため本製品では、レーザー光はレーザースキャナユニット内にカバーで密封されており、お客様が通常の操作をする場合にはレーザー光が漏れる心配はありません。安全のために以下の注意事項を必ずお守りください。
- 本書で指示された以外のカバーは、絶対に開けないでください。
- 本製品に貼ってある以下の注意ラベルをはがさないでください。

- この製品はIEC60825-1:2007においてクラス1レーザ製品であることを確認しています。
- 万一レーザー光が漏れて目に入った場合、目に障害が起こる原因になることがあります。
- 本書で規定された、制御、調整および操作手順以外のご利用は、危険な放射線の露出を引き起こす可能性があります。

保守／点検について

⚠ 警告

- 清掃のときは、操作部電源スイッチを切り、本体右側面にある主電源スイッチを切ってから電源プラグを抜いてください。火災や感電の原因になります。
- 電源プラグを定期的に抜き、その周辺およびコンセントにたまったほこりや汚れを、乾いた布で拭き取ってください。ほこり、湿気、油煙の多いところで、電源プラグを長期間差したままにすると、その周辺にたまったほこりが湿気を吸って絶縁不良となり、火災の原因になります。
- 清掃のときは、必ず水または水で薄めた中性洗剤を含ませて固く絞った布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。引火性溶剤が製品内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。
- 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になります。
- 使用済みのトナー容器を火中に投じないでください。トナー容器内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

⚠ 注意

- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。

- 紙づまり処理やトナー容器を交換するときは、トナーで衣服や手を汚さないように注意してください。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 用紙を補給するときや紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意して扱ってください。
- トナー容器を補給口から取り外すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナー容器は分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナー容器からトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

消耗品について

⚠ 警告

- トナー容器を火中に投じないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナー容器、用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーや用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。
- トナー容器を廃棄する場合は、トナー容器を袋に入れてトナーが飛び散らないようにし、自治体の指示に従って処理してください。

⚠ 注意

- トナーなどの消耗品は幼児の手が届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- トナー容器は分解しないでください。トナーが飛び散って目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- トナー容器からトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。

資源再利用のお願い

キヤノンでは環境保全ならびに資源の有効活用のため、リサイクルの推進に努めております。回収窓口が製品により異なりますので、以下の内容をお読みいただき、ご理解とご協力をお願いします。

■ **使用済みプリンタの受け入れ場所について**

使用済みとなったプリンタにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、回収されたオフィス用、使用済みプリンタのリサイクルを推進しています。 使用済みのプリンタの回収については、お買い求めの販売店、または弊社お客様相談センターもしくは担当の営業にお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、廃棄物処理法に従い処分してください。

■ **使用済みドラムユニット、トナー容器（カートリッジを含む）などの回収について**

使用済みとなったトナー容器などにつきましては、次のように回収を行っています。お問い合わせ先に注意してご連絡願います。

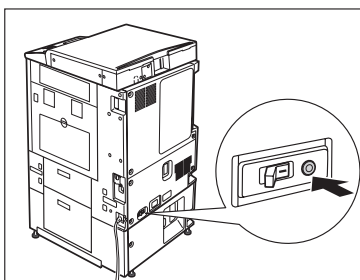
	キヤノンでは、環境保全と資源の有効活用のため、使用済みドラムユニットおよび使用済みトナー容器の回収とリサイクルを推進しています。 使用済みドラムユニット、トナー容器の回収については、担当のサービス店、または弊社お客様相談センターにお問い合わせください。 なお、事情により回収にご協力いただけない場合には、トナーがこぼれないようにビニール袋等に入れて、地域の条例に従い処分してください。

ブレーカーの定期点検

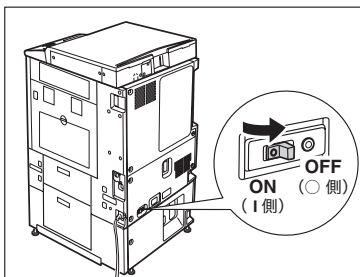
本製品には感電防止のため、過電流や漏電を検知するブレーカーが装着されています。
以下の手順に従って、月に１～２度必ずブレーカーの定期点検を行ってください。

重要
- ブレーカーの定期点検は、本製品の主電源スイッチが OFF の状態で行ってください。
- ブレーカーの定期点検を行って正常に動作しなかった場合は、担当サービスにご連絡ください。

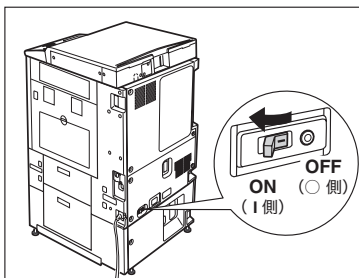
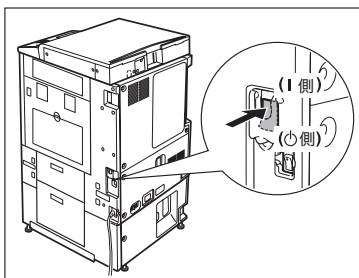
ブレーカーのチェックのしかた

1 ボールペンの先などで本体背面のブレーカーのテストボタンを押します。

重要 テストボタンを押すときは、押し続けないですぐに離してください。

メモ
- ブレーカーは本製品の背面にあります。
- ブレーカーの位置の詳細については、「本体外観」（→P.1-10）を参照してください。

2 ブレーカースイッチが OFF（◯側）の方へ倒れることを確認します。

重要

- 主電源を ON/OFF する目的でテストボタンを使用しないでください。
- ブレーカースイッチが OFF（◯側）の方へ倒れない場合は、手順 1 をもう一度行います。
- 手順 1 を 2 〜 3 度繰り返してもブレーカースイッチが OFF（◯側）の方へ倒れない場合は、担当サービスにご連絡ください。

3 ブレーカースイッチを ON（I 側）へ戻します。

4 主電源スイッチを「I」側へ倒します。

5 次頁のブレーカー点検チェックシートにテストの日時を記入します。

ブレーカー点検チェックシート

ブレーカー点検チェックシートはコピーをとって使用してください。また使用したあとも本製品のそばに置いて、大切に保管してください。

■ ブレーカーの定期点検のしかた

月に 1 ～ 2 度、「ブレーカーの定期点検」（➞P.xxii）に従って行ってください。

■ ブレーカー点検チェックシートの記入のしかた

点検を行った日と点検者の名前を記入してください。

点検の結果、異常がなければ OK の欄をチェックしてください。異常があった場合は、担当サービスに連絡してください。（NG の欄をチェックしてください。）

点検日	点検者名	点検結果	
		OK	NG

点検日	点検者名	点検結果	
		OK	NG

お使いになる前に

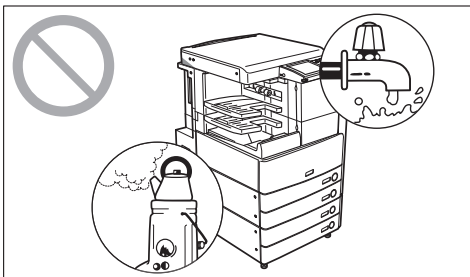
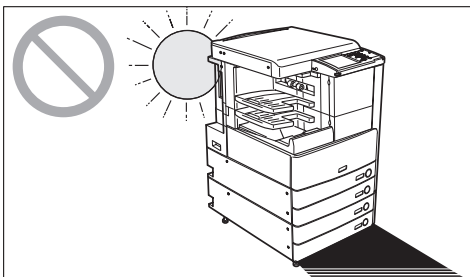
本製品をお使いになる前に知っておいていただきたいことを説明しています。

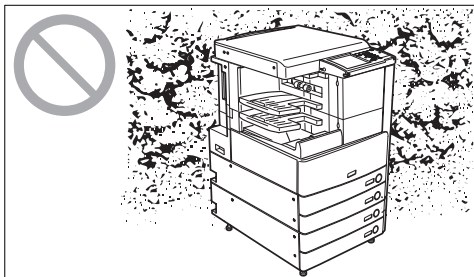
設置場所と取り扱いについて

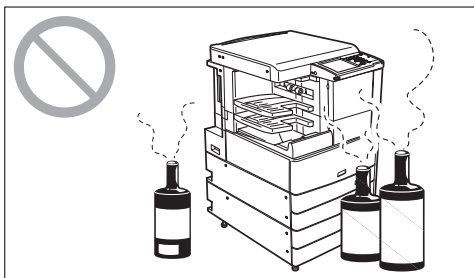
設置場所と取り扱いについての注意事項を記載しています。お使いになる前に必ずお読みください。

設置場所のご注意

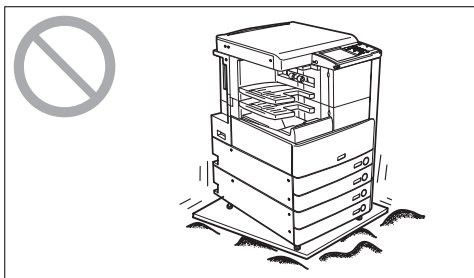
次のような場所への設置は避けてください

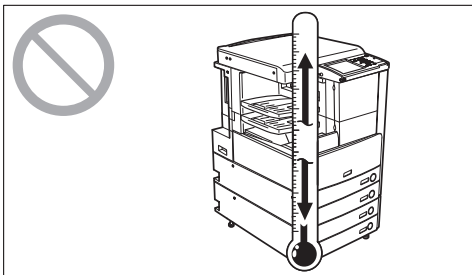
■ **低温、低湿または高温、高湿の場所**
水道の蛇口、湯沸器、加湿器、エアコン、ヒータ、ストーブなどの近く。

■ **直射日光の当たる場所**
やむをえない場合はカーテンなどで遮光してください。カーテンが製品の通気口をふさいだり、電源コードや電源プラグにかぶさらないように注意してください。

■ 換気の悪い場所

使用中の製品からは、オゾンなどが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。

■ ホコリ、チリなどの多い場所

■ アンモニアガスの発生する場所

■ アルコール、シンナーなどの近く

■ 振動の多い場所

床や土台などが不安定な場所

■ 温度が急に変化する場所

冷えきった部屋を急激に暖めたときなど、製品内部に水滴がつき（結露現象）、画像が著しく損なわれたり、プリント画像が写らないことがあります。

■ コンピュータなどの電子機器や精密機械の近く

電気的な原因や動作時の振動により、電子機器、精密機器などに悪影響を与えることがあります。

■ テレビ、ラジオなどの電子機器の近く

テレビやラジオ、オーディオ機器に、画面のチラツキや雑音の発生などの受信障害が生じることがあります。製品とは別系統の電源を使用し、離して設置してください。

■ 本体固定用のストッパについて

一度設置したあとは、本体固定用のストッパは外さないでください。

カセットや本体ユニットをすべて引き出した状態で、機械前部に荷重をかけると、機械が前方に倒れる恐れがあり大変危険です。ストッパは必ず固定しておいてください。

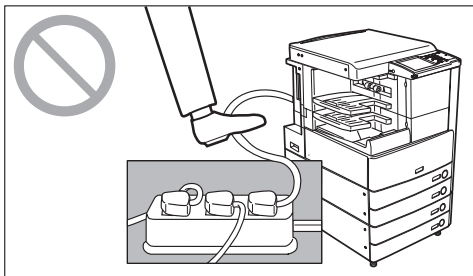
電源は安全な場所から

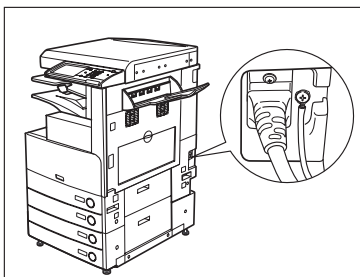
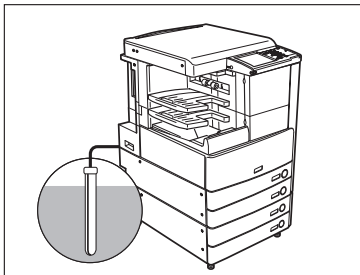
■ 電源は 100 V（90 V ～ 110 V）15 A 以上のコンセントに製品の電源プラグを接続してください。

■ 製品への電源供給が安全であること、安定電圧であることを確認してください。

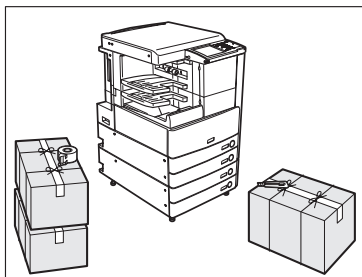
■ 同じコンセントには、ほかの電気製品を接続しないでください。

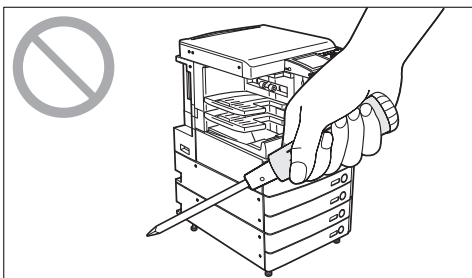
■ テーブルタップなどによるタコ足配線はしないでください。火災の原因になることがあります。

■ 電源コードを踏みつけたり、重いものをのせたりしないでください。コードがいたみ、そのままご使用を続けると、火災や感電などの事故の原因になります。

アース線の接続を忘れずに

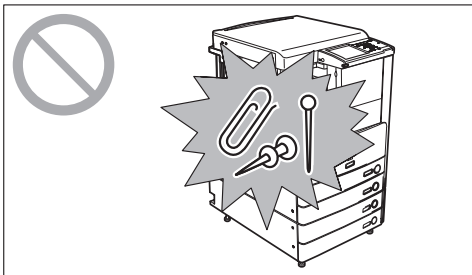
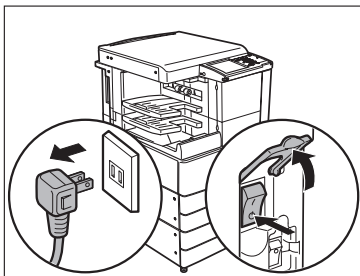
■ **感電防止のため必ずアース線を接続してください。**

- 接地接続は必ず、電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、接地接続を外す場合は、必ず電源プラグを電源から抜いて行ってください。
- アース線を接続してよいもの
  - ・電源コンセントのアース端子
  - ・接地工事（第 D 種）が行われているアース端子
- アース線を接続してはいけないもの
  - ・ガス管（引火や爆発の危険があります。）
  - ・水道管（配管途中がプラスチックになっている場合があり、その場合はアースの役目を果たしません。ただし水道局がアース対象物として許可した水道管にはアース線を接続できます。）
  - ・電話線のアースや避雷針（落雷のときに大量の電流が流れ危険です。）

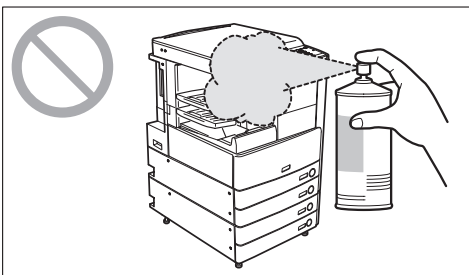
移動の際はご連絡を

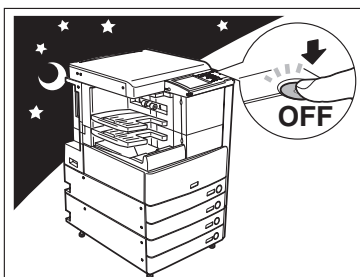
■ 製品の移動は、お客様ご自身で行わず、必ず担当サービスにご連絡ください。

取扱上のご注意

■ 製品を分解したり、改造したりしないでください。

■ 製品の内部には高温、高圧になる部分があります。内部点検の際は十分に注意してください。また、この取扱説明書に記載されていないことは行わないでください。

■ 排紙直後の用紙は、熱くなっている場合があります。特に連続印刷した場合は、用紙を取り除くときや、取り除いた用紙を揃えるときに注意してください。やけどの原因になることがあります。

■ 製品の内部にクリップなどの異物を落とさないでください。また水などの液体をこぼさないでください。これらが電圧部分に接触すると、短絡や漏電などが起き、火災や感電の原因になる恐れがあります。

■ 異常な音がしたり煙が出たりした場合は、直ちに主電源スイッチを切り、コンセントから電源プラグを抜き、担当サービスにご連絡ください。また、いつでも電源プラグが引き抜けるよう、電源プラグの周りには物を置かないようにしてください。

■ 動作中に主電源スイッチを切ったり、前カバーを開けたりしないでください。紙づまりの原因になります。

■ 製品の近くでは可燃性のスプレーなどは使用しないでください。火災の原因になります。

■ 使用中の製品からは、オゾンなどが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い場所で長時間使用する場合や、大量にプリントする場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。

■ 夜間など長時間製品をご使用にならない場合は、操作部電源スイッチを切ってください。

データのバックアップについて

本製品は、初期設定／登録の設定内容などのデータを内蔵のハードディスクに保存しています。

万一、ハードディスクに不具合が発生した場合、受信したデータや記録保存したデータが消失することがあります。大切なデータは定期的にバックアップを行ってください。

お客様のデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

バックアップできるデータは以下のとおりです。

■ 初期設定／登録の設定内容、ボックスデータ

各データのバックアップ（エクスポート）については、ユーザーズガイド > リモート UI を参照してください。

■ 機器情報配信機能によって送信できる登録内容

本製品が持つ登録内容を子機側へ配信することで一時的なバックアップを行うことができます。機器情報配信機能については、ユーザーズガイド > セキュリティを参照してください。

■ MEAP 関連のデータ

- MEAP アプリケーションのライセンスファイル

  ライセンスファイルのバックアップ（ダウンロード）については、ユーザーズガイド > MEAP/SSO を参照してください。

- SSO-H（Single Sign-On H）のローカルデバイス認証で登録されているユーザの認証情報

  ユーザの認証情報のバックアップ（エクスポート）については、ユーザーズガイド > MEAP/SSO を参照してください。

- MEAP アプリケーションが保存しているデータ

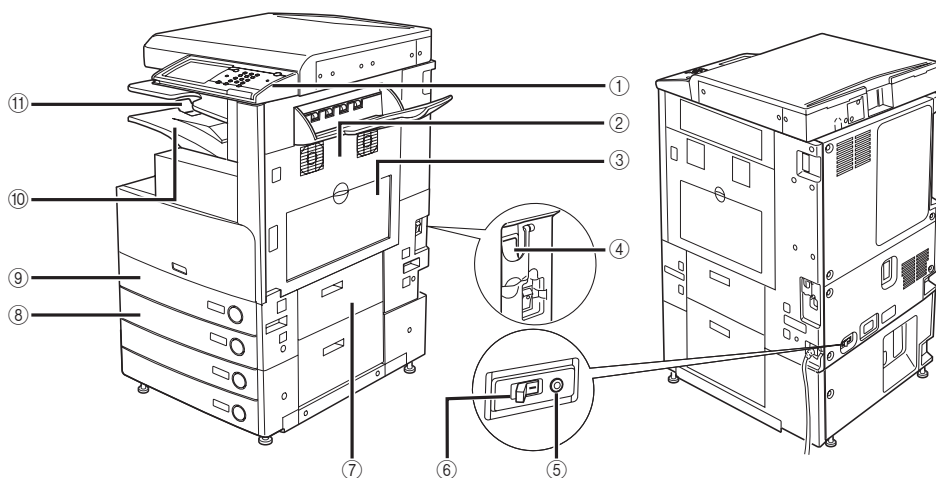
  MEAP アプリケーションによっては、保存しているデータをバックアップできる場合があります。各 MEAP アプリケーションの取扱説明書を参照してください。

本体各部の名称とはたらき

本体外観と内部、操作パネル、タッチパネルディスプレイについて、各部の名称とはたらきを説明します。

また、オプションを装着した場合の本製品の構成についても紹介します。オプション機器と、その各部の名称とはたらきの詳細については、ユーザーズガイド > オプション機器についてを参照してください。

本体外観

2 段カセットペディスタル・Y3 装着時

① **操作パネル**
本製品を操作するのに必要な、キーやタッチパネルディスプレイ、ランプなどがあります。（➞ 操作パネル各部の名称とはたらき：P.1-12)）

② **本体右カバー**
紙づまりを処理するときに、このカバーを開けます。（➞ 紙づまりが起きたときには：P.3-5）

③ **手差しトレイ**
手差しで用紙がセットできます。郵便はがきや封筒はここにセットします。（➞ ユーザーズガイド > 基本的な使いかた）

④ **主電源スイッチ**
「I」側を押すと主電源が入ります。（➞ 主電源と操作部電源について：P.1-13）

⑤ **テストボタン**
ブレーカーの定期点検をするときに押します。

⑥ **ブレーカー**
ブレーカーの定期点検をするときに操作します。漏電防止用ブレーカーです。（➞ ブレーカーの定期点検：P.xxii）

⑦ **カセット右上カバー**
紙づまりを処理するときに、このカバーを開けます。（➞ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

⑧ **カセット 2**
550 枚（80 g/m^2）または 650 枚（64 g/m^2）の用紙をセットできます。

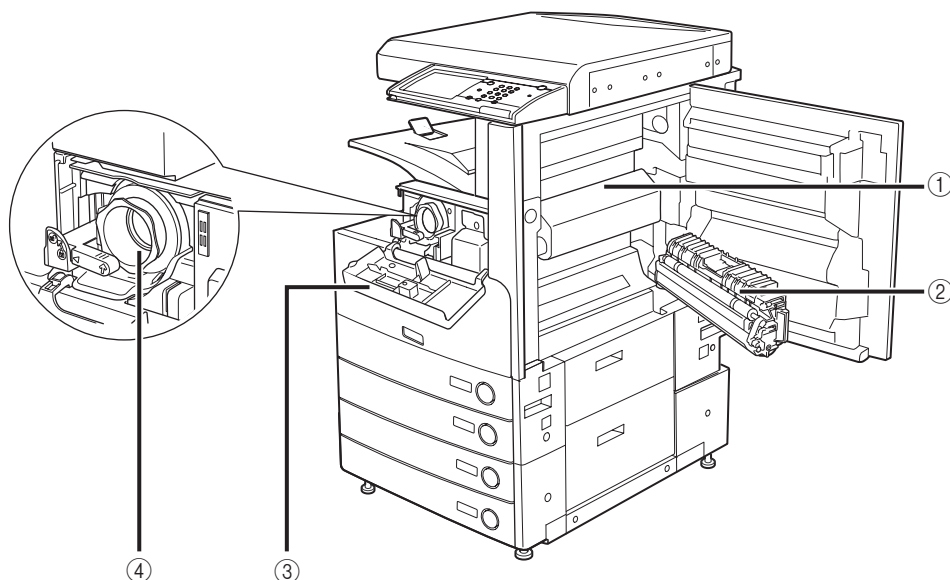
⑨ **カセット 1**
550 枚（80 g/m²）または 650 枚（64 g/m²）の用紙をセットできます。

⑩ **排紙トレイ**
プリントされた用紙が排紙されます。

⑪ **排紙トレイガイド**
プリントされた用紙が落ちないように排紙トレイガイドを起こします。

メモ　本製品に装着するオプションの詳細については、ユーザーズガイド > オプション機器についてを参照してください。

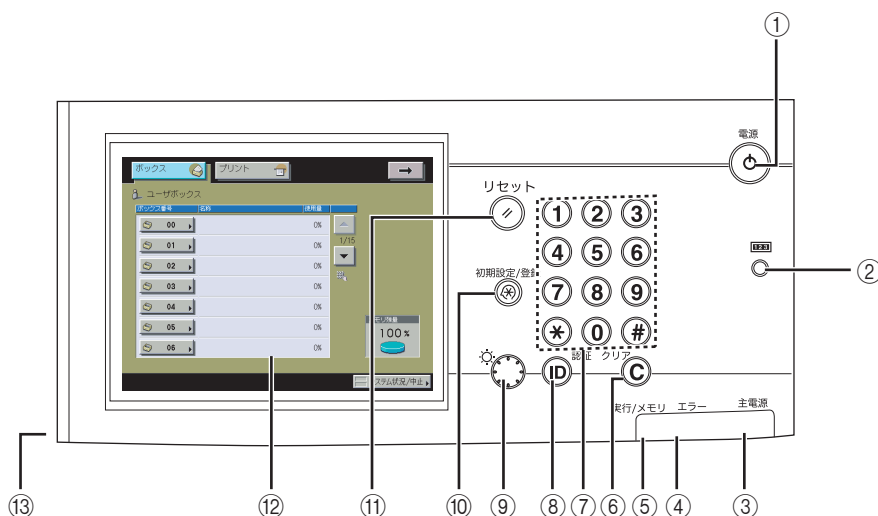
本体内部

2 段カセットペディスタル・Y3 装着時

① **定着ユニット上部カバー**
定着ユニットの紙づまりを処理するときに、このカバーを開けます。（➞ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

② **両面ユニット**
両面ユニットに紙がつまった場合は、このユニットの紙づまりを取り除きます。（➞ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

③ **トナー補給カバー**
トナー容器を交換するときに開けます。

④ **トナー容器**
トナー容器を交換するときに引き出します。

操作パネル各部の名称とはたらき

① **操作部電源スイッチ（サブ電源）**
操作部の電源を入れたり切ったりするときに押します。3 秒以上長押しすると、シャットダウンモードに移行します。（→ 主電源の切りかた：P.1-17）
切れているとき、本製品はスリープ状態になります。

② **カウンタ確認キー**
タッチパネルディスプレイにプリントの総枚数を表示するときに押します。

③ **主電源ランプ**
本体主電源が入っているときは点灯、切れているときは消灯しています。

④ **エラーランプ**
本製品にトラブルが発生したときに点滅または点灯します。点滅の場合はタッチパネルディスプレイに表示されるメッセージに従ってトラブルの対処をしてください。エラーランプが赤色に点灯し続ける場合は担当サービスへ連絡してください。

⑤ **実行／メモリランプ**
本製品が動作中は緑色に点滅します。待機中のジョブやメモリ受信文書があるときは緑色に点灯します。

⑥ **クリアキー**
入力した数字や文字を取り消すときに押します。

⑦ **テンキー**
数値を入力するときに押します。

⑧ **ID（認証）キー**
部門別 ID 管理を設定しているときに押します。

⑨ **輝度調整ダイヤル**
画面の明るさを調整します。

⑩ **初期設定／登録キー**
仕様を設定するときに押します。

⑪ **リセットキー**
設定したモードを標準モードに戻すときに押します。

⑫ **タッチパネルディスプレイ**
各機能の設定画面が表示されます。

⑬ **操作ペン**
文字入力などタッチパネルディスプレイを操作するときに使用します。
操作ペンを紛失した場合は、担当サービスにお問い合わせください。タッチパネルをシャープペンシルやボールペンなど先のとがったもので押さないでください。

主電源と操作部電源について

本製品には主電源スイッチと操作部電源スイッチの 2 つの電源スイッチがあります。また、過電流や漏電を検知するブレーカーが装着されています。

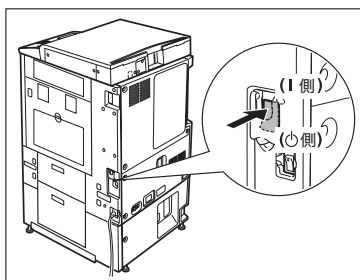
主電源の入れかた

主電源の入れかたについて説明します。

1　電源プラグがコンセントに確実に差し込まれているかを確認します。

警告　濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

注意　アース線を接続してください。アース線を接続しないで万一漏電した場合は、火災や感電の原因になることがあります。

2　本体右後側面にある主電源スイッチを「 I 」側へ倒して電源を入れます。

操作パネルの主電源ランプが点灯します。

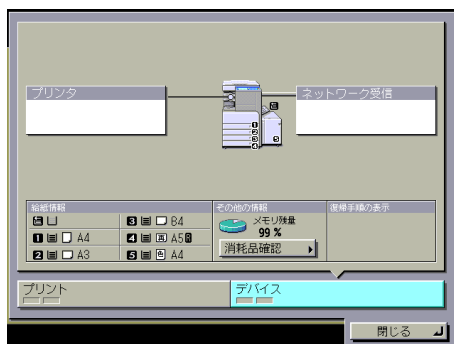
重要　主電源スイッチが入っているのに操作パネルの主電源ランプが点灯しない場合は、ブレーカーが OFF になっていないか必ず確認してください。（➞ 電源が入らないとき（ブレーカーの確認）：P.3-82）

3 プリントできる状態になるまでの画面が表示されます。

● SSO-H のログインサービスによる認証を設定せず、[機能の表示設定] で MEAP 以外を選択した場合

❑ プリントできる状態になるまで本製品の起動画面が表示されます。

タッチパネルディスプレイにメッセージが表示された場合は、手順 4 へ進みます。

❑ プリントできる状態になると下の画面が表示されます。

メモ

- このとき、モードは標準モードが設定されています。
- ボックスの標準モードの設定内容は、お好みに応じて変更することができます。(➞ ユーザーズガイド > ボックス)
- 初期設定／登録の設定によって、表示させる画面を選択することができます。(➞ ユーザーズガイド > 初期設定／登録)
- 本製品の起動直後に [➞] を押しても、画面が替わりません。少ししてからもう一度押してください。
- 本製品を起動する際に、シャットダウンされたMacintoshがUSBケーブルにより接続されている場合、本製品とともに Macintosh も起動することがあります。この場合は、USB ケーブルによる接続を取り外してください。(本製品と Macintosh の間に USB ハブを使用すると、この問題が解決される場合があります。)

● **SSO-H のログインサービスによる認証を設定せず、[機能の表示設定] で MEAP を選択した場合**

❑ プリントできる状態になるまで本製品の起動画面が表示されます。

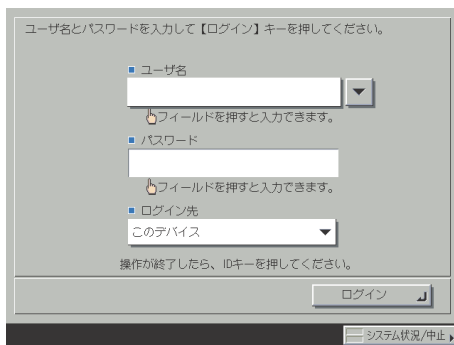
❑ 本製品の起動画面の終了後、MEAP の起動画面が表示されます。

[→] を押すと、MEAP 以外の基本画面に移動することができます。

❑ MEAP の基本画面が表示されます。

● SSO-H のログインサービスによる認証を設定択している場合

❑ 本製品の起動画面が表示されます。

❑ 本製品の起動画面の終了後、[機能の表示設定] にかかわらず、SSO-H の認証画面が表示されます。

重要　ログインサービスに SSO-H を設定している場合、プリントできる状態になるまで時間がかかります。

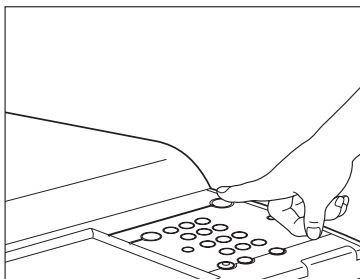
4 ログインサービスを使用する場合は、それぞれの手順に従ってログインしてください。

メモ

- オプションのカードリーダ-C1 を使用して部門別ID 管理をしている場合は、ユーザーズガイド > オプション機器についてを参照してください。
- 部門別ID 管理をしている場合は、ユーザーズガイド > 基本的な使いかたを参照してください。
- SSO-H を設定している場合は、ユーザーズガイド > 基本的な使いかたを参照してください。

操作部電源スイッチについて

スリープ状態を解除して本製品の設定やボックスなどの操作をするときに操作パネル上の操作部電源スイッチを押します。

メモ

- スリープ状態のときでもパソコンからのデータ受信プリントは可能です。
- スリープ状態が解除されてから、プリントができるまでには約 18 秒かかります。
- ［スリープ時の消費電力］を［少ない］に設定したときは、操作部電源スイッチを押してからタッチパネルディスプレイが表示されるまで、10 秒以上かかる場合があります。

主電源の切りかた

主電源の切りかたについて説明します。本製品の主電源を切る際に実行中のジョブがある場合や、MEAP アプリケーションなどが起動中の場合、ジョブを確認しながらキャンセル処理を行い、ハードディスクへのアクセスを制限します。この処理を行うことによって本製品のハードディスクを保護することができます。また、本製品内部の冷却作業を行うハードウェアの終了処理を行います。この処理を行うことによって本製品を安全に終了できます。本製品の主電源の切断は必ず以下の手順に従って行ってください。

以下の手順に従わずに主電源を切断した場合、次回立ち上げ時以降の出力画像が乱れる可能性があります。この際、正常な画像に戻すためには、多数の用紙出力が必要となります。

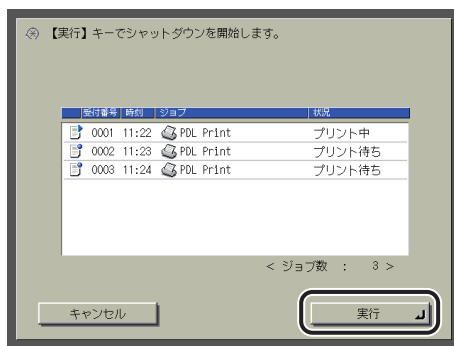
1 操作部電源スイッチを 3 秒以上長押しします。

スリープ状態の場合は、操作部電源スイッチを押してスリープ状態を解除したあと、再度 3 秒以上の長押しをしてください。

ジョブ確認画面が表示され、シャットダウンモードに移行します。

重要　フォントダウンロード中は、シャットダウンモードに移行しないでください。

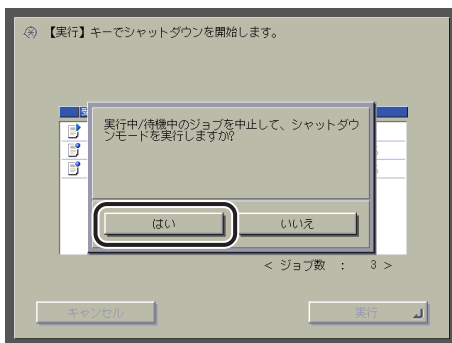
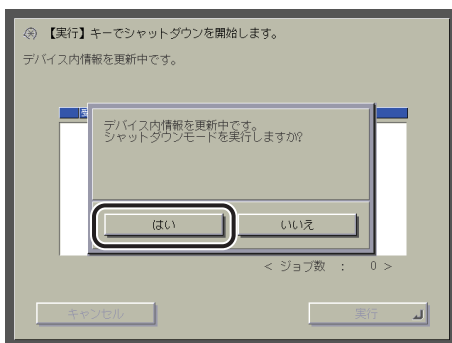
メモ
- (初期設定／登録) → ［共通仕様設定］ → ［シャットダウンモード］を押しても、シャットダウンモードに移行することができます。
- 以下の場合は、シャットダウンモードに移行することができません。
  - ・機器情報の受信中
  - ・機器情報の参照中
  - ・本製品に対しリモート UI からインポートまたはエクスポート中
- 上記の動作中以外で、まれに操作部電源スイッチを 3 秒以上長押ししてもシャットダウンモードに移行できないことがあります。その場合は、画面の指示に従って本製品の主電源を切ってください。
- シャットダウンモード実行中にプリントデータが送信されると、プリントデータの大きさによっては本製品がデータ を受信する場合があります。その場合にはプリントデータの印刷はされません。

2 実行中または待機中のジョブを確認したあと、［実行］を押します。

ジョブは、［実行］を押すまではそのまま動作を続けます。

シャットダウンモードを終了するには、［キャンセル］を押します。

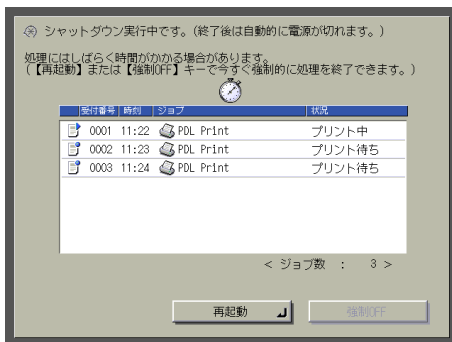
実行中のジョブがない場合は、［実行］を押したあと手順 4 へ進みます。

メモ
- ジョブ確認画面に表示されるジョブは、以下のとおりです。
  - ・実行中のプリントジョブ
  - ・待機中のプリントジョブ
- ジョブ確認画面には、実行中のジョブを先頭に、受付順に 7 件までのジョブが表示されます。

3 表示されたメッセージを確認したあと、［はい］を押します。

実行中または待機中のジョブがある場合

機器情報配信中の場合など

確認画面に表示されている実行中／待機中のジョブは、すべてキャンセルされます。また、ハードウェアの終了処理とネットワーク関連の通信処理も終了準備に移行します。

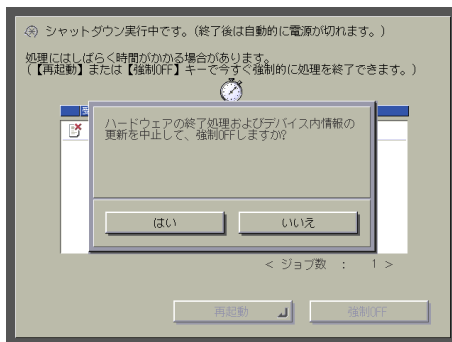
4 以下の画面が表示されるので、シャットダウンが終了するまで待ちます。

1 お使いになる前に

シャットダウン開始後、都合により本体をすぐに動作させたい場合は［再起動］➞［はい］を押します。

デバイス内情報の更新中に［再起動］を押すと、確認画面が表示されます。表示されたメッセージを確認したあと、［はい］を押します。

注意 ［強制 OFF］を押して強制終了（正しい終了処理を省略）させることもできます。ネットワーク通信処理中に［強制 OFF］を押すと確認画面が表示されるので［はい］を押します。ただし、通信中のデータを破壊してしまう可能性もあります。また、本製品が故障する恐れがありますので、どうしても必要な場合を除き使用しないことをおすすめします。お客さまのデータの消失による損害につきましては、弊社は一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

メモ

- ハードウェア終了処理のときに、本製品内部の冷却作業を行います。そのため終了までの処理に時間がかかります。
- 使用しているアプリケーションによっては、終了までの処理に時間がかかる場合があります。
- 次の状態で［強制 OFF］を押すと、以下の画面が表示されます。
  - ・ハードウェアの終了処理時
  - ・デバイス内情報の更新中

5 シャットダウン終了後、自動的に操作部電源スイッチが切れ、本体右側面の主電源スイッチも「⏻」側に倒れます。

重要 シャットダウン実行中、またはシャットダウン終了後にしばらく製品が動作し続ける場合があります。本製品の機器音が止まるまでコンセントを抜かないでください。

日常のメンテナンス

2
CHAPTER

用紙の補給方法や消耗品の交換方法について説明しています。

用紙について

重要

- 印刷速度は、用紙の向きやサイズ、用紙タイプ、印刷枚数の設定により遅くなることがあります。
  - ・B4：約 16 ページ／分
  - ・B5：約 35 ページ／分
  - ・はがき：約 10 ページ／分
  - ・封筒：約 8 ページ／分
- 幅がレターサイズ（279.4 mm）未満の用紙を連続プリントした場合、熱による故障などを防止する安全機能が働き、プリント速度が段階的に遅くなることがあります。（最終的に約 3 ppm まで遅くなることもあります。）

使用できる用紙

本製品には次のような用紙をセットしてプリントすることができます。セットした用紙の種類を本製品で登録すると、どの給紙箇所にどの種類の用紙をセットしたかひとめでわかるように、アイコン表示させることができます。（➞ ユーザーズガイド > 初期設定／登録）

○：使用可能

×：使用不可

用紙の種類	給紙箇所（用紙セット位置）		
	カセット (64 ～ 90 g/m²)	手差しトレイ (64 ～ 128 g/m²)	サイドペーパーデッキ (64 ～ 80 g/m²)
普通紙 *1	○	○	○
再生紙 *1	○	○	○
色紙	○	○	○
パンチ済み紙	○	○	○
厚紙 *2	×	○	×
第 2 原図	×	○ *3	×
OHP フィルム *4	×	○	×
ラベル用紙 *5	×	○	×
はがき	×	○ *6	×
往復はがき	×	○ *6	×
4 面はがき	×	○ *6	×

用紙の種類	給紙箇所（用紙セット位置）		
	カセット（64 ～ 90 g/m²）	手差しトレイ（64 ～ 128 g/m²）	サイドペーパーデッキ（64 ～ 80 g/m²）
封筒 ✉	○[*7]	○	×

[*1] 普通紙、再生紙は 64 ～ 90 g/m² の用紙です。再生紙は古紙配合率 100%の再生紙が使用できます。

[*2] 厚紙は 91 ～ 128 g/m² の用紙です。

[*3] 第 2 原図用紙の種類によっては使用できないものもあります。

[*4] A4 またはレターサイズの OHP フィルムを使用できます。A4 サイズの OHP フィルムは、「キヤノン推奨品 LBP 用 OHP フィルム A4」を使用してください。「キヤノン推奨品 LBP 用 OHP フィルム A4」の重さは 1 枚 8.7 g です。

[*5] A4 またはレターサイズのラベル用紙を使用できます。A4 サイズのラベル用紙は、「キヤノン推奨品ラベル用紙 A4」をご使用ください。「キヤノン推奨品ラベル用紙 A4」の重さは 1 枚 7.8 g です。

[*6] インクジェット用を除く郵便はがきが使用できます。

[*7] カセット 1 にオプションの封筒カセット・C2 を装着した場合にセットすることができます

○：使用可能

×：使用不可

用紙の種類	タテ×ヨコ	給紙箇所（用紙セット位置）			
		カセット	カセット 2、3、4	手差しトレイ	サイドペーパーデッキ
A3	297 × 420 mm	×	○	○	×
A4	297 × 210 mm	○	○	○	○
A4R	210 × 297 mm	○	○	○	×
A5R	148 × 210 mm	○	○	○	×
B4	257 × 364 mm	○	○	○	×
B5	257 × 182 mm	○	○	○	×
B5R	182 × 257 mm	○	○	○	×
レジャー（11 × 17）	279.4 × 431.8 mm	×	○	○	×
リーガル	215.9 × 355.6 mm	○	○	○	×
レター	279.4 × 215.9 mm	○	○	○	○
レター R	215.9 × 279.4 mm	○	○	○	×
エグゼクティブ	266.7 × 184.2 mm	○	○	○	×
ステートメント R	139.7 × 215.9 mm	○	○	○	×
はがき	100 × 148 mm	×	×	○	×
往復はがき	148 × 200 mm	×	×	○	×

用紙の種類	タテ×ヨコ	給紙箇所（用紙セット位置）			
		カセット	カセット 2、3、4	手差しトレイ	サイドペーパーデッキ
4 面はがき	296 × 200 mm	×	×	○	×
封筒					
洋形 4 号	105 × 235 mm	○*	×	○	×
COM10 No.10	104.7 × 241.3 mm	○*	×	○	×
Monarch : Catalog Glove No.8	98.4 × 190.5 mm	○*	×	○	×
DL	110 × 220 mm	○*	×	○	×
ISO-B5	176 × 250 mm	○*	×	○	×
ISO-C5	162 × 229 mm	○*	×	○	×
フリーサイズ	(99 × 148 mm ～ 297 × 431.8 mm)	×	×	○	×

* カセット 1 にオプションの封筒カセット・C2 を装着した場合にセットすることができます。

メモ

- 用紙をセットする方法は、次を参照してください。
  - ・カセット：「カセットに用紙を補給する」（→P.2-8）
  - ・サイドペーパーデッキ：「サイドペーパーデッキに用紙を補給する」（→P.2-14）
  - ・手差しトレイ：ユーザーズガイド > 基本的な使いかた
- カセット 3、4、サイドペーパーデッキはオプションです。

給紙容量

給紙箇所	給紙容量
カセット 1	650 枚（64 g/m^2） 550 枚（80 g/m^2）
カセット 2	
カセット 3（オプション）	
カセット 4（オプション）	
封筒カセット・C2（オプション）	50 枚 用紙束の高さ：30 mm

給紙箇所	給紙容量
手差しトレイ	普通紙（64 g/m^2） 55 枚 普通紙（80 g/m^2） 50 枚 厚紙（91 g/m^2） 約 44 枚 厚紙 (128 g/m^2) 約 26 枚 OHP フィルム 約 26 枚 第 2 原図 1 枚 ラベル用紙 約 26 枚 郵便はがき 約 20 枚 郵便往復はがき 約 20 枚 郵便 4 面はがき 約 20 枚 キヤノン推奨 4 面はがき 約 20 枚 封筒 約 5 枚 用紙束の高さ：5 mm * 第 2 原図用紙は 1 枚ずつセットしてください。一度に複数枚セットすると、紙づまりの原因となります。 * 厚紙の種類によっては、複数枚セットした場合に紙づまりが起きることがあります。その場合は 1 枚ずつセットしてください。
サイドペーパーデッキ （オプション）	3000 枚（64 g/m^2） 2700 枚（80 g/m^2）

排紙容量

<table>
<tr><th>排紙箇所</th><th>排紙容量</th></tr>
<tr><td>排紙トレイ</td><td>
<table>
<tr><td></td><td>A4・レターサイズ以下の用紙＊</td><td>A4・レターサイズより大きい用紙＊</td></tr>
<tr><td>普通紙（64 g/m^2）</td><td>約 250 枚</td><td>約 100 枚</td></tr>
<tr><td>普通紙（80 g/m^2）</td><td>約 250 枚</td><td>約 100 枚</td></tr>
<tr><td>厚紙（91 g/m^2）</td><td>約 120 枚</td><td>約 60 枚</td></tr>
<tr><td>厚紙（128 g/m^2）</td><td>約 120 枚</td><td>約 60 枚</td></tr>
<tr><td>OHP フィルム</td><td>約 50 枚</td><td>-</td></tr>
<tr><td>第 2 原図</td><td>約 50 枚</td><td>約 25 枚</td></tr>
<tr><td>ラベル用紙</td><td>約 50 枚</td><td>-</td></tr>
<tr><td>郵便はがき</td><td>約 50 枚</td><td>-</td></tr>
<tr><td>郵便往復はがき</td><td>約 50 枚</td><td>-</td></tr>
<tr><td>郵便 4 面はがき</td><td>約 50 枚</td><td>-</td></tr>
<tr><td>キヤノン推奨 4 面はがき</td><td>約 50 枚</td><td>-</td></tr>
<tr><td>封筒</td><td>約 10 枚</td><td>約 10 枚</td></tr>
</table>
＊用紙を縦に置いた場合の、幅のサイズです。
給紙方向
</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th>排紙箇所</th><th>排紙容量</th></tr>
<tr><td>フィニッシャー・S1（オプション）</td><td>・ ノンソート、ソート、グループ
A4、B5、A5R、レター、ステートメントR：1000枚（高さ130 mm相当）
A3、B4、A4R、B5R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターR：500枚（高さ65 mm相当）
・ ステイプルソート
A4、B5、レター：1000枚／30部（高さ130 mm相当）
A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターR：500枚／30部（高さ65 mm相当）
・ノンソート、ソート、グループ：サイズ混載時
500枚（高さ65 mm相当）
・ ステイプルソート：サイズ混載時
500枚／30部（高さ65 mm相当）</td></tr>
<tr><td>フィニッシャー・S1
（追加トレイ装着時）（オプション）</td><td rowspan="2">・ ノンソート、ソート、グループ
A4、B5、A5R、レター、ステートメント R：300 枚（高さ40 mm相当）
A3、B4、A4R、B5R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターR：150枚（高さ20 mm相当）
・ ステイプルソート
A4、B5、レター：300枚／30部（高さ40 mm相当）
A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターR：150枚／30部（高さ20 mm相当）
・ノンソート、ソート、グループ：サイズ混載時
150枚（高さ20 mm相当）
・ステイプルソート：サイズ混載時
150枚／30部（高さ20 mm相当）</td></tr>
<tr><td>フィニッシャー用追加トレイ・B1
（オプション）</td></tr>
<tr><td>フィニッシャー・AE1（オプション）</td><td>・ ノンソート、ソート、グループ
A4、B5、A5R、レター、ステートメントR：1000枚（高さ147 mm相当）
A3、B4、A4R、B5R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターR：500枚（高さ73.5 mm相当）
・ステイプルソート
A4、B5、レター：1000枚／30部（高さ147 mm相当）
A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターR：500枚／30部（高さ73.5 mm相当）
・ノンソート、ソート、グループ：サイズ混載時
500枚（高さ73.5 mm相当）
・ステイプルソート：サイズ混載時
500枚／30部（高さ73.5 mm相当）</td></tr>
</table>

排紙箇所	排紙容量
サドルフィニッシャー・AE2 （オプション）	・ ノンソート、ソート、グループ A4、B5、A5R、レター、ステートメント R：1000 枚（高さ 147 mm 相当） A3、B4、A4R、B5R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター R：500 枚（高さ 73.5 mm 相当） ・ ステイプルソート A4、B5、レター：1000 枚／ 30 部（高さ 147 mm 相当） A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター R：500 枚／ 30 部（高さ 73.5 mm 相当） ・ ノンソート、ソート、グループ：サイズ混載時 500 枚（高さ 73.5 mm 相当） ・ ステイプルソート：サイズ混載時 500 枚／ 30 部（高さ 73.5 mm 相当） 中とじ:1～5枚／25部、6～10枚／15部、11～15枚／10部 ＊ 製本の［表紙をつける］を設定している場合は 10 部まで
インナー 2 ウェイトレイ・D1 （オプション）	トレイ A： 250 枚（A4、B5、レター、エグゼクティブ）、100 枚（その他） トレイ B： 100 枚（A4、B5、レター、エグゼクティブ）、50 枚（その他）
コピートレイ・J1（オプション）	150 枚（A4、B5、レター、エグゼクティブ）、75 枚（その他）

重要
- 第 2 原図用紙は、排紙されるごとにトレイから取り除いてください。
- 封筒は、10 枚排紙されるごとにトレイから取り除いてください。

用紙の補給

カセットに用紙を補給する方法について説明します。

カセットに用紙を補給する

プリントする用紙を選択した際に選択した用紙がないときや、本製品のプリント動作中にプリントできる用紙がなくなったとき、タッチパネルディスプレイに用紙の補給を促す画面が表示されます。

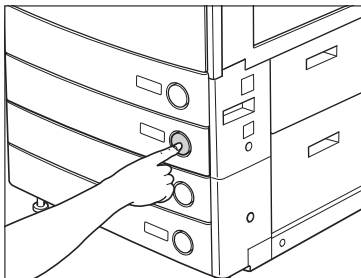
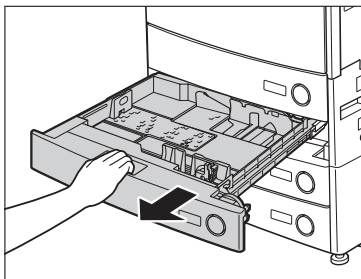
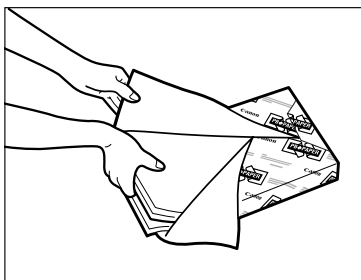
以下の手順に従って、カセットに用紙を補給します。

注意 **用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。**

- 選択したカセットが完全に押し込まれていないときにも、用紙補給画面が表示されます。カセットは完全に押し込んでください。
- カセットで使用できる用紙の厚さは64～90 g/m^2 です。これよりも厚い用紙を使用する場合は手差しトレイを使用してください。
- カセットには、郵便はがき、不定形サイズの用紙はセットできません。
- 次のような用紙は、カセットにセットしないでください。紙づまりの原因になります。
  - ・大きくカールした用紙や、しわのある用紙
  - ・薄いわら半紙
  - ・OHP フィルム
  - ・熱転写プリンタで印字した紙（ウラ面にもプリントしないでください）
- 用紙はよくさばいてからセットしてください。
- 用紙をセットしたカセットの横の空いている部分には、用紙や用紙以外のものを入れないでください。紙づまりの原因になる場合があります。

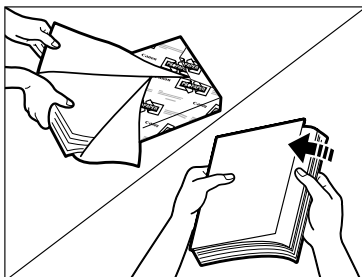
メモ

- 連続プリント中に用紙補給のメッセージが表示されたときには、用紙を補給したあと自動的にプリントが再開されます。他の給紙箇所を選択した場合は、[OK] を押すとプリントが再開されます。
- [中止] を押すと、プリントが中止されます。

1 用紙を補給するカセットのオープンボタンをいったん押して離します。

2 カセットの取っ手を持ち、そのまま止まるところまで手前に引き出します。

3 包装紙を開いて、用紙を取り出します。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

重要 残った用紙は包装紙に包み、湿気が少なく直射日光の当たらない場所に保管してください。

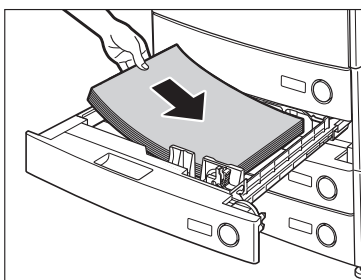
メモ

- 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。
- 用紙をセットするときは、給紙されやすくするために数回さばき、用紙の端をそろえてからセットしてください。また、包装紙を開いて取り出した用紙は、束ごとさばいてください。

4 用紙をセットします。

用紙をそろえ、カセットの右側面にぴったりとつき当ててセットしてください。

カセットに初めて用紙を補給するときは、使用する用紙にあわせて用紙サイズ登録ダイヤルをセットしてください。（➞ カセットの用紙サイズを変更する：P.2-11）

用紙を補給する場合は、カセットの用紙サイズ設定と、セットする用紙サイズがあっていることを確認してください。

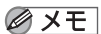
重要

- 用紙がカールしているときは、カールをなおしてからセットしてください。
- 用紙の高さが積載制限表示（）をオーバーしないように注意してください。

メモ

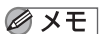
- カセットにはそれぞれ約 650 枚（64 g/m^2 ）または 550 枚（80 g/m^2）の用紙がセットできます。
- 用紙の梱包紙に給紙面についての指示が書かれている場合は、その指示に従って用紙をセットしてください。
- カセットに用紙をセットする場合は、プリントする面を上にしてセットしてください。
- プリントするときに不具合が生じた場合は、用紙を裏返してセットしなおしてください。
- あらかじめロゴなどが印刷されている用紙のプリント方向については「用紙のセット向きについて」（➞P.4-23）を参照してください。

5 カセットをカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。

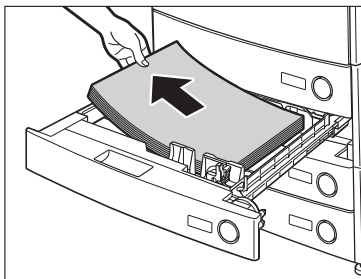
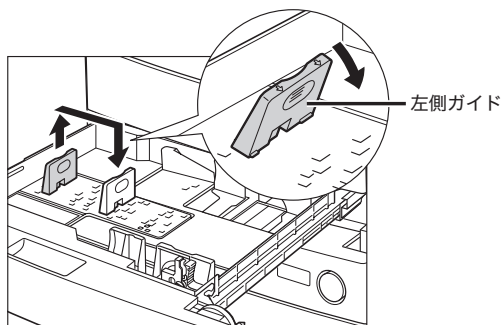
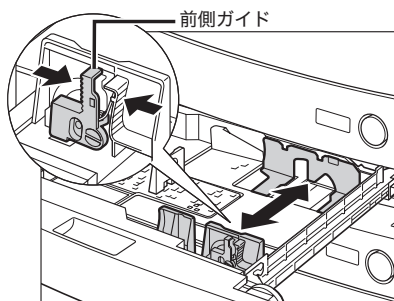
注意 カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

重要 積載制限枚数を超えたり、カセットが確実に閉じられていないと、プリントができません。カセットが確実にセットされているか確認してください。用紙を入れすぎている場合は、積載制限の表示まで用紙を減らしてください。

メモ 用紙切れでプリント動作が中断されたときは、用紙補給後、タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージに従って操作してください。本製品はプリント動作を再開します。

カセットの用紙サイズを変更する

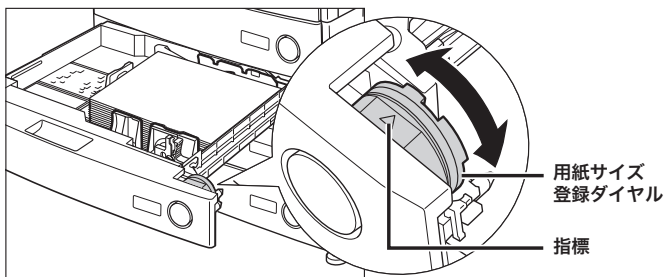
セットする用紙サイズが今までセットしていた用紙と異なる場合は、次のようにカセットガイドを調節してください。

メモ 日本でおもに使われている紙のサイズは、A3、A4、B4、B5 などの「A/B 系列」です。レター（LTR）やリーガル（LGL）といった「インチ系列」の紙は北米などの地域でよく使われています。本製品は、お客様の使用状況にあわせてどちらの系列の紙サイズでも使用できます。

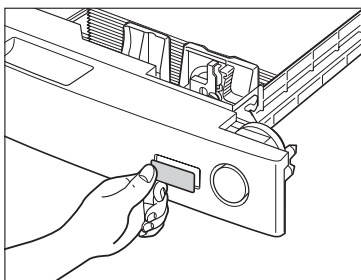
---

1 用紙サイズを変更するカセットのオープンボタンをいったん押して離します。カセットを引き出し、セットされている用紙をすべて取り出します。

2 左側ガイドを取り外し、セットする用紙サイズの穴に差し込みます。

3 図のようにレバーをつまみ、前側ガイドをスライドさせ、セットする用紙サイズの指標にあわせます。

重要　紙づまりやプリントの汚れ、本製品内部の汚れの原因になりますので、用紙サイズの指標に必ず正しくあわせてください。

4 変更したサイズの用紙をカセットにセットします。

注意　用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

5 カセット右側にある用紙サイズ登録ダイヤルを回して、指標をセットする用紙サイズにあわせます。

重要　セットする用紙サイズに指標を正しく合わせないと、用紙サイズがタッチパネルディスプレイに正しく表示されません。また、紙づまりやプリントの汚れ、本製品内部の汚れの原因になりますので、必ず正しく合わせてください。

6 カセットのシールを変更後の用紙サイズのものに貼り替えます。

7 カセットをカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。

注意　カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

サイドペーパーデッキ・Q1（オプション）

サイドペーパーデッキ・Q1（オプション）を装着すると、本製品に標準装備されているカセットの用紙サイズに加え、1 種類の用紙サイズが追加できます。

サイドペーパーデッキ・Q1 には、3000 枚（64 g/m^2）または 2700 枚（80 g/m^2）まで用紙がセットできます。

重要
- 本製品がスリープモードに移行しているとき（タッチパネルディスプレイの表示が消灯し、主電源ランプが点灯しているとき）はサイドペーパーデッキを開くことができない場合があります。この場合は、操作部電源スイッチを押して、スリープモードを解除してからオープンボタンを押してください。
- サイドペーパーデッキの用紙サイズは、A4 に固定されています。
  レターサイズの用紙をご使用になりたい場合は、担当サービスにご連絡ください。

サイドペーパーデッキに用紙を補給する

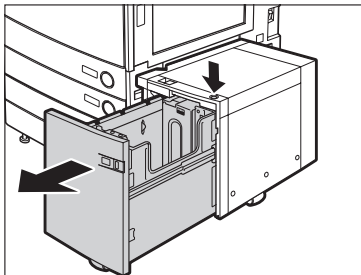
サイドペーパーデッキを選択した際に用紙がないときや、本製品のプリント動作中にサイドペーパーデッキの用紙がなくなったとき、タッチパネルディスプレイに用紙の補給を促す画面が表示されます。

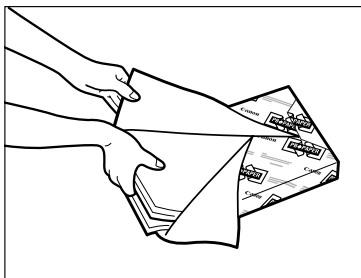
以下の手順に従って、用紙を補給してください。

注意　**用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。**

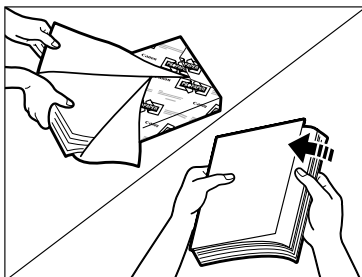
重要　サイドペーパーデッキで使用できる用紙の厚さは 64 ～ 80 g/m^2 です。これよりも厚い用紙を使用する場合は手差しトレイを使用してください。

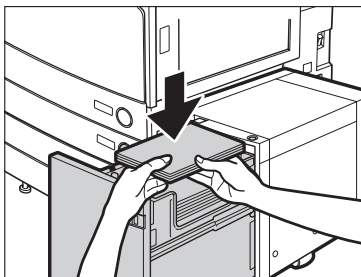
メモ　連続プリント中に用紙補給のメッセージが表示されたときには、用紙を補給したあと自動的にプリントが再開されます。他の給紙箇所を選択した場合は、［OK］を押すと、プリントが再開されます。

1 オープンボタンを押して、サイドペーパーデッキを開きます。

内部のリフターが自動的に用紙補給位置まで下がります。

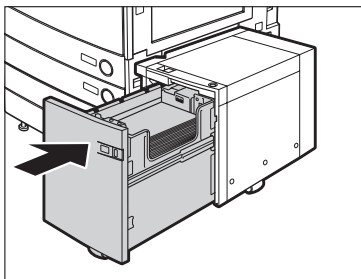
2 包装紙を開いて、用紙を取り出します。

注意 用紙を補給するときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

重要
- 残った用紙は包装紙に包み、湿気が少ない直射日光の当たらない場所に保管してください。
- 次のような用紙は、サイドペーパーデッキにセットしないでください。
  - ・大きくカールした用紙や、しわのある用紙
  - ・薄いわら半紙
  - ・OHP フィルム
  - ・熱転写プリンタで印字した紙（ウラ面にもプリントしないでください）

メモ
- 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。
- 用紙をセットするときは、給紙されやすくするために数回さばき、用紙の端を揃えてからセットしてください。また、包装紙を開いて取り出した用紙は、束ごとさばいてください。

3 用紙をセットします。

内部のリフターが下がったのを確認し、用紙を揃えてセットします。

重要
- 用紙がカールしているときは、カールをなおしてからセットしてください。
- 用紙の高さが積載制限（）をオーバーしないように注意してください。

メモ
- サイドペーパーデッキには約 3000 枚（64 g/m^2）または 2700 枚（80 g/m^2）の用紙がセットできます。
- サイドペーパーデッキには約 500 枚ずつ用紙を補給できます。さらに補給できる場合は、再びリフターが下がります。
- サイドペーパーデッキにセットできる用紙は、A4 またはレターサイズのみです。ヨコ置きはセットできません。
- 用紙の梱包紙に給紙面についての指示が書かれている場合は、その指示に従って用紙をセットしてください。
- サイドペーパーデッキに用紙をセットする場合は、プリントする面を下にしてセットしてください。
- プリントするときに不具合が生じた場合は、用紙を裏返してセットしなおしてください。
- あらかじめロゴなどが印刷されている用紙のプリント方向については「用紙のセット向きについて」（→P.4-23）を参照してください。

4 サイドペーパーデッキを閉じます。

内部のリフターが自動的に上がり、プリントできる状態になります。

注意 サイドペーパーデッキを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

封筒カセット・C2（オプション）

オプションの封筒カセット・C2 について説明します。

封筒カセットの使いかた

封筒カセットには、洋形 4 号／ COM10 No.10/Monarch : Catalog Glove No.8/DL/ISO-B5/ISO-C5 の 6 つの規格の封筒をセットできます。本体の設定および本製品のガイドのサイズは、工場出荷時に洋形 4 号をそのまま使用できるように設定されています。

洋形 4 号を使用される場合は、現状の設定をご確認の上、封筒を補給してください。確認が必要なのは以下の 3 点です。

- 共通仕様設定（初期設定／登録）の「封筒カセットの登録」で「ENV.1」が「洋形 4 号」に設定されている
- 本製品のガイドが洋形 4 号に設定されている
- 本体の用紙サイズ系列スイッチが「ENV.1」に設定されている

洋形 4 号以外の規格の封筒を使用される場合は、「異なる規格の封筒をセットする」（➞P.2-23）を参照してください。

重要

- 封筒カセットを設置しているときに、本体側カセットの前側ガイドを無理に動かすと、封筒カセットが外れることがあります。
- 封筒の両面にプリントをしないでください。紙づまりやプリントの汚れ、本体内部の汚れの原因になります。
- 次のような封筒は、封筒カセットにセットしないでください。紙づまりやプリントの汚れ、本体内部の汚れの原因になります。
  - ・カールした封筒やしわ 、折り目のある封筒
  - ・厚すぎる封筒、薄すぎる封筒
  - ・湿っている封筒、濡れている封筒
  - ・破れている封筒
  - ・不規則な形の封筒
  - ・留め金や窓がついている封筒
  - ・接着剤などで封がくっついてしまっている封筒
  - ・穴や、ミシン目などのついている封筒
  - ・表面に特殊コーティングを施してある封筒
  - ・表面加工したカラー用紙の封筒
  - ・定着器の加熱温度以下で溶解、燃焼、蒸発したり有害なガスを発するインクを使用した用紙
- フィニッシャー・S1 とコピートレイ・J1 を装着している場合に、封筒を選択してプリントするときは、排紙トレイの設定にかかわらずコピートレイ・J1 以外の排紙トレイに出力されます。

- インナー２ウェイトレイ・D1 とコピートレイ・J1 を装着している場合に、封筒を選択してプリントするときは、コピートレイ・J1 を排紙先に設定した場合もコピートレイ・J1 以外の排紙トレイに出力されます。
- 封筒にプリントした場合は、10 枚排紙されるごとにトレイから封筒を取り除いてください。
- 封筒を保管するときは高温・多湿な場所は避けて保管してください。
- 保管場所と使用する場所に著しく温度差がある場合は、一日ほど使用する場所において、室温に慣らしてから使用してください。
- 用紙サイズ系列スイッチおよび初期設定／登録の設定と、セットする封筒の規格は正しく合わせてください。正しく合っていないと、紙づまりやプリントの汚れ、本体内部の汚れの原因になります。

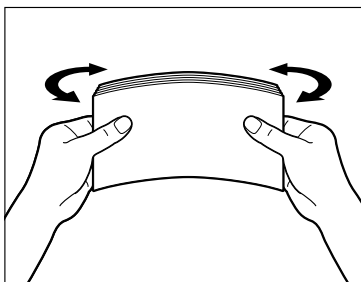
メモ
- 封筒カセットとして使用できるのは最上段のカセットのみです。
- 各規格の封筒のサイズは以下のとおりです。
  - ・洋形４号 (105 × 235 mm)
  - ・COM10 No.10(104.7 × 241.3 mm)
  - ・Monarch : Catalog Glove No.8(98.4 × 190.5 mm)
  - ・DL(110 × 220 mm)
  - ・ISO-B5(176 × 250 mm)
  - ・ISO-C5(162 × 229 mm)

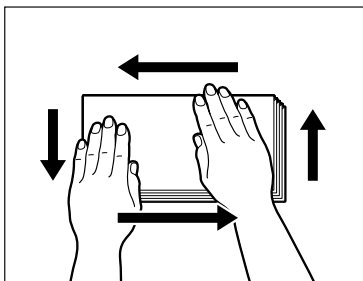
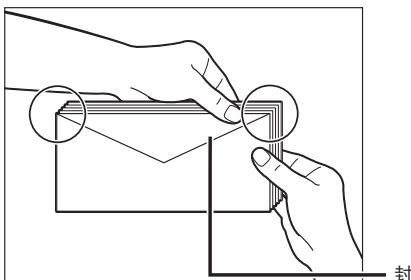
封筒をセットする前に

封筒カセットに封筒をセットするときに、あらかじめ行っておくことについて説明します。

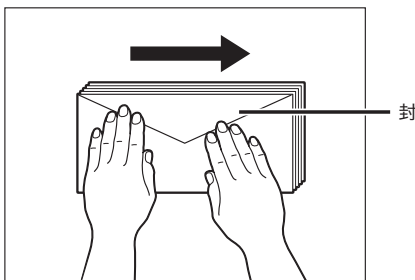
重要　カール、しわ、折り目のある封筒の使用は、紙づまりの原因となりますので、以下の手順を行ってからセットしてください。

1 封筒を５枚ほど手にとり、よくさばいて揃えます。

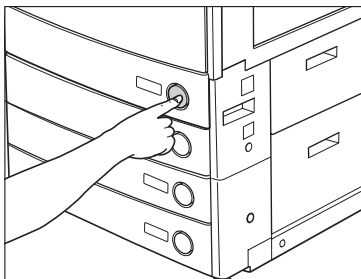
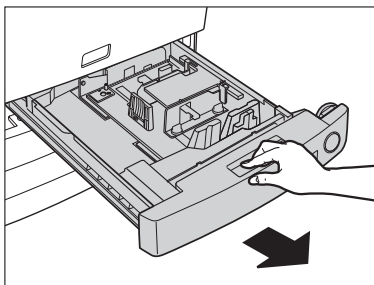
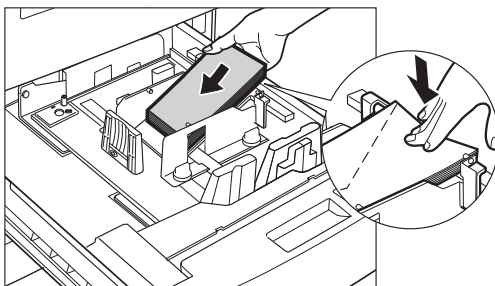
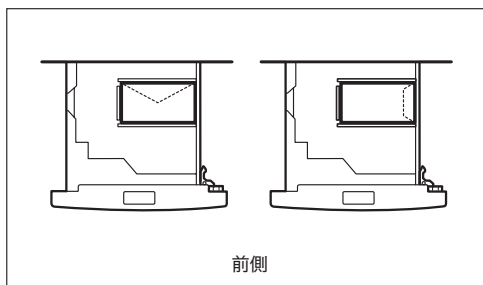
この操作を５回、繰り返します。

2 封筒を清潔で平坦な場所に置いて、矢印の方向に手で伸ばします。

この操作を 5 回、繰り返します。

ISO-B5、ISO-C5、COM10 No.10、Monarch : Catalog Glove No.8、DL の封筒を使用する場合は、封の部分がめくれないように封筒の四隅をよく押さえます。

洋形 4 号の封筒を使用する場合は、封の部分は折り曲げずにセットしてください。

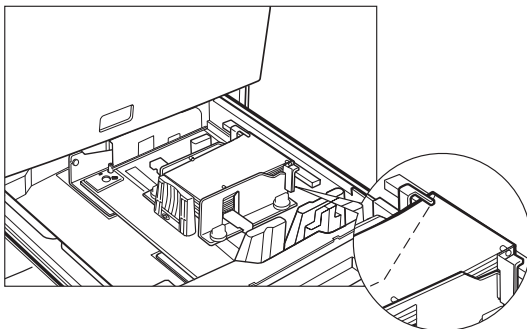
重要

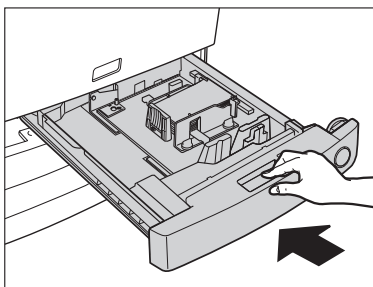
- 封の部分にのりが付いた封筒を使用すると、定着器の熱や圧力により、のりが溶けることがあります。
- 特に通紙方向（←→）を念入りに行ってください。
- 封筒の裏面にはプリントしないでください。
- 封筒の中に空気が入ってふくらんでいるときは、手でならして空気抜きをしてからセットしてください。

封筒を補給する

封筒カセットに封筒を補給する方法について説明します。

1 **カセットのオープンボタンをいったん押して離します。**

2 **カセットの取っ手を持ち、そのまま止まるところまで手前に引き出します。**

3 **図のようにのり付け面を下にして、10 枚ずつ封筒を持ち、右側から封筒受け台を押し下げるようにして封筒をセットします。**

封筒をセットする向きは以下のとおりです。

宛先面にプリントする場合

封筒の先端をそろえ、ツメの下に入っていることを確認してください。

重要
- 封筒がカールしているときは、カールを直してからセットしてください。
- セットする封筒の高さが積載制限表示（）をオーバーしないように注意してください。
- セット可能な封筒の高さは約 30 mm です。
- 封筒の厚さは封筒の規格やお客様の使用環境によって異なりますが、約 50 枚を目安としてください。

4 カセットを、本体にカチッと音がするまで静かに押し込みます。

注意　カセットを戻すときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

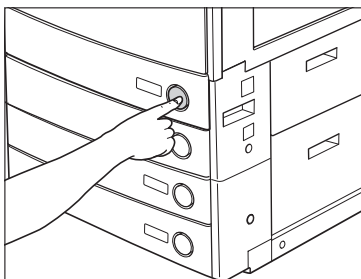
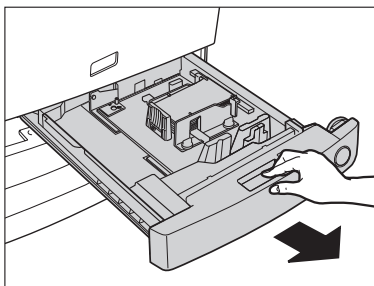
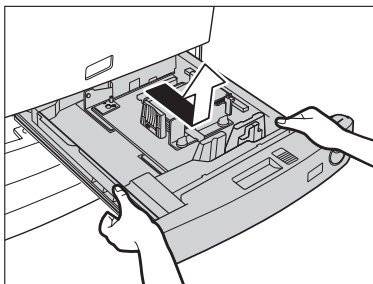
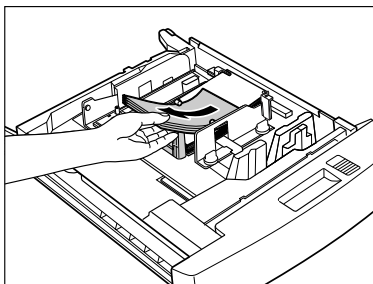
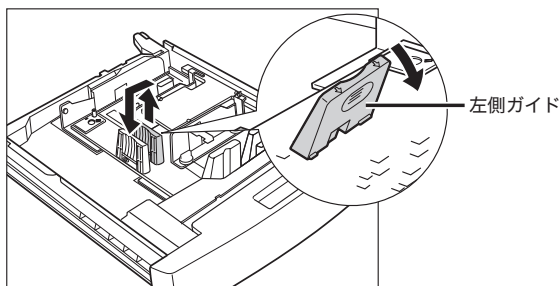
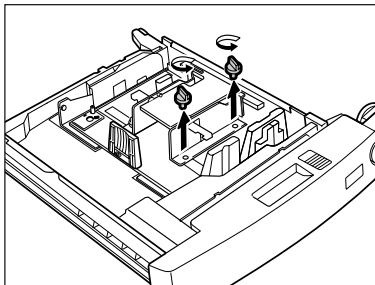
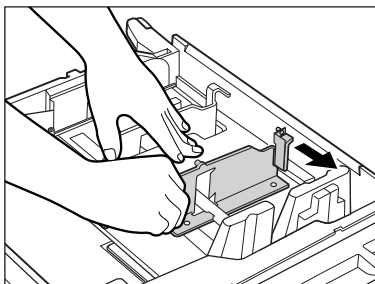
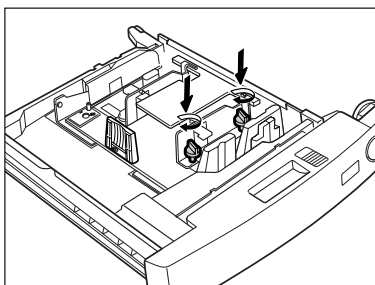
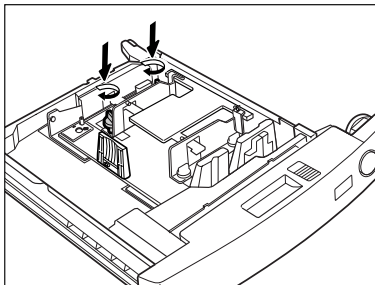
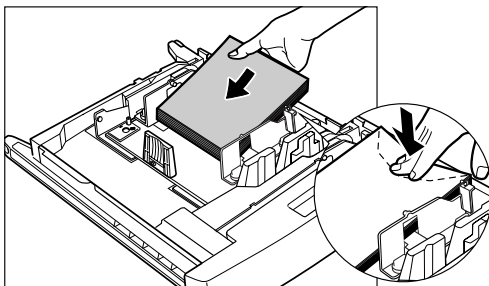
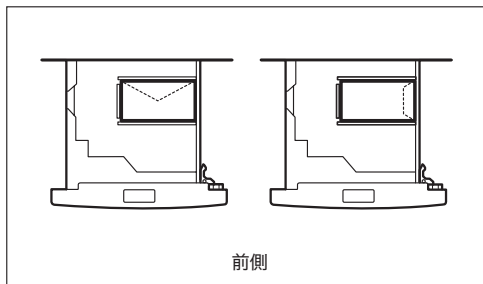
重要　封筒をセットしたカセットの横の空いている部分には、用紙や用紙以外のものを入れないでください。紙づまりの原因になる場合があります。

メモ　用紙切れでプリント動作が中断されたときは、用紙補給後、タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージに従って操作してください。本製品はプリント動作を再開します。

異なる規格の封筒をセットする

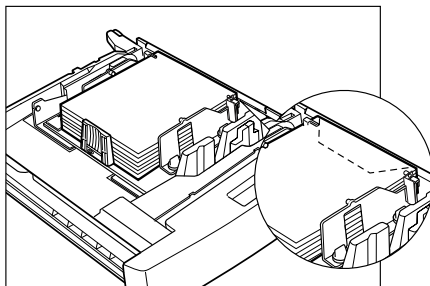
封筒カセットに、初期設定／登録で設定されているものとは異なる規格の封筒をセットする方法について説明します。

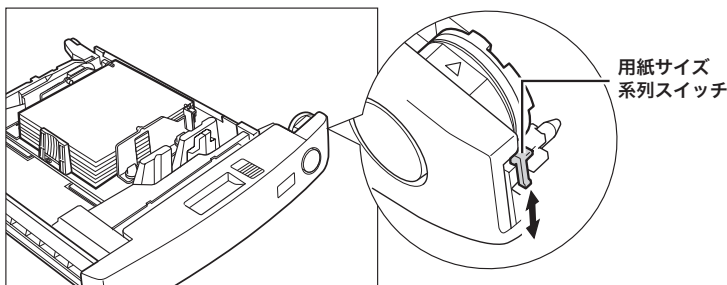
重要　ISO-B5、ISO-C5 の封筒をご使用になりたい場合は、担当サービスにご連絡ください。

1 **カセットのオープンボタンをいったん押して離します。**

2 **カセットの取っ手を持ち、そのまま止まるところまで手前に引き出します。**

3 両手でカセットの左右を持ち、少し上に持ち上げながらカセットを取り出します。

4 セットされている封筒を数回に分けてすべて取り出します。

5 左側ガイドを取り外し、セットする用紙サイズの穴に差し込みます。

6 前側ガイドを固定しているネジ（2 か所）をゆるめます。

7 図のように封筒受け台を下まで押し下げて、前側ガイドを封筒の規格の指標にあわせて移動させます。

8 前側ガイドをネジで固定します。

9 **後側ガイドも、手順６～８に従って移動させます。**

10 **図のようにのり付け面を下にして、10 枚ずつ封筒を持ち、右側から封筒受け台を押して下げるようにして封筒をセットします。**

封筒をセットする向きは以下のとおりです。

宛先面にプリントする場合

封筒の先端をそろえ、ツメの下に入っていることを確認してください。

重要

- 封筒がカールしているときは、カールを直してからセットしてください。
- セットする封筒の高さが積載制限表示（）をオーバーしないように注意してください。
- セット可能な封筒の高さは約 30 mm です。
- 封筒の厚さは封筒の規格やお客様の使用環境によって異なりますが、約 50 枚を目安としてください。

11 封筒カセットを「ENV.1」として使うか、「ENV.2」として使うかを選択します。

● セットした封筒を「ENV.1」として使う場合

❑ 用紙サイズ系列スイッチを「ENV.1」側にあわせます。

初期設定／登録の「封筒カセットの登録」で「ENV.1」に登録されている封筒をセットできるようになります。

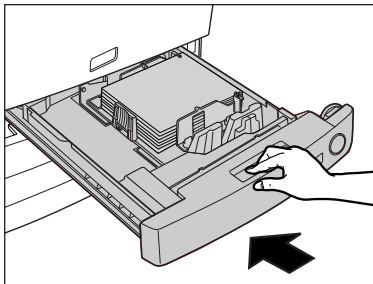
● セットした封筒を「ENV.2」として使う場合

❑ 用紙サイズ系列スイッチを「ENV.2」側にあわせます。

初期設定／登録の「封筒カセットの登録」で「ENV.2」に登録されている封筒をセットできるようになります。

メモ

封筒カセットの登録内容を変更する方法は、ユーザーズガイド > 初期設定／登録を参照してください。

12 カセットを、本体にカチッと音がするまで静かに押し込みます。

注意 カセットを戻すときは、すき間に指をはさまないように注意してください。

13 用紙サイズ系列スイッチを確認したあと、本体の初期設定／登録で封筒の規格を登録します。

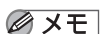
封筒の規格を登録する方法は、ユーザーズガイド > 初期設定／登録を参照してください。

フィニッシャー・S1／インナーパンチャーキット・Q1（オプション）

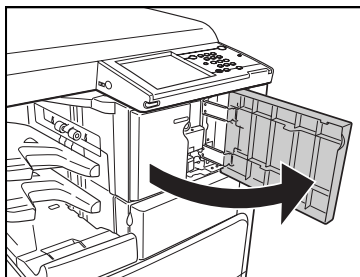
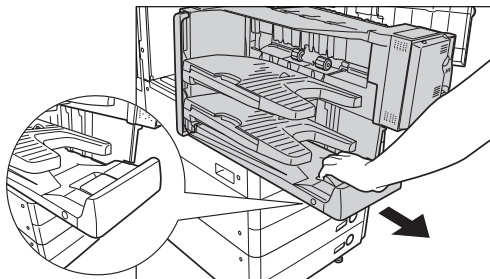
フィニッシャー・S1（オプション）の針ケースを交換する方法とインナーパンチャーキット・Q1のパンチ屑の処理について説明します。

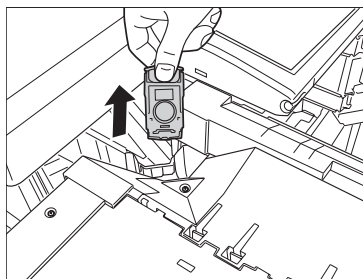
針ケースの交換

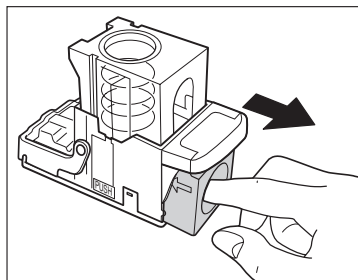
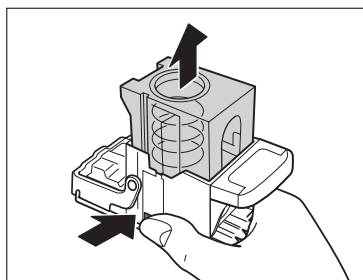
フィニッシャー・S1（オプション）でステイプルユニットのカートリッジの針が残り少なくなり、針ケースの交換が必要になると、下のような画面が表示されます。以下の手順に従って、針ケースを交換してください。

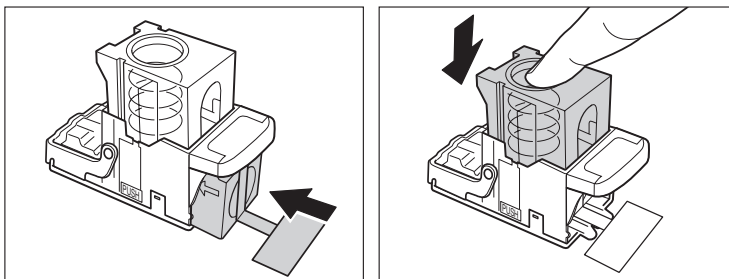
重要 針ケースは必ず本製品専用のものを使用してください。

製品名	対応するキヤノン純正針ケース
LBP4510	ステイプル・J1

メモ 針ケースはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

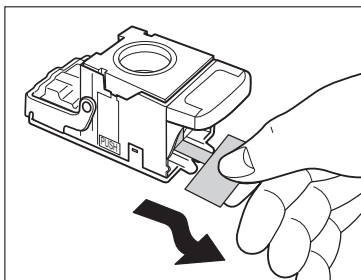
1 **フィニッシャの前カバーを開きます。**

2 引きハンドルを持ち、フィニッシャを左斜めに引き出します。

⚠注意 引き出したフィニッシャの上に物を置いたり、体重をかけたりしないでください。本製品が故障したり、倒れてけがの原因になることがあります。

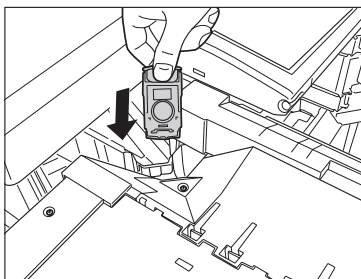
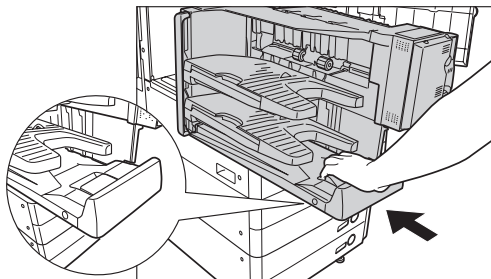
3 針カートリッジの上下（緑色の部分）をつまんで引き上げてから引き出します。

4 空になった針ケースの左右の「PUSH」部を押して取り外します。

針カートリッジを下図のように置いてから、針ケースを取り出します。

5 新しい針ケースをセットします。

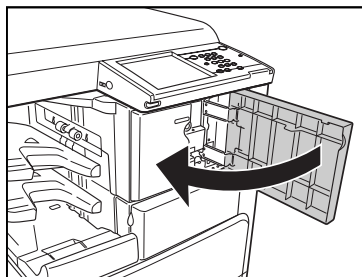
針カートリッジのバネは、カチッと音がするまで指で押し込んでください。

重要
- 針ケースは必ず本製品専用のものを使用してください。
- 針をとめてあるシールは、カートリッジにセットする前にはがさないでください。

メモ
一度にセットできる針ケースは 1 個までです。

6 針をとめてあるシールをまっすぐに引き抜きます。

重要
斜めに引くとシールが途中で切れる恐れがあります。必ずまっすぐ引き抜いてください。

7 針カートリッジをしっかり押し込みます。

8 引きハンドルを持ち、フィニッシャを元の位置に戻します。

注意 フィニッシャを戻す場合は、フィニッシャの下側に手や指を入れて戻さないでください。すき間に手や指をはさまれ、けがの原因になることがあります。

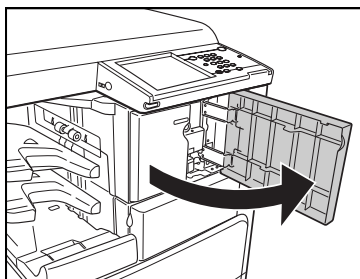
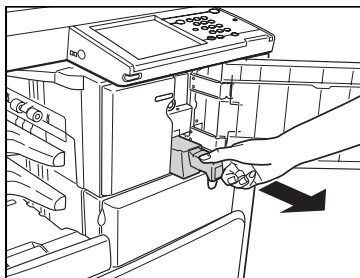
9 フィニッシャの前カバーを閉じます。

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

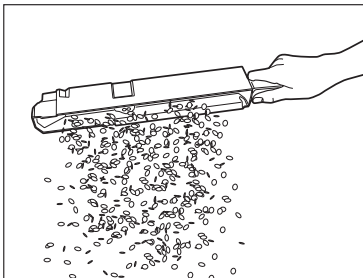
メモ カバーを閉じると、針がとじ位置になければステイプルユニットは自動的に数回空うちして、針の頭出しを行います。

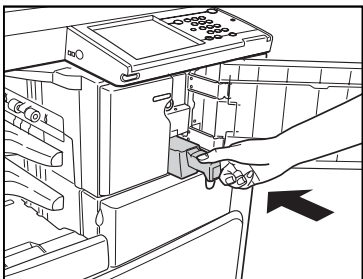
パンチ屑の処理

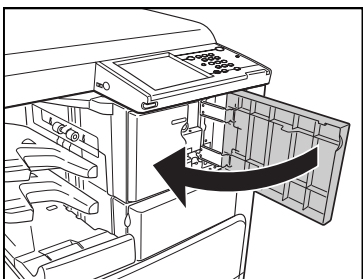
パンチ屑がいっぱいになると、下のような画面が表示されます。画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従ってパンチ屑を処理してください。

メモ　この処理は、オプションのインナーパンチャーキット・Q1 装着時のみ行います。

1 **フィニッシャ の前カバーを開きます。**

2 **パンチ屑入れを引き出します。**

3 パンチ屑を捨てます。

メモ　パンチ屑は残らず捨ててください。

4 パンチ屑入れを戻します。

メモ　パンチ屑入れを確実に戻さないと、パンチ設定をしてプリントすることができません。

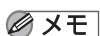
5 フィニッシャの前カバーを閉じます。

注意　カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

フィニッシャー・AE1 ／サドルフィニッシャー・AE2 ／パンチャーユニット・L1（オプション）

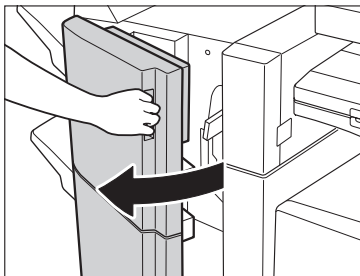
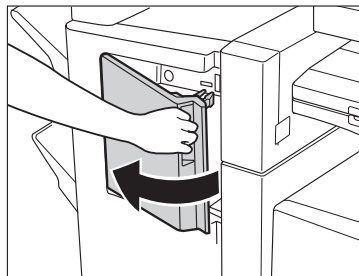
フィニッシャー・AE1 ／サドルフィニッシャー・AE2（オプション）の、針ケースまたは針カートリッジを交換する方法と、パンチャーユニット・L1 のパンチ屑の処理について説明します。

ステイプルユニット針ケースの交換

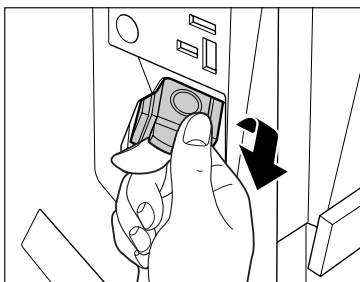
フィニッシャー・AE1 ／サドルフィニッシャー・AE2（オプション）でステイプルユニットのカートリッジの針が残り少なくなり、針ケースの交換が必要になると、下のような画面が表示されます。以下の手順に従って、ステイプルユニット針ケースを交換してください。

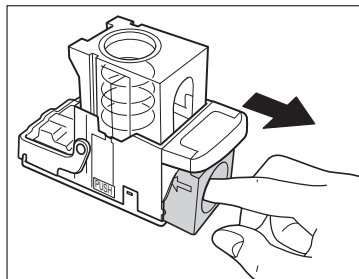
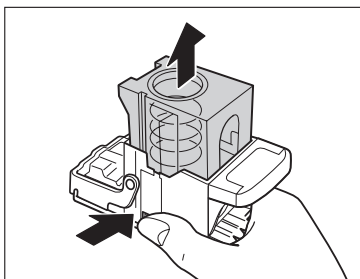
重要　針ケースは必ず本製品専用のものを使用してください。

製品名	対応するキヤノン純正針ケース
LBP4510	ステイプル・J1

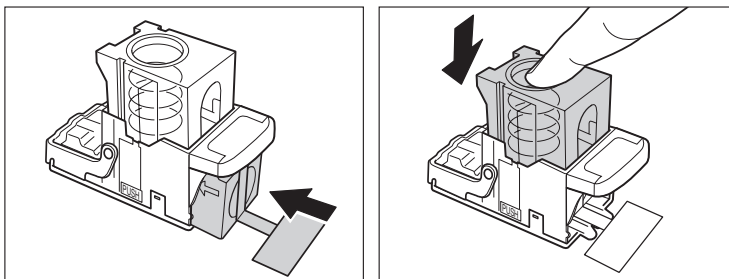
メモ　針ケースはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

1 フィニッシャの前カバーを開きます。

サドルフィニッシャー・AE2

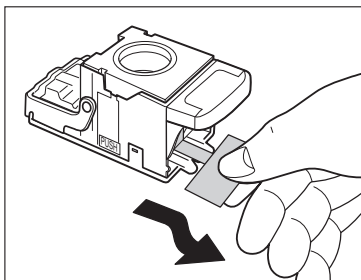
フィニッシャー・AE1

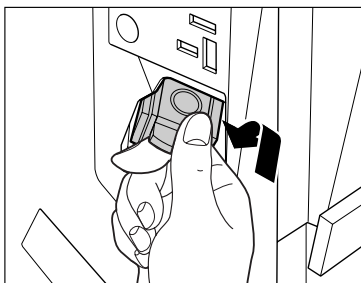
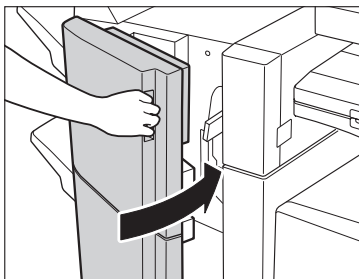
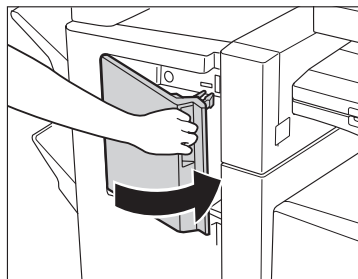
2 針カートリッジの上下（緑色の部分）をつまんで引き上げてから引き出します。

3 空になった針ケースの左右の「PUSH」部を押して取り外します。

針カートリッジを下図のように置いてから、針ケースを取り出します。

4 新しい針ケースをセットします。

針カートリッジのバネは、カチッと音がするまで指で押し込んでください。

重要
- 針ケースは必ず本製品専用のものを使用してください。
- 針をとめてあるシールは、カートリッジにセットする前にはがさないでください。

メモ
一度にセットできる針ケースは 1 個までです。

5 針をとめてあるシールをまっすぐに引き抜きます。

重要
斜めに引くとシールが途中で切れる恐れがあります。必ずまっすぐ引き抜いてください。

6 針カートリッジをしっかり押し込みます。

7 フィニッシャの前カバーを閉じます。

サドルフィニッシャー・AE2

フィニッシャー・AE1

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ カバーを閉じると、針がとじ位置になければステイプルユニットは自動的に数回空うちして、針の頭出しを行います。

中とじユニット針カートリッジの交換

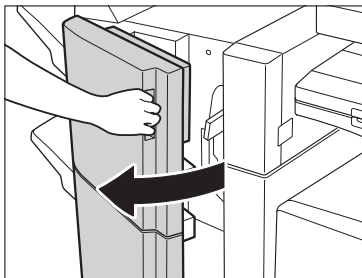
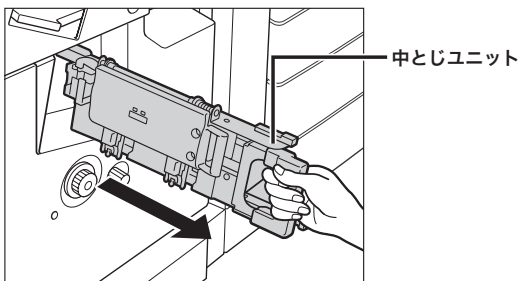
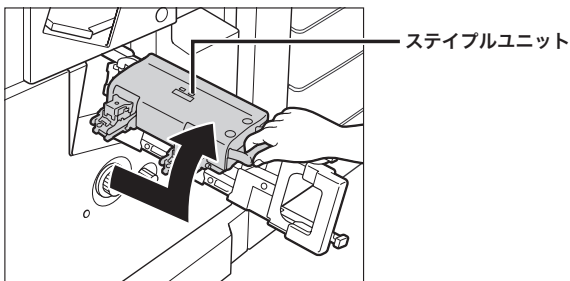
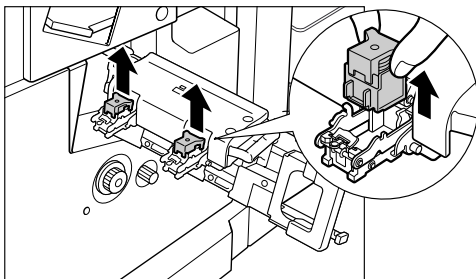
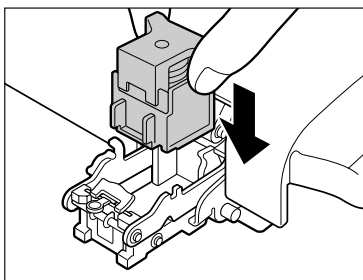
中とじユニットのカートリッジの針が残り少なくなり、針カートリッジの交換が必要になると、下のような画面が表示されます。以下の手順に従って、針カートリッジを交換してください。

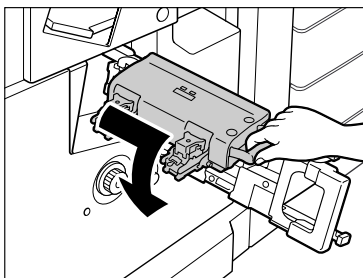
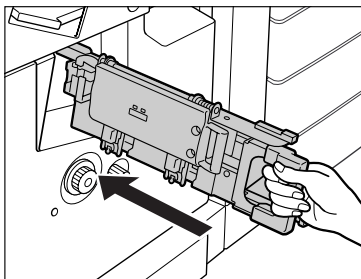
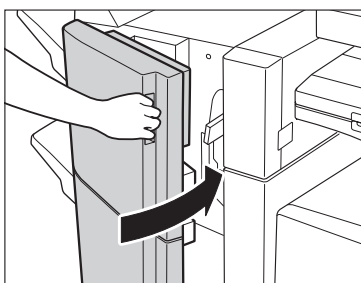
重要
- 針カートリッジは必ず本製品専用のものを使用してください。

製品名	対応するキヤノン純正針カートリッジ
LBP4510	ステイプル・D3

- 中とじユニット針カートリッジの交換を行う前に、製本トレイに排紙された用紙をすべて取り除いてください。

メモ
- この処理はオプションのサドルフィニッシャー・AE2 装着時のみ行います。
- 針カートリッジはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

1 フィニッシャの前カバーを開きます。

2 中とじユニットの取っ手を持ち、止まるまで引き出します。

3 中とじユニットのステイプルユニットを一度手前に引いたあと起こします。

4 空になった針カートリッジの左右をつまんで取り外します。

5 新しい針カートリッジをセットします。

メモ　一度にセットできる針カートリッジは 1 個までです。

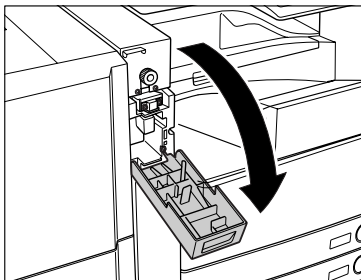
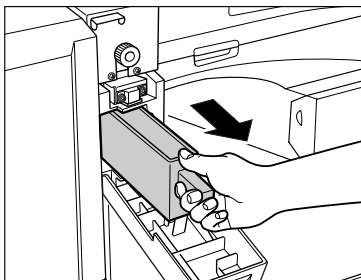
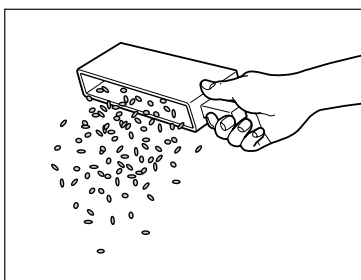
6 中とじユニットのステイプルユニットを一度手前に引いて元に戻します。

7 中とじユニットを押し戻します。

8 フィニッシャの前カバーを閉じます。

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

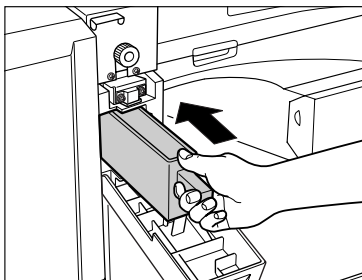
重要 針カートリッジの交換が終了したら、針の頭出しを必ず行ってください。（→ ユーザーズガイド > 初期設定／登録）

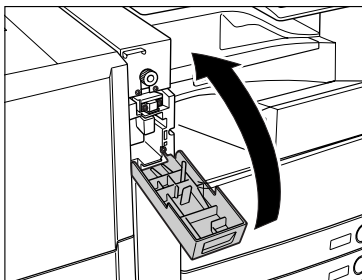
パンチ屑の処理

パンチ屑がいっぱいになると、下のような画面が表示されます。画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下に示す手順に従ってパンチ屑を処理してください。

メモ この処理は、オプションのパンチャーユニット・L1 装着時のみ行います。

1 パンチャーユニットの前カバーを開きます。

2 パンチ屑入れを引き出します。

3 パンチ屑を捨てます。

メモ　パンチ屑は残らず捨ててください。

4 パンチ屑入れを戻します。

メモ　パンチ屑入れを確実に戻さないと、パンチ設定をしてプリントすることができません。

5 パンチャーユニットの前カバーを閉じます。

注意　カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

トナー容器の交換

トナーが残り少なくなると、タッチパネルディスプレイに下図のメッセージが表示されます。まだプリントすることはできますが、交換用のトナー容器を用意してください。

トナーがなくなりプリントできない状態になると、タッチパネルディスプレイに交換方法が表示されます。このようなときは、次の手順に従ってトナー容器を交換してください。

［後で処理］を押した場合は、モードの設定などの操作は続けることができます。

重要

- 最適な印刷品位のため、交換用トナー容器は、キヤノン純正トナー容器のご使用をお薦めします。

製品名	対応するキヤノン純正トナー
LBP4510	Canon Toner Cartridge 530 （キヤノン　トナーカートリッジ　５３０）

- トナー容器は直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。（望ましい環境：温度 30 ℃以下／湿度 80 % 以下）

メモ

- トナー容器の交換は、トナー容器交換のメッセージが表示されてから行ってください。
- タッチパネルディスプレイに表示される［前の手順へ］、［次の手順へ］を押して、交換方法を確認することができます。
- トナーがなくなり中断したプリントジョブは、トナー容器交換後自動的に再開します。

トナー容器を交換するときのご注意

警告 トナー容器は絶対に火の中に入れないでください。爆発の恐れがあり大変危険です。

注意

- トナー容器は幼児の手の届かないところへ保管してください。もしトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- トナーが衣服や手に付着した場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。

メモ

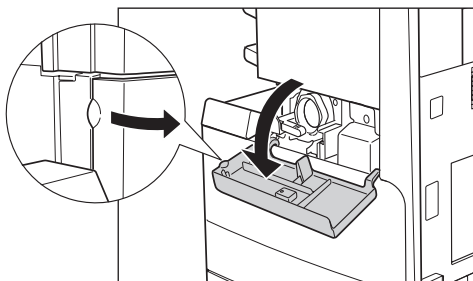
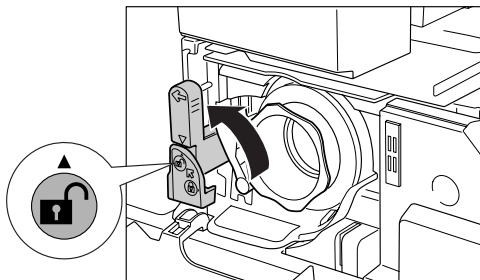
トナー容器の交換は、トナー容器交換のメッセージが表示されてから行ってください。

トナーの偽造品にご注意ください

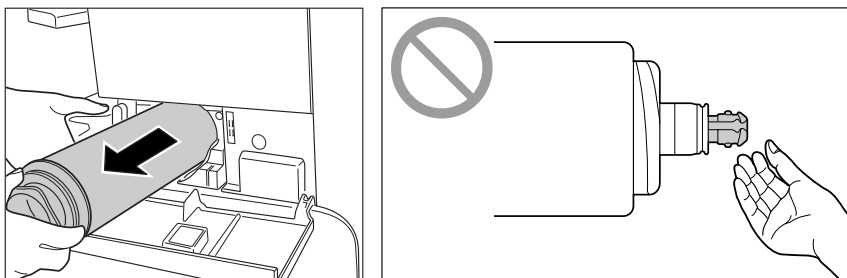
トナーの「偽造品」が流通していることが確認されています。
「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。
http://www.canon.com/counterfeit

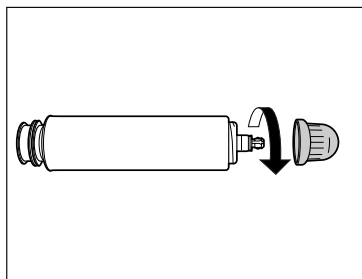
トナー容器を交換する

1 **トナー補給カバーを開きます。**

2 回転レバーを垂直になるまで起こします。

重要　レバーの▼がUnlock▲の位置にあることを確認してください。

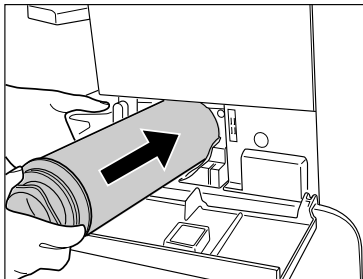
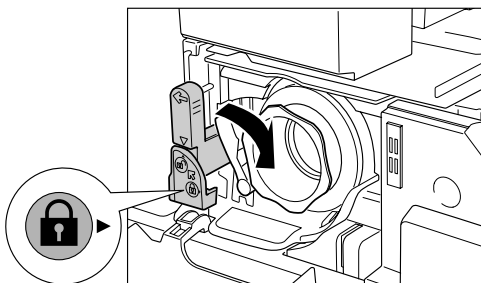
3 トナー容器を引き出します。

トナー容器が半分程出てきたら、下に手を添えながらまっすぐ引き出してください。

警告　使用済みのトナー容器を火中に投じないでください。トナー容器内に残ったトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意　トナー容器の先端部に触れたり、何かにぶつけるなどの衝撃を与えないでください。

4 新しいトナー容器の赤い保護キャップを、矢印の方向に回しながら外します。

⚠注意 トナー容器の先端部に触れたり、何かにぶつけるなどの衝撃を与えることは絶対に避けてください。トナーが漏れることがあります。

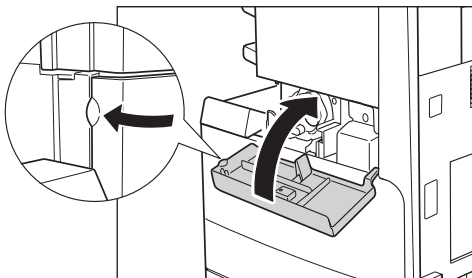
5 新しいトナー容器を奥まで押し込みます。

トナー容器が半分程入るまで、下に手を添えながら押し込んでください。

6 回転レバーを水平になるまで倒します。

重要 レバーの▼が Lock ▶の位置にあることを確認してください。

メモ 異なる機種のトナーをセットした場合、回転レバーは倒れません。

7 トナー補給カバーを閉じます。

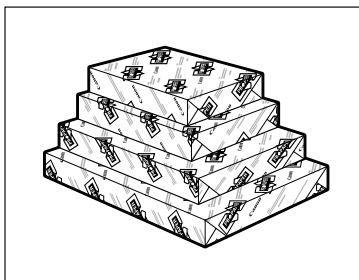
⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

消耗品

本製品には次のような消耗品が用意されています。詳しくは、お求めになった販売店にお問い合わせください。用紙、トナーはなくなる前に販売店よりお求めになることをおすすめします。

2

日常のメンテナンス

■ 用紙

普通紙（A3、B4、A4、B5、A5 サイズ）の他に、再生紙、カラーペーパー、OHP フィルム（本製品専用）、第 2 原図用紙、ラベル用紙などがあります。詳しくはお求めの販売店にお問い合わせください。

注意 用紙は火気のある場所に保管しないでください。用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。

重要 用紙補給後に残った用紙は、湿気を避けるため包装紙にしっかりと包んで保管してください。

メモ
- 快適なプリント結果を得ていただくため、キヤノン推奨用紙のご使用をおすすめします。
- 市販されている用紙にはいろいろな種類のものがあり、本製品にあわないものもあります。ご使用になる場合は、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

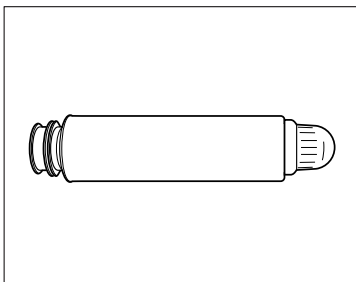
■ トナー容器

トナー容器交換のメッセージが表示されたら、トナー容器を交換してください。
最適な印刷品位のため、交換用トナー容器は、キヤノン純正トナー容器のご使用をお薦めします。

製品名	対応するキヤノン純正トナー	交換の目安	交換方法
LBP4510	Canon Toner Cartridge 530 (キヤノン　トナーカートリッジ　５３０)	平均印字可能枚数*[1] *[2]: 21,000 枚	トナー容器の交換(→P.2-44)

[1] 平均印字可能枚数は、「ISO/IEC 19752」 に準拠し、A4 サイズの普通紙で、印字濃度が工場出荷初期設定値の場合です。

* 「ISO/IEC 19752」とは、国際標準化機構(International Organization for Standardization)より発行された「印字可能枚数の測定方法」に関する国際標準です。

*[2] 交換時期になるとメッセージが表示されます。

警告
- トナー容器は火中に投じないでください。爆発の恐れがあり大変危険です。
- トナー容器は火気のある場所に保管しないでください。トナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

注意 トナーなどの消耗品は幼児の手の届かないところへ保管してください。もしトナーなどを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

重要 トナー容器は直射日光の当たらない涼しい場所に保管してください。(望ましい環境:温度 30 ℃以下/湿度 80 % 以下)

●トナーの偽造品にご注意ください

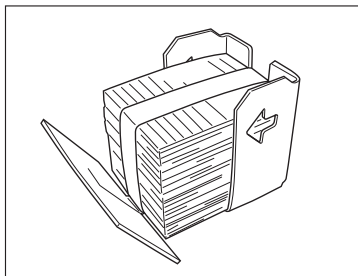
トナーの「偽造品」が流通していることが確認されています。
「偽造品」を使用されますと、印字品位の低下など、機械本体の本来の性能が十分に発揮されない場合があります。「偽造品」に起因する故障や事故につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。

詳しくは下記ホームページをご覧ください。
http://www.canon.com/counterfeit

■ 専用針ケース

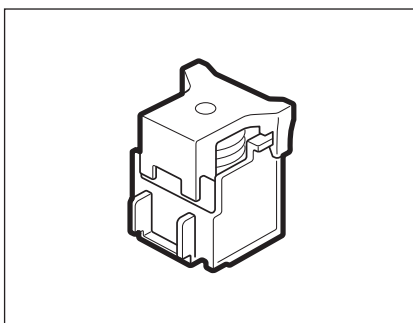
針ケース交換のメッセージが表示されたら、本製品専用の針ケースに交換してください。

製品名	対応するキヤノン純正針ケース	交換の目安	交換方法
LBP4510	ステイプル・J1	5,000 本 *1 *2	・フィニッシャー・S1：針ケースの交換（→P.2-29） ・フィニッシャー・AE1 ／サドルフィニッシャー・AE2：ステイプルユニット針ケースの交換（→P.2-35）

*1 ステイプル・J1 は、ステイプル針 5,000 本が 3 個セットで販売されています。
*2 交換時期になるとメッセージが表示されます。

■ 専用針カートリッジ

針カートリッジ交換のメッセージが表示されたら、本製品専用の針カートリッジに交換してください。

製品名	対応するキヤノン純正針カートリッジ	交換の目安	交換方法
LBP4510	ステイプル・D3	2,000 本 *1 *2	中とじユニット針カートリッジの交換（→P.2-38）

*1 ステイプル・D3 は、ステイプル針 2,000 本が 2 個セットで販売されています。
*2 交換時期になるとメッセージが表示されます。

保守サービスや無償保証について

<ご購入製品をいつまでもベストの状態でご使用いただくために>

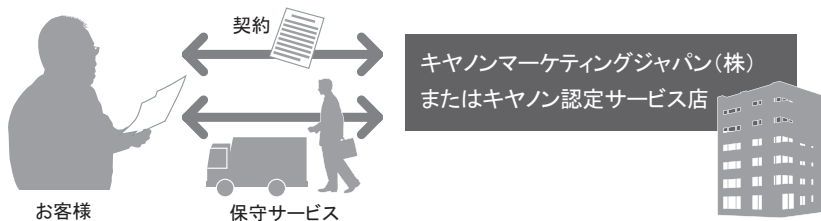
毎日ご愛用いただくレーザービームプリンターの保守サービスとして、「キヤノン保守契約制度」を用意しています。

これらはキヤノン製品を、いつも最高の状態で快適に、ご使用いただけますように充実した内容となっており、キヤノン認定の「サービスエンジニア」が責任をもって機能の維持管理等、万全の処置を行います。

お客様と、キヤノンをしっかりとつなぐ保守サービスで、キヤノン製品を末永くご愛用賜りますようお願い申しあげます。

キヤノン保守契約制度

キヤノン製品をご購入後、定められた無償修理保証期間中に万一発生したトラブルは無償でサービスを実施します。

保守契約制度とは、この無償保証期間の経過後の保守サービスを所定の料金で実施するシステムです。（製品により無償修理保証期間が異なります。また、一部無償修理保証期間を設けていない製品もあります。）

<キヤノン保守契約制度のメリット>

■ 都度の修理料金は不要

保守契約料金には、訪問料・技術料・部品代が含まれています。

万一のトラブルで予期しない出費が発生することはありません。

■ 保守点検の実施

お客様のご要望により、機器の保守点検を追加できます（有料）。

メモ

- 天災、火災、第三者の改造等に起因するトラブルや、消耗品代およびキヤノン指定の部品代は、「キヤノン保守契約制度」の対象外となります。
- 「キヤノン保守契約制度」に関するお問い合わせやお申し込みは、お買い上げの販売店もしくはキヤノンマーケティングジャパン（株）までお願いいたします。

補修用性能部品

本製品の補修用性能部品およびトナーの最低保有期間は、本製品製造打ち切り後、7 年間です。

無償保証について

- 本製品の無償保証期間は、お買い上げ日より 1 年間です。
- 無償保証の保守サービスをお受けになるためには、本製品に同梱の保証書が必要です。あらかじめ保証書の記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

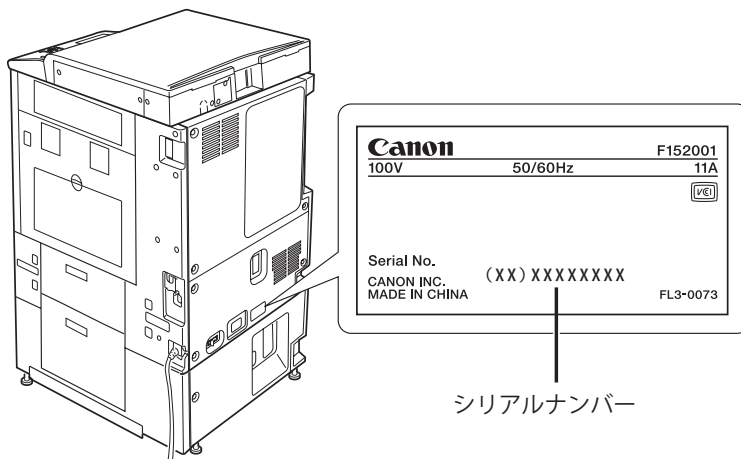
シリアルナンバーの表示位置について

本プリンターの保守サービスをお受けになるときは、シリアルナンバーが必要になります。シリアルナンバーは、図で示す位置に表示されています。

重要 シリアルナンバーが書かれたラベルは絶対にはがさないでください。

■ 本製品の背面

困ったときには

3
CHAPTER

紙づまりが起きたときや、エラーメッセージが表示されたときなどの対処方法について説明しています。
ここに記載されていないトラブルが発生したときは、ユーザーズガイドを参照してください。

トラブル解決マップ

プリントできない
はい
いいえ
文字の内容がおかしい
はい
動作モードが合っていない
→ユーザーズガイド > プリント > 本体の設定 (LIPSプリンタ)
いいえ
用紙設定が合っていない
→ユーザーズガイド > プリント > パソコンからのプリント (Windows)
→Macintosh用プリンタドライバオンラインマニュアル
はい
レイアウトがずれてしまう
アプリケーションソフトの印刷設定が合っていない
→アプリケーションソフトの取扱説明書
印字位置がずれている
→ユーザーズガイド > プリント > 本体の設定 (LIPSプリンタ)
いいえ
はい
印字品質が悪い
メモリ不足のため、処理が変更されている
→ユーザーズガイド > プリント > 本体の設定 (LIPSプリンタ)
本プリンタで使用できない用紙を使っている
→ユーザーズガイド > 基本的な使いかた
トナーの寿命が近づいてきている
→「トナー容器の交換」(P.2-44)
いいえ
その他のトラブル
→「エラーメッセージ一覧」(P.3-70)
→「サービスコール表示」(P.3-78)
→「プリンタドライバでのトラブル」(P.3-83)
→ユーザーズガイド > プリント > 本体の設定 (LIPSプリンタ)

NetSpot Job Monitor
またはプリントモニタに
メッセージが表示
されている
いいえ
出力先に本プリンタが選択されていない
→ユーザーズガイド > プリント > パソコンからのプリント (Windows)
→Macintosh用プリンタドライバオンラインマニュアル
はい
プリンタの電源が入っていない
→「主電源と操作部電源について」(P.1-13)
はい
“ステータスを取得
できませんでした”が
表示されている
ケーブルが正しく接続されていない
→スタートガイド
“用紙がありません。”が表示されている
→「用紙の補給」(P.2-8)
いいえ
“紙がつまりました。”が表示されている
→「紙づまりが起きたときには」(P.3-5)
“針がつまりました。”が表示されている
→「針づまりが起きたときには」(P.3-59)
“トナー容器を交換してください。”が表示されている
→「トナー容器の交換」(P.2-44)
はい
エラーメッセージが
表示されている
“ステイプラの針を補給してください。”が表示されている
→「針ケースの交換」(P.2-29)
→「ステイプルユニット針ケースの交換」(P.2-35)
いいえ
“中とじユニットの針を補給してください。”が表示されている
→「中とじユニット針カートリッジの交換」(P.2-38)
“パンチ屑入確認して下さい”が表示されている
→「パンチ屑の処理」(P.2-33、P.2-41)
サービスコールが表示されている
→「サービスコール表示」(P.3-78)
その他のエラーメッセージが表示されている
→「エラーメッセージ一覧」(P.3-70)
プリンタの実行/メモリ
ランプが点滅したまま
になっている
はい
前のジョブが残っていてプリントできない
→ユーザーズガイド > プリント > 本体の設定 (LIPSプリンタ)
→ユーザーズガイド > ボックス
いいえ
プリントデータを処理中です
しばらくお待ちください

頻繁に紙づまりが起こるときは

特に本製品に不具合がないのに紙づまりが頻発するときは、次の 2 つのような原因が考えられます。それぞれの対処方法に従って、原因を除去してください。

■ **本体内に紙片が残っている**

つまっている用紙を無理に引っ張ったりした場合、用紙が破れて紙片が本体内に残ってしまうことがあります。用紙が破れた場合には、残りの紙片もすべて取り除いてください。

■ **設定と異なる用紙がカセットにセットされている**

カセットにセットされている用紙が、カセットの右側面にある用紙サイズの指標と一致しているかどうか確認してください。

紙づまりが起きたときには

紙づまりが起きると、タッチパネルディスプレイに次のような画面が表示されます。

紙づまりが起こったときの表示

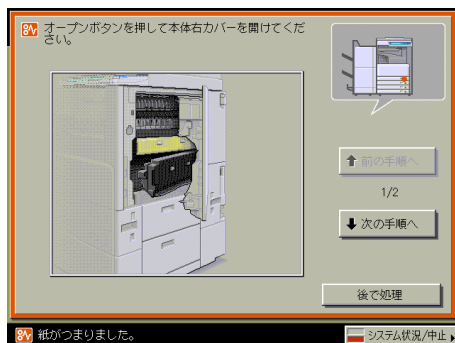
タッチパネルディスプレイに、紙がつまっている場所を示す画面と、紙づまりの処理方法が表示されます。この画面表示は紙づまりが処理されるまで繰り返されます。

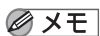
■ 紙づまりの箇所を示す画面の例

紙づまりの箇所を画面右上のウィンドウで確認できます。

［後で処理］を押した場合は、モードの設定などの操作は続けることができます。

重要　MEAP 画面を表示している場合は、ジョブ／プリント状況表示部にメッセージが表示されます。［システム状況 / 中止］を押したあと、画面の指示に従って用紙を取り除いてください。

■ 紙づまりの処理方法を示す画面の例

警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

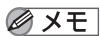
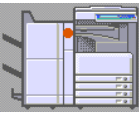
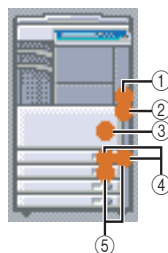
注意
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。
- 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどの原因になることがあります。
- 排紙直後の用紙は、熱くなっている場合があります。特に連続印刷した場合は、用紙を取り除くときや、取り除いた用紙を揃えるときに注意してください。やけどの原因になることがあります。
- 紙づまりの処理がすべて終了したら、本製品から直ちに手を離してください。ローラ部に衣服や手が巻き込まれて、けがの原因になることがあります。

メモ 複数の箇所に用紙がつまっている場合は、タッチパネルディスプレイに表示された順に処理してください。

---

1 画面に表示されたすべての紙づまり箇所を確認し、つまった紙を取り除きます。

つまった紙を見つけて取り除く方法については、以下の該当ページを参照してください。または、画面に表示される手順に従ってください。

用紙が破れた場合は、残りの紙片もすべて取り除いてください。

重要 紙づまり中に電源を切ると、カセットの紙づまりが検知されなくなります。電源を切らずに紙づまりを処理してください。

メモ
- 画面に表示されている紙づまり位置に、実際には紙がつまっていない場合があります。そのような場合もありますが、画面の表示に従い、必ずすべての表示箇所を確認してください。

- 紙づまりが起こる箇所と、それらの紙づまりの処理方法を説明している参照ページは以下のとおりです。

①定着ユニット（➞ 定着ユニットの紙づまりの処理：P.3-9）
②両面ユニット（➞ 両面ユニットの紙づまりの処理：P.3-11）
③手差しトレイ（➞ 手差しトレイ部の紙づまりの処理：P.3-13）
④カセット 1（➞ カセット 1 の紙づまりの処理：P.3-15）
⑤カセット 2（➞ カセット 2 の紙づまりの処理：P.3-19）

2 オプション機器で紙づまりが起きた場合は、それぞれの項目を参照してください。

2 段カセットペディスタル・Y3	
	紙づまりの処理：P.3-22
サイドペーパーデッキ・Q1	
	紙づまりの処理：P.3-25
フィニッシャー・S1	
	紙づまりの処理：P.3-28
	フィニッシャー・S1 ／インナーパンチャーキット・Q1 の入り口の紙づまりの処理：P.3-32
	入り口の紙づまりの処理：P.3-37

フィニッシャー・AE1 ／サドルフィニッシャー・AE2	
	上カバー内部の紙づまりの処理：P.3-40
	バッファパスユニットの紙づまりの処理：P.3-42
サドルフィニッシャー・AE2	
	前カバー部の紙づまりの処理：P.3-44
	中とじユニットの紙づまりの処理：P.3-47
パンチャーユニット・L1	
	紙づまりの処理：P.3-50
インナー 2 ウェイトレイ・D1	
	紙づまりの処理：P.3-53
コピートレイ・J1	
	紙づまりの処理：P.3-56

3 **表示された箇所につまっている紙をすべて取り除いたら、レバーやカバーなどを処理する前の状態に戻します。**

4 画面の指示に従って操作を続けます。

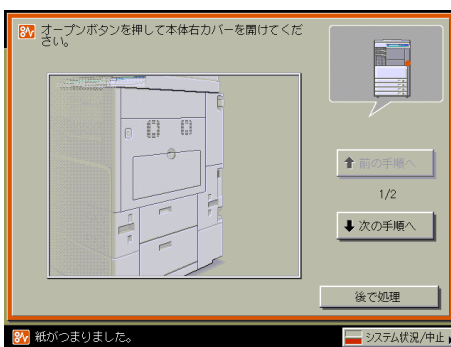
紙づまりの処理が終了するとプリント動作を再開します。

取り除く紙が他にもある場合は、タッチパネルディスプレイに紙づまりの処理方法を示す画面が表示されます。手順 1 から同様の作業をしてください。

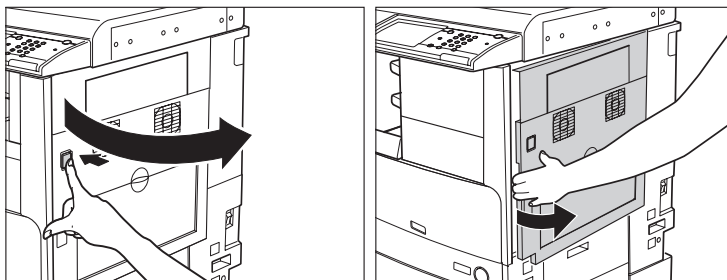
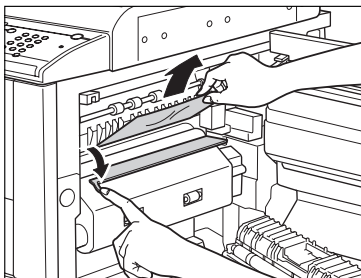
定着ユニットの紙づまりの処理

定着ユニットで紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

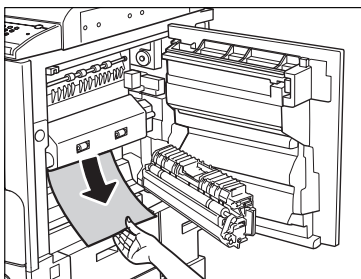
注意 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

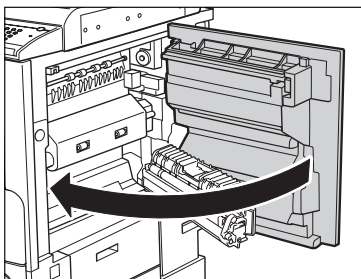
---

1 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

オプションのコピートレイ・J1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、コピートレイ・J1 上の用紙をすべて取り除いてください。

2 定着ユニットの上部カバーを手前に倒し、つまっている用紙を取り除きます。

定着ユニットの下側につまっている用紙があるときは、手順３へ進みます。

注意 定着器内部は使用中に高温になります。紙を取り除くときは、上部カバー以外の定着器周辺に触れないでください。

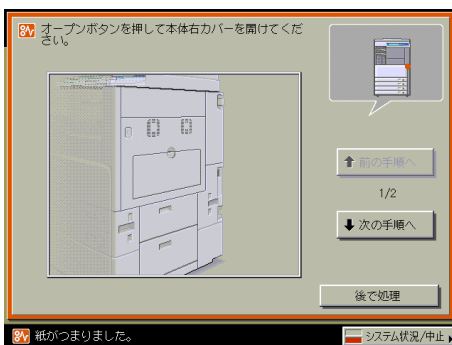
3 定着ユニットの下側につまっている用紙を取り除きます。

4 本体の右カバー側面の手マーク（）を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 画面の指示に従って操作します。

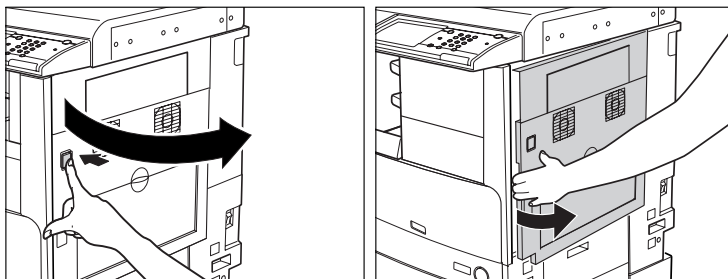
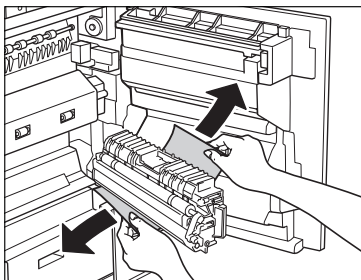
メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
（→ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

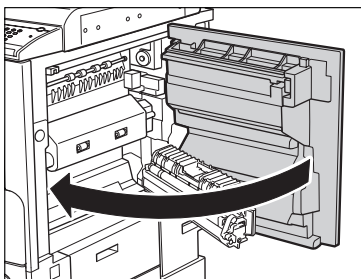
両面ユニットの紙づまりの処理

両面ユニットで紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

注意 製品内部の定着器周辺は、使用中に高温になります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、定着器周辺に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

1 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（→ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

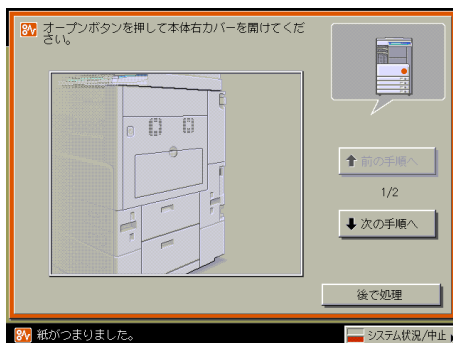
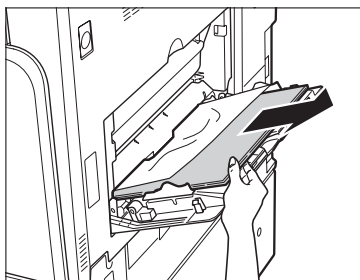
オプションのコピートレイ・J1（→ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、コピートレイ・J1 上の用紙をすべて取り除いてください。

2 両面ユニットにつまっている用紙を取り除きます。

3 本体の右カバー側面の手マーク（）を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

4 画面の指示に従って操作します。

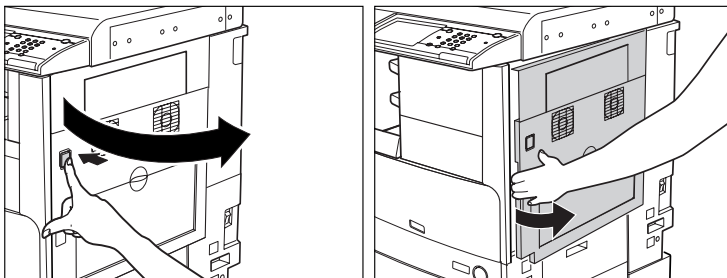
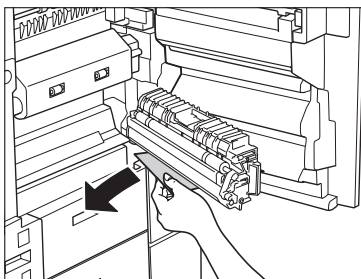
メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。（➞ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

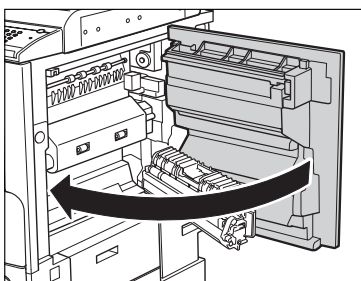
手差しトレイ部の紙づまりの処理

手差しトレイ部で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

1 **手差しトレイ上の紙づまりしていない用紙をいったんすべて取り除きます。**

2 **つまっている用紙を取り除きます。**

3 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（→ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

オプションのコピートレイ・J1（→ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、コピートレイ・J1 上の用紙をすべて取り除いてください。

4 手差し給紙口につまっている用紙を、右カバーの裏側から取り除きます。

5 本体の右カバー側面の手マーク（☞）を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（→ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。

⚠注意　カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 画面の指示に従って操作します。

メモ　紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
（➞ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

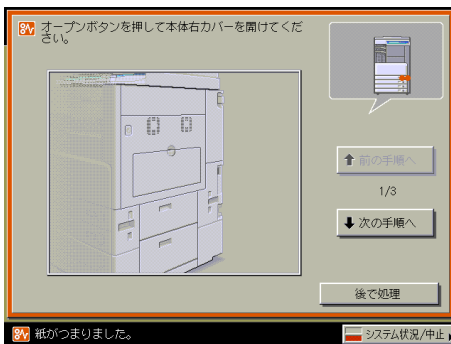
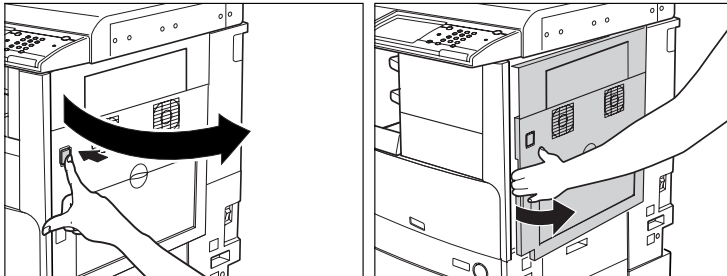
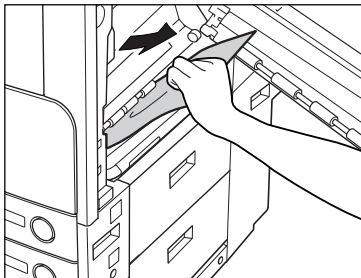
カセット 1 の紙づまりの処理

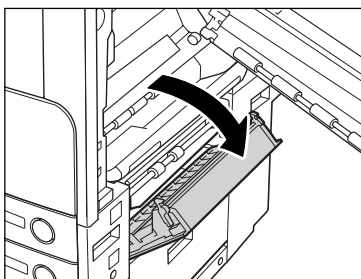
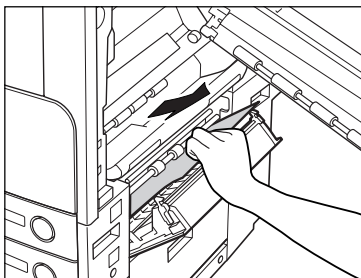
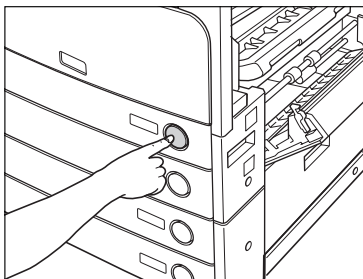
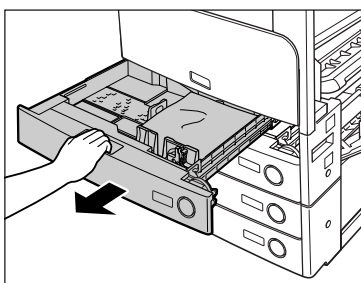
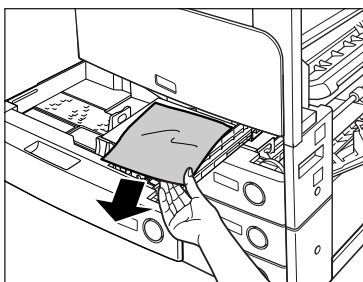
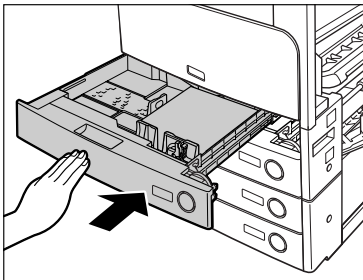
カセット 1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

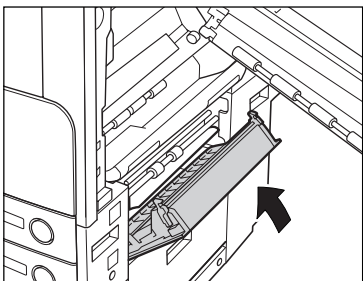
1 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

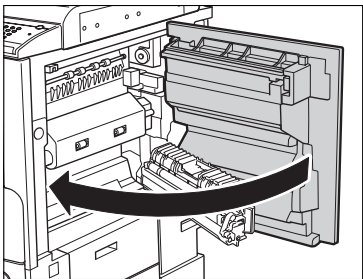
オプションのコピートレイ・J1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、コピートレイ・J1 上の用紙をすべて取り除いてください。

3

困ったときには

2 つまっている用紙を取り除きます。

3 本体のカセット右上カバーを開きます。

4 つまっている用紙を取り除きます。

5 カセット 1 のオープンボタンをいったん押して離します。

6 カセット 1 を引き出します。

7 つまっている用紙を取り除きます。

8 カセット 1 をカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。

⚠注意 カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

9 本体のカセット右上カバーを閉じます。

⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

10 本体の右カバー側面の手マーク（）を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。

⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

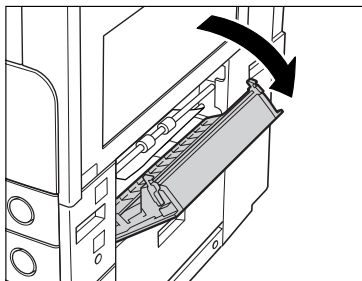
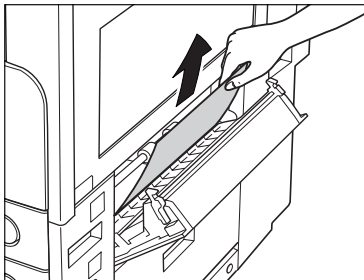
11 画面の指示に従って操作します。

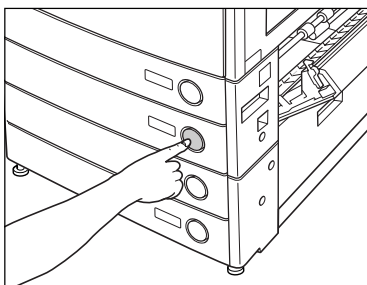
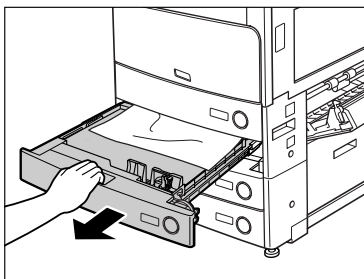
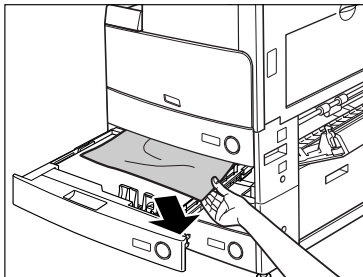
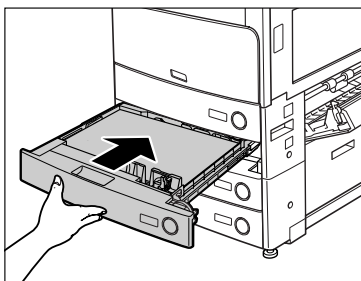
メモ　紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
（➞ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

カセット 2 の紙づまりの処理

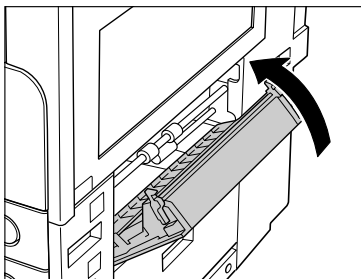
カセット 2 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

1 本体のカセット右上カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

2 つまっている用紙を取り除きます。

3 カセット 2 のオープンボタンをいったん押して離します。

4 カセット 2 を引き出します。

5 つまっている用紙を取り除きます。

6 カセット 2 をカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。

注意 カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

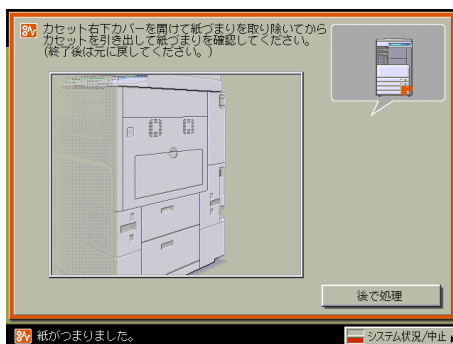
7 本体のカセット右上カバーを閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 画面の指示に従って操作します。

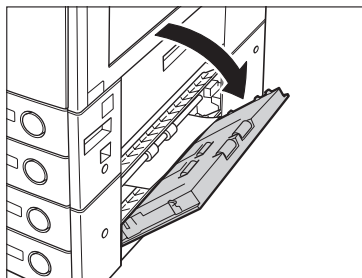
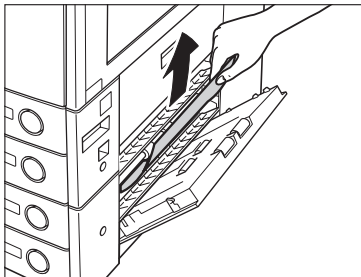
メモ　紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
(→ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5)

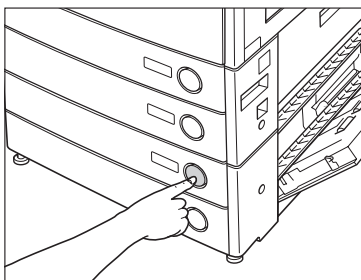
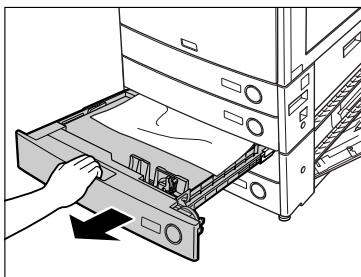
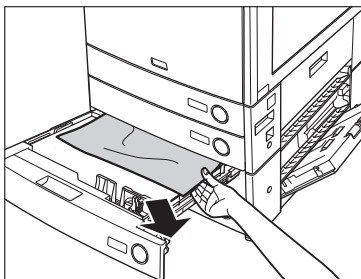
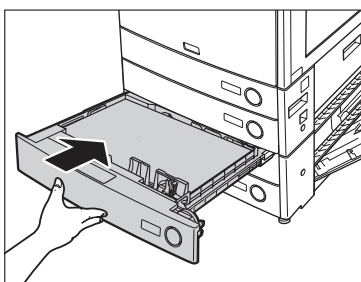
2 段カセットペディスタル・Y3 の紙づまりの処理（オプション）

2 段カセットペディスタル・Y3 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

警告　製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

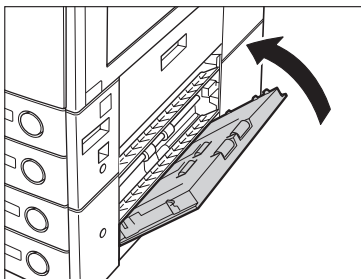
注意　紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

1 カセットペディスタルの右下カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（→ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

2 つまっている用紙を取り除きます。

3 給紙中のカセットのオープンボタンをいったん押して離します。

4 カセットを引き出します。

5 つまっている用紙を取り除きます。

6 カセットをカチッと音がするまで静かに本体に押し込みます。

注意 カセットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

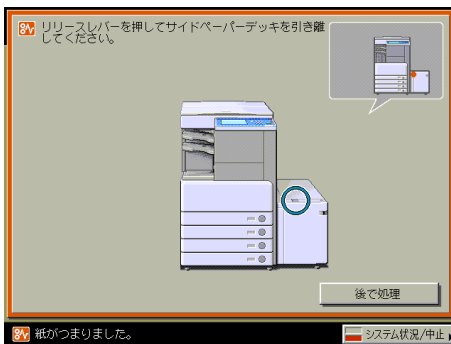
7 カセットペディスタルの右下カバーを閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

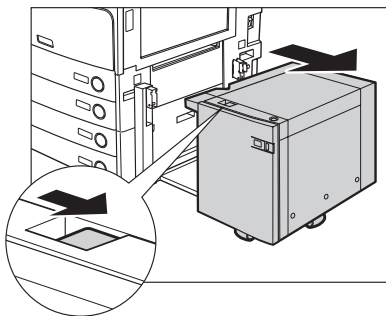
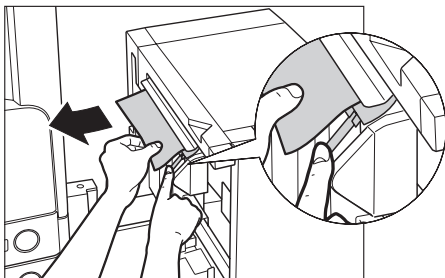
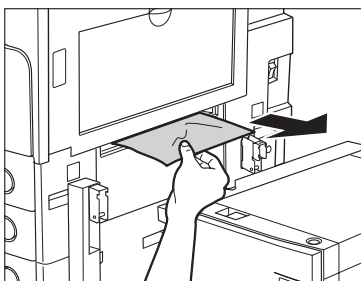
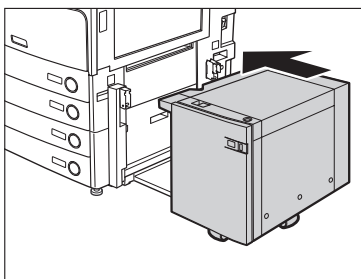
8 画面の指示に従って操作します。

メモ　紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
（➞ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

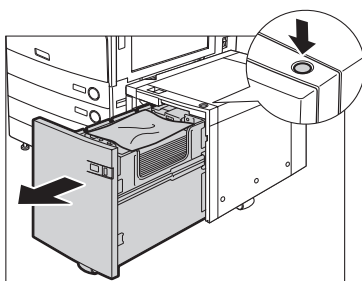
サイドペーパーデッキ・Q1 の紙づまりの処理（オプション）

サイドペーパーデッキ・Q1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

警告　製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

注意　紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。

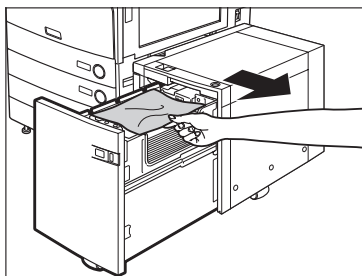
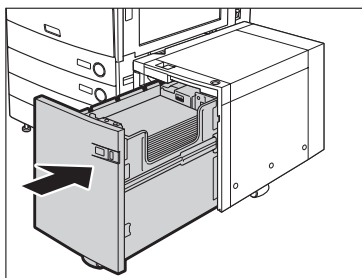
1 リリースレバーを押して、サイドペーパーデッキを本体から引き離します。

2 ペーパーデッキの本体側の側面のレバーを引き下げながら、給紙部につまっている用紙を取り除きます。

本体側面の給紙口にも紙がつまっていることがあります。つまっている場合は紙を取り除いてください。

3 サイドペーパーデッキを本体に接続します。

サイドペーパーデッキを接続したときに紙づまりのメッセージが表示されなくなった場合は、手順７へ進みます。

注意 サイドペーパーデッキを本体に接続する場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

4 サイドペーパーデッキのオープンボタンを押して、サイドペーパーデッキを開きます。

自動的に内部のリフターが下がります。

重要　本製品がスリープモードに移行しているとき（タッチパネルディスプレイの表示が消灯し、主電源ランプが点灯しているとき）はサイドペーパーデッキを開くことができない場合があります。この場合は、操作部電源スイッチを押して、スリープモードを解除してからオープンボタンを押してください。

5 つまっている用紙を取り除きます。

つまっている用紙は見えにくいことがあります。よく確認してください。

6 サイドペーパーデッキを閉じます。

注意　サイドペーパーデッキを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 画面の指示に従って操作します。

メモ　紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
（➞ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

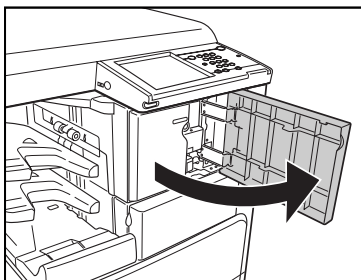
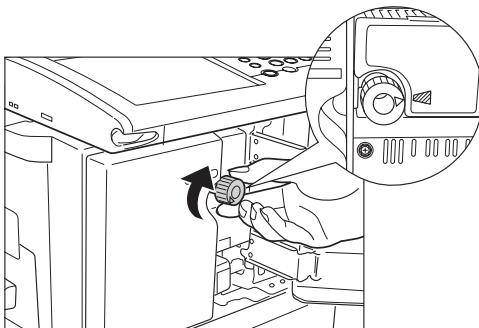
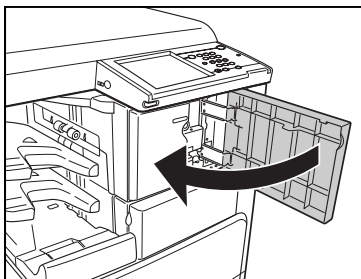
フィニッシャー・S1 の紙づまりの処理（オプション）

フィニッシャー・S1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

警告　製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

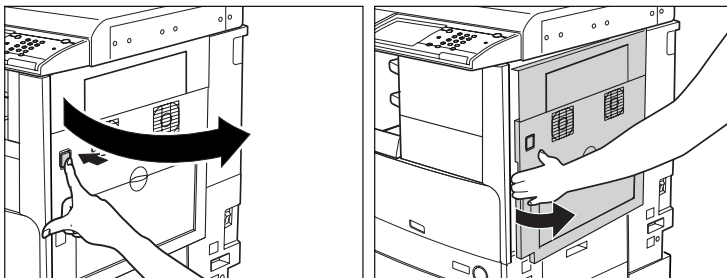
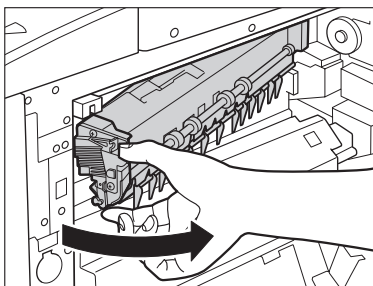
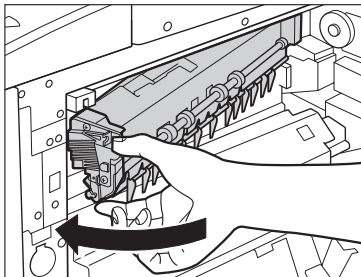
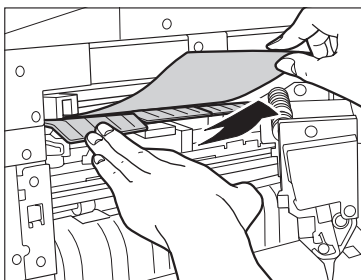
注意
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 フィニッシャの前カバーを開きます。

オプションのインナーパンチャーキット・Q1 を装着していない場合は、この手順は不要です。手順 4 へ進んでください。

2 つまみの▲を▨の範囲にあわせます。

3 フィニッシャの前カバーを閉じます。

⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

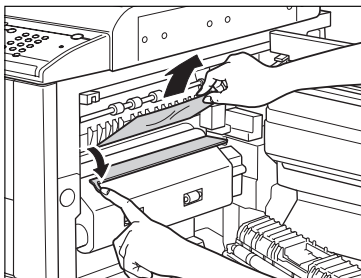
4 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

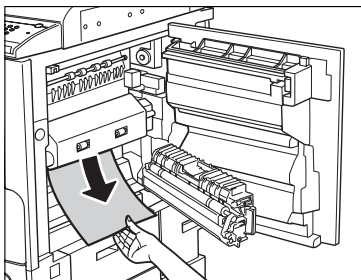
オプションのコピートレイ・J1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、コピートレイ・J1 上の用紙をすべて取り除いてください。

5 排紙ユニットを引き出します。

6 排紙ガイドを下げながら、つまっている用紙を取り除きます。

重要 排紙ガイドが下がらない場合は破損する恐れがあるため、他の排紙ガイドを下げてください。

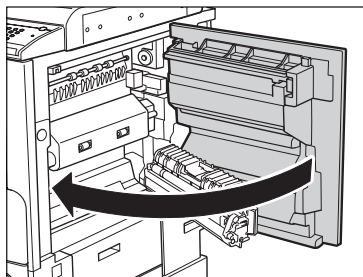
7 排紙ユニットを戻します。

⚠注意　排紙ユニットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 定着ユニットの上部カバーを手前に倒し、つまっている用紙を取り除きます。

定着ユニットの下側につまっている用紙があるときは、手順９へ進みます。

⚠注意　定着器内部は使用中に高温になります。紙を取り除くときは、上部カバー以外の定着器周辺に触れないでください。

9 定着ユニットの下側につまっている用紙を取り除きます。

10 本体の右カバー側面の手マーク（）を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

11 画面の指示に従って操作します。

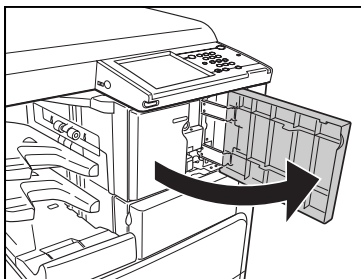
メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。（➞ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

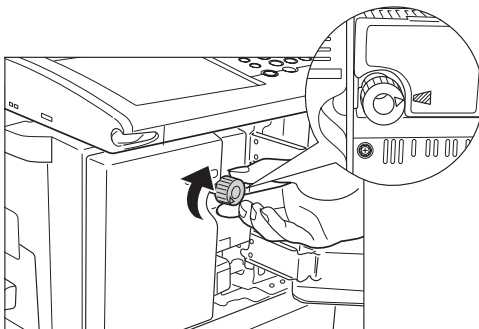
フィニッシャー・S1 ／インナーパンチャーキット・Q1 の入り口の紙づまりの処理（オプション）

フィニッシャー・S1 ／インナーパンチャーキット・Q1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

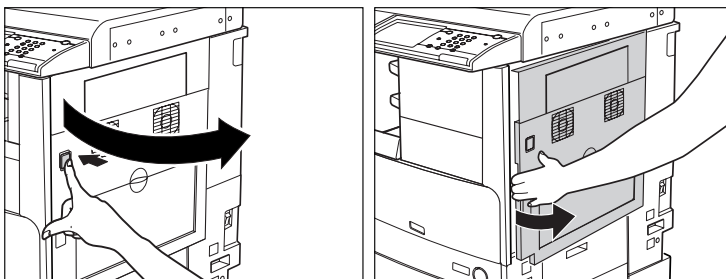
⚠注意

- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 フィニッシャの前カバーを開きます。

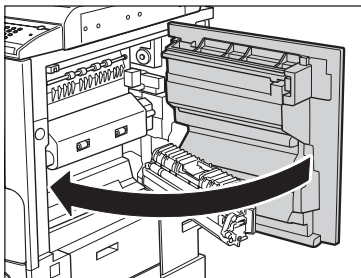
2 つまみの▲を▨の範囲にあわせます。

3 フィニッシャの排紙口から見えている用紙を取り除きます。

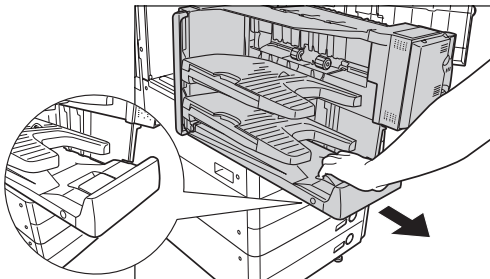
4 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

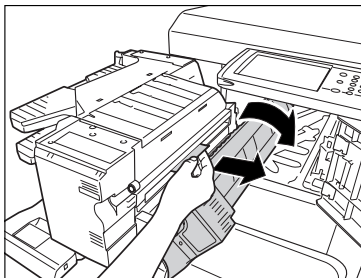
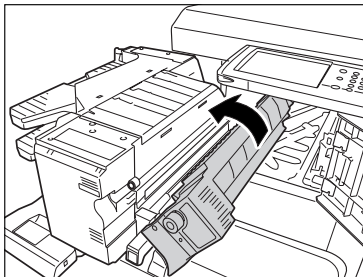
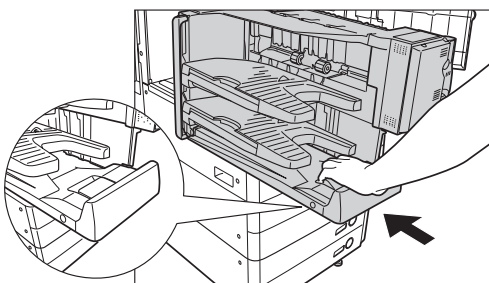
オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

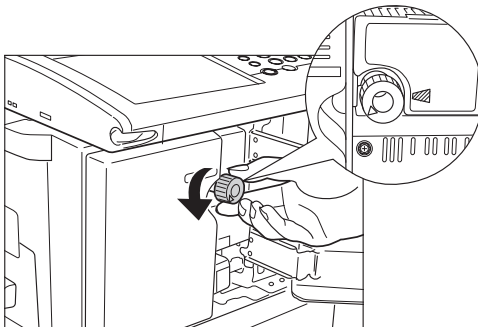
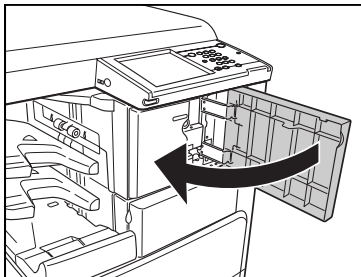
オプションのコピートレイ・J1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、コピートレイ・J1 上の用紙をすべて取り除いてください。

5 「フィニッシャー・S1 の紙づまりの処理（オプション）」（→P.3-28）の手順 5 ～ 9 に準じて、つまっている用紙を取り除きます。

6 本体の右カバー側面の手マーク（☞）を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。

⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 引きハンドルを持ち、フィニッシャを左斜めに引き出します。

⚠注意 引き出したフィニッシャの上に物を置いたり、体重をかけたりしないでください。本製品が故障したり、倒れてけがの原因になることがあります。

8 インナーパンチャーキットを開いて、つまっている用紙を取り除きます。

9 インナーパンチャーキットを元の位置に戻します。

10 引きハンドルを持ち、フィニッシャを元の位置に戻します。

⚠注意　フィニッシャを戻す場合は、フィニッシャの下側に手や指を入れて戻さないでください。すき間に手や指をはさまれ、けがの原因になることがあります。

11 つまみの▲を元の位置に戻します。

12 フィニッシャの前カバーを閉じます。

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

13 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。（→紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

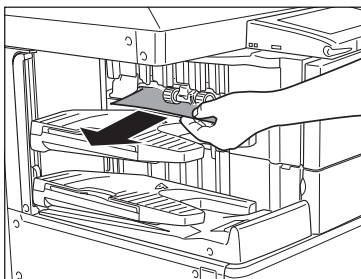
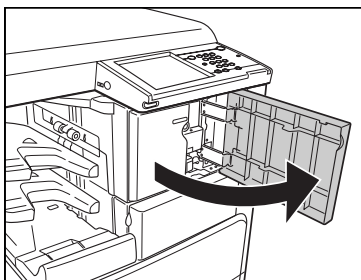
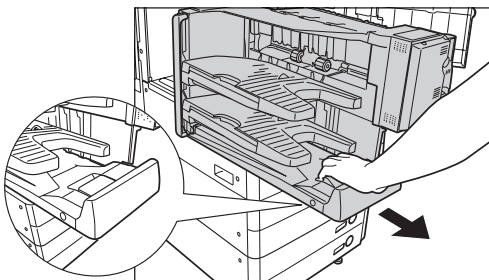
フィニッシャー・S1 の入り口の紙づまりの処理（オプション）

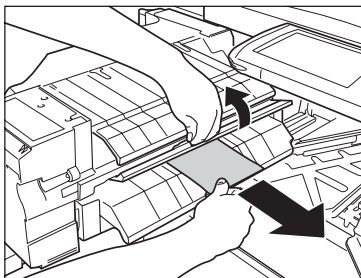
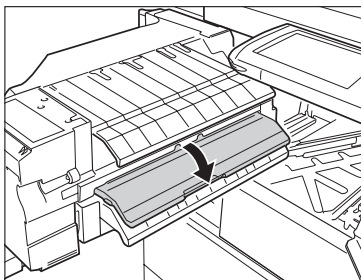
フィニッシャー・S1 の入り口で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

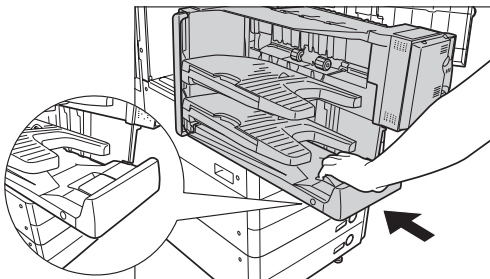
警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

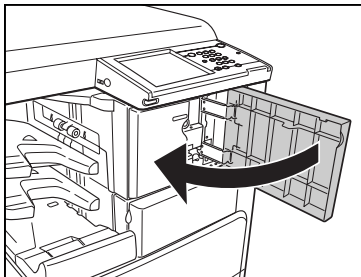
注意
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。

- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れがとれなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 **フィニッシャの排紙口から見えている用紙を取り除きます。**

2 **フィニッシャの前カバーを開きます。**

3 **引きハンドルを持ち、フィニッシャを左斜めに引き出します。**

⚠注意　引き出したフィニッシャの上に物を置いたり、体重をかけたりしないでください。本製品が故障したり、倒れてけがの原因になることがあります。

4 搬送カバーを開いて、つまっている用紙を取り除きます。

5 搬送カバーを閉じます。

⚠注意　カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 引きハンドルを持ち、フィニッシャを元の位置に戻します。

⚠注意　フィニッシャを戻す場合は、フィニッシャの下側に手や指を入れて戻さないでください。すき間に手や指をはさまれ、けがの原因になることがあります。

7 フィニッシャの前カバーを閉じます。

⚠注意　カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

8 画面の指示に従って操作します。

メモ　紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。（➞紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

フィニッシャー・AE1 ／サドルフィニッシャー・AE2 の上カバー内部の紙づまりの処理（オプション）

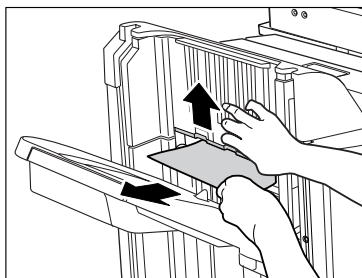
フィニッシャー・AE1 ／サドルフィニッシャー・AE2 の上カバー内部で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

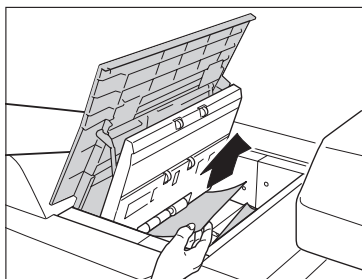
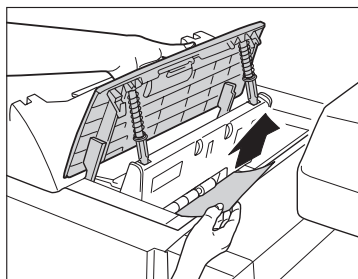
⚠警告　製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

⚠注意
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。

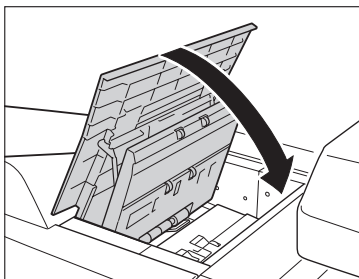
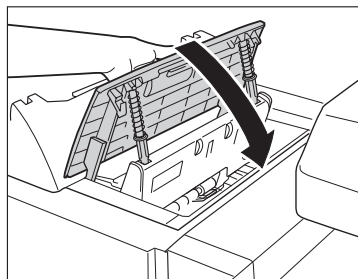
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 排紙部を開いて、外側から見えている用紙を取り除きます。

用紙が見えない場合は、排紙部内につまっている用紙がないか確認してください。

重要 ステイプルソートを設定してプリントしていた場合、ステイプルされる前の出力紙の束は取り除かないでください。（紙づまりを処理したあと、続きから出力されます。）

2 フィニッシャの上カバーを開いて、つまっている用紙をすべて取り除きます。

サドルフィニッシャー・AE2

フィニッシャー・AE1

3 困ったときには

3 上カバーを閉じます。

サドルフィニッシャー・AE2

フィニッシャー・AE1

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

4 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
(➞ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5)

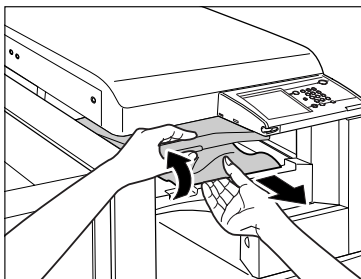
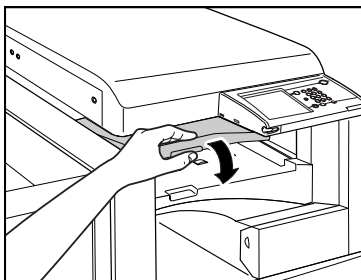
フィニッシャー・AE1 ／サドルフィニッシャー・AE2 のバッファパスユニットの紙づまりの処理（オプション）

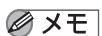
フィニッシャー・AE1 ／サドルフィニッシャー・AE2 のバッファパスユニットで紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

注意

- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 バッファパスユニットを開いて、つまっている用紙を取り除きます。

2 バッファパスユニットを閉じます。

注意 ユニットを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

3 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
（➞ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

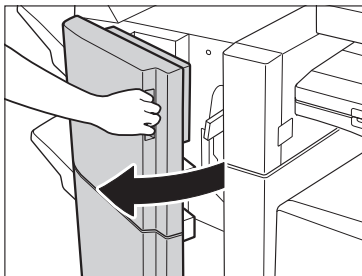
サドルフィニッシャー・AE2 の前カバー部の紙づまりの処理（オプション）

サドルフィニッシャー・AE2 の前カバー部で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

警告　製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

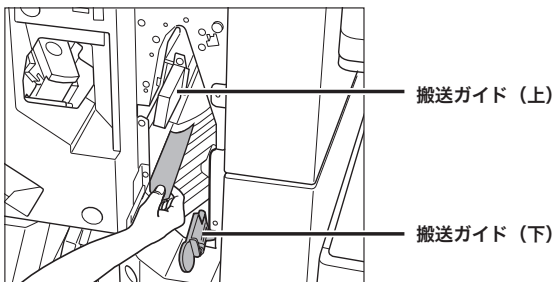
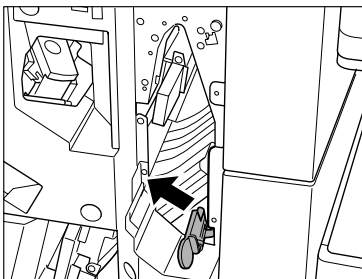
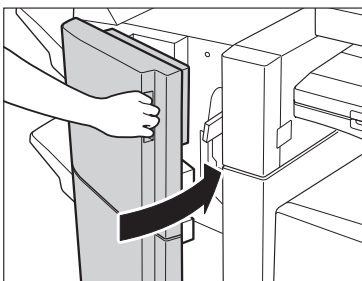
注意

- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 フィニッシャの前カバーを開きます。

2 搬送ガイド（上）を開いて、つまっている用紙を取り除きます。

搬送ガイド（上）はバネが組み込まれています。搬送ガイド（上）を放すと元の位置に戻ります。

3 搬送ガイド（下）を開いて、つまっている用紙を取り除きます。

搬送ガイド（下）は右に止まるまで回したあと、開きます。

4 搬送ガイド（下）を元の位置まで戻します。

5 フィニッシャの前カバーを閉じます。

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
（➞ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

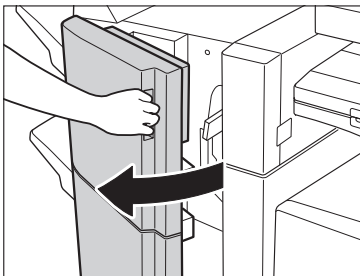
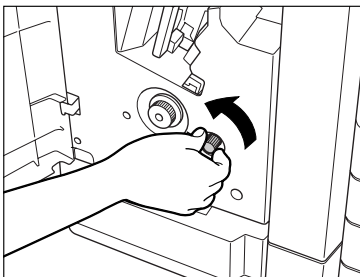
サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユニットの紙づまりの処理（オプション）

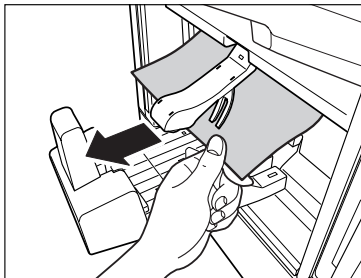
サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユニットで紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

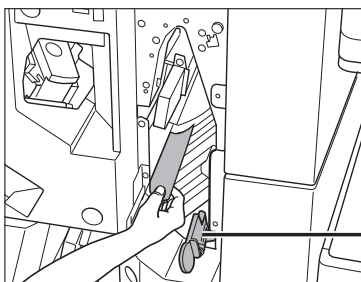
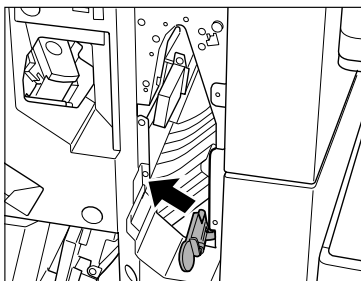
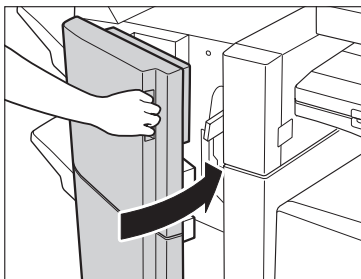
警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

注意

- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 フィニッシャの前カバーを開きます。

2 右側のつまみを回します。

3 左側のつまみを押しながら回します。

4 外側から見えている用紙を取り除きます。

5 搬送ガイド（下）を開いて、つまっている用紙を取り除きます。

搬送ガイド（下）は右に止まるまで回したあと、開きます。

6 搬送ガイド（下）を元の位置まで戻します。

7 フィニッシャの前カバーを閉じます。

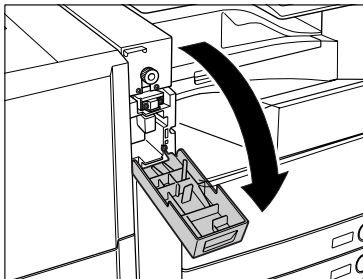
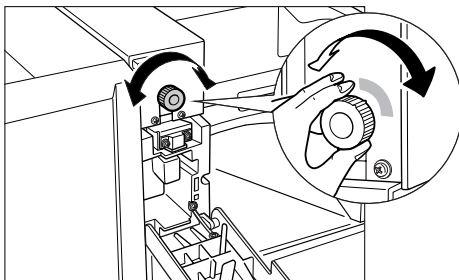
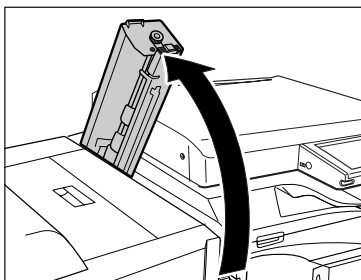
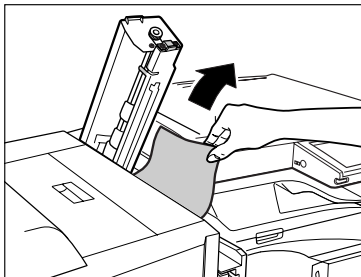
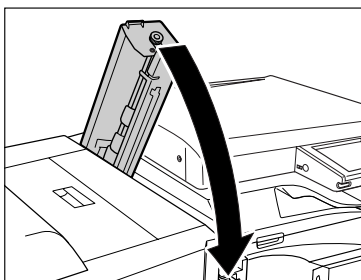
注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

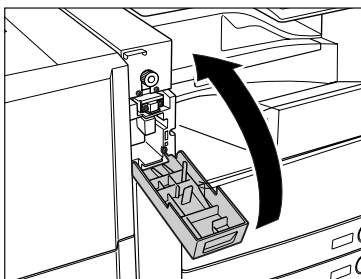
8 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
（➞ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

パンチャーユニット・L1 の紙づまりの処理（オプション）

パンチャーユニット・L1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

1 パンチャーユニットの前カバーを開きます。

2 つまみの▲を　の範囲にあわせます。

3 パンチャーユニットの上カバーを開きます。

4 つまっている用紙を取り除きます。

5 パンチャーユニットの上カバーを閉じます。

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

6 パンチャーユニットの前カバーを閉じます。

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 画面の指示に従って操作します。

メモ 紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。
（➞ 紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

インナー２ウェイトレイ・D1 の紙づまりの処理（オプション）

インナー２ウェイトレイ・D1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

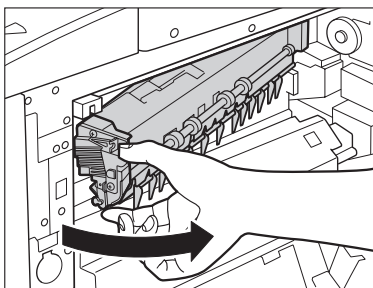
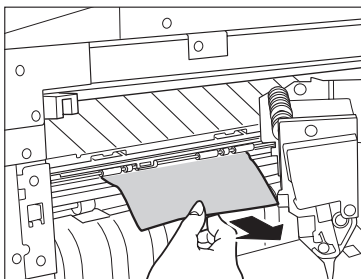
警告 製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

注意
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

オプションのコピートレイ・J1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、コピートレイ・J1 上の用紙をすべて取り除いてください。

2 排紙ユニットを引き出します。

3 つまっている用紙を取り除きます。

4 排紙ユニットを戻します。

⚠注意　ユニットを戻す場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

5 本体の右カバーの裏側につまっている用紙を取り除きます。

6 本体の右カバー側面の手マーク（☜）を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（→ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。

⚠注意　カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

7 画面の指示に従って操作します。

メモ　紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。（→紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

コピートレイ・J1 の紙づまりの処理（オプション）

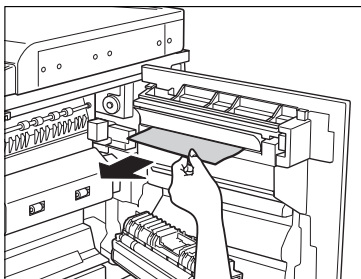
コピートレイ・J1 で紙づまりが起こると、下のような画面が表示されます。紙づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って用紙を取り除いてください。

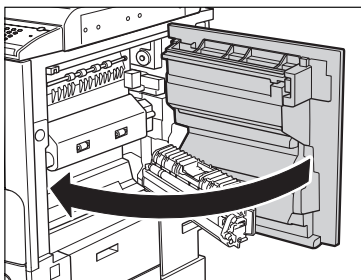
警告　製品内部には、高圧になる部分があります。紙づまりの処理など内部を点検するときは、ネックレス、ブレスレットなどの金属物が製品内部に触れないように点検してください。やけどや感電の原因になることがあります。

注意
- 紙づまりを取り除くときは、用紙の端で手を切ったりしないように、注意してください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、製品内部で手を切ったりけがをしないように、注意してください。用紙を取り除くことができない場合は、担当サービスにお問い合わせください。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが衣服や手に触れないように取り除いてください。衣服や手が汚れます。衣服や手が汚れた場合は、直ちに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。
- 紙づまりで用紙を製品内部から取り除くときは、紙づまりしている用紙の上にのっているトナーが飛び散らないように、丁寧に取り除いてください。トナーが目や口などに入ることがあります。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。

1 本体の右カバーオープンボタンを押して、右カバーを開きます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体から引き離してください。

2 コピートレイの排紙部につまっている用紙を、本体の右カバーの裏側から取り除きます。

3 本体の右カバー側面の手マーク（）を押して、カチッと音がするまで静かに閉じます。

オプションのサイドペーパーデッキ・Q1（➞ ユーザーズガイド > オプション機器について）を装着している場合は、サイドペーパーデッキを本体に接続します。

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

4 画面の指示に従って操作します。

紙づまりの処理方法を示す画面表示は、紙づまりが処理されるまで繰り返されます。（➞紙づまりが起こったときの表示：P.3-5）

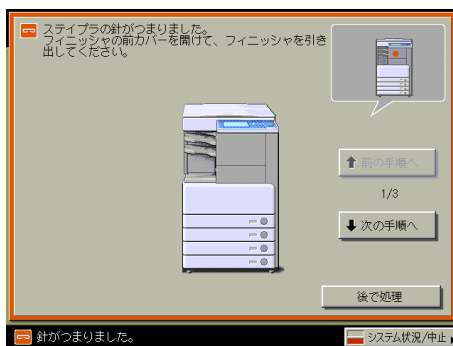
3

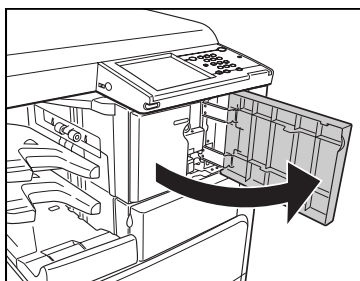
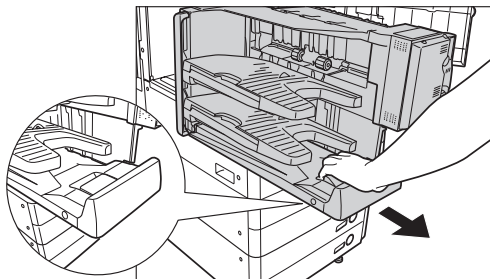
困ったときには

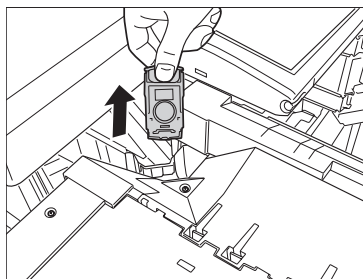
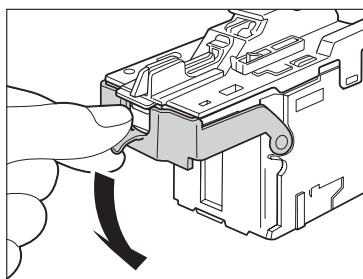
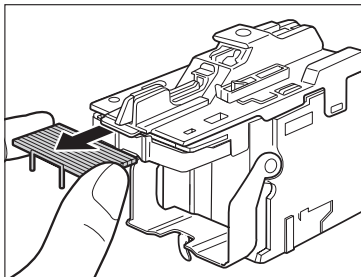
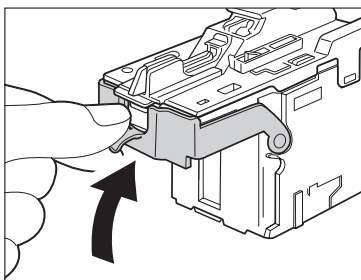
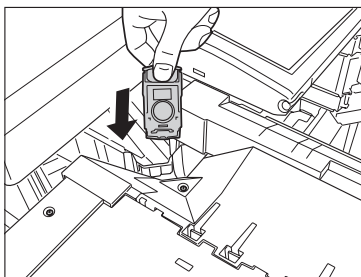
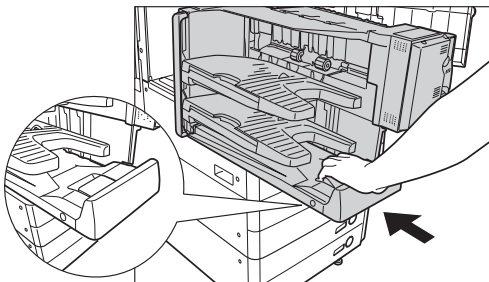
針づまりが起きたときには

針づまりが起きたときには、以下の手順に従って針を取り除いてください。

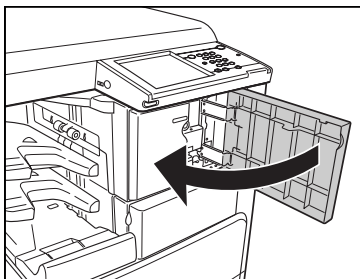
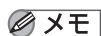
フィニッシャー・S1 の針づまりの処理（オプション）

フィニッシャー・S1 で針づまりが起こると、下のような画面が表示されます。針づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って針を取り除いてください。

重要 針づまりの処理を行う場合は、本製品のカバーやカセットが閉じていることを確認してから行ってください。

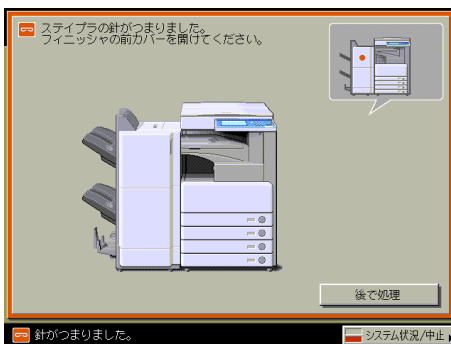
1 **フィニッシャの前カバーを開きます。**

2 引きハンドルを持ち、フィニッシャを左斜めに引き出します。

⚠注意　引き出したフィニッシャの上に物を置いたり、体重をかけたりしないでください。本製品が故障したり、倒れてけがの原因になることがあります。

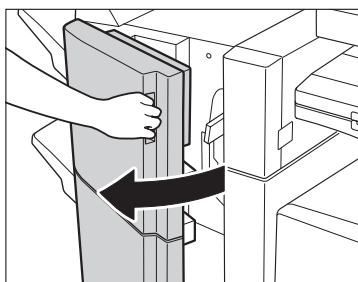
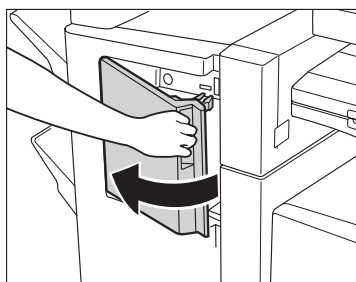
3 針カートリッジの上下（緑色の部分）をつまんで引き上げてから引き出します。

4 針カートリッジのつまみを下げます。

5 針ケースからスライドされている針束をすべて取り除きます。

6 針カートリッジのつまみを元に戻します。

7 針カートリッジをしっかり押し込みます。

8 引きハンドルを持ち、フィニッシャを元の位置に戻します。

⚠注意 フィニッシャを戻す場合は、フィニッシャの下側に手や指を入れて戻さないでください。すき間に手や指をはさまれ、けがの原因になることがあります。

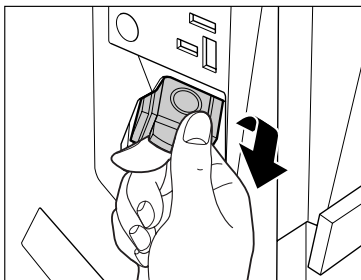
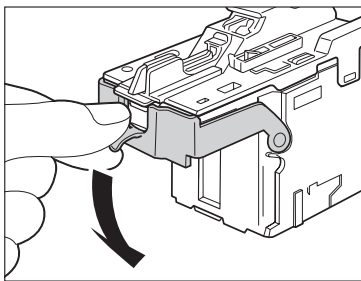
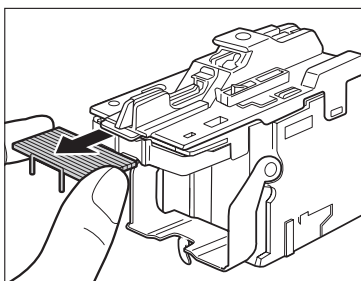
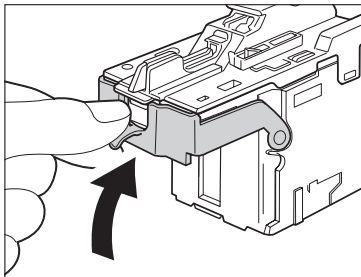
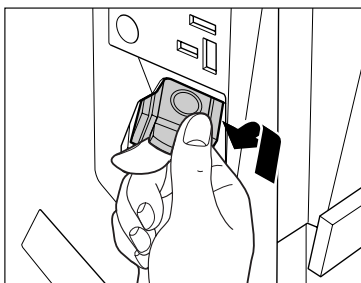
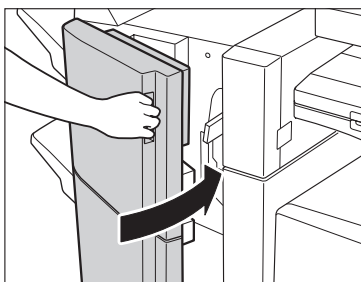
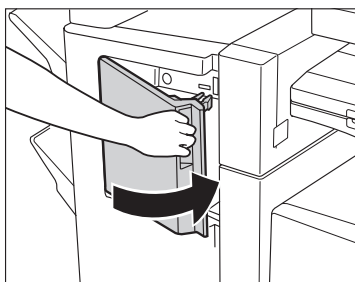
9 フィニッシャの前カバーを閉じます。

⚠注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ カバーを閉じると、針がとじ位置になければステイプルユニットは自動的に数回空うちして、針の頭出しを行います。

フィニッシャー・AE1 ／サドルフィニッシャー・AE2 のステイプルユニットの針づまりの処理（オプション）

フィニッシャー・AE1 ／サドルフィニッシャー・AE2 のステイプルユニットで針づまりが起こると、下のような画面が表示されます。針づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って針を取り除いてください。

重要 針づまりの処理を行う場合は、本製品のカバーやカセットが閉じていることを確認してから行ってください。

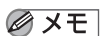
1 フィニッシャの前カバーを開きます。

サドルフィニッシャー・AE2

フィニッシャー・AE1

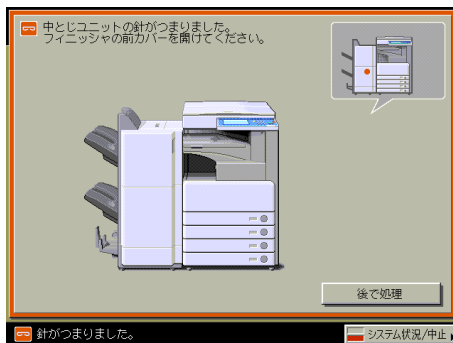
2 針カートリッジの上下（緑色の部分）をつまんで引き上げてから引き出します。

3 針カートリッジのつまみを下げます。

4 針ケースからスライドされている針束をすべて取り除きます。

5 針カートリッジのつまみを元に戻します。

6 針カートリッジをしっかり押し込みます。

7 フィニッシャの前カバーを閉じます。

サドルフィニッシャー・AE2

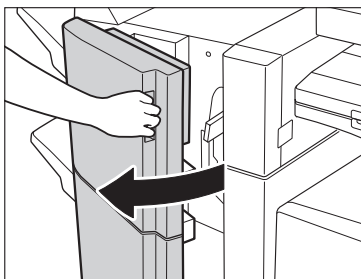
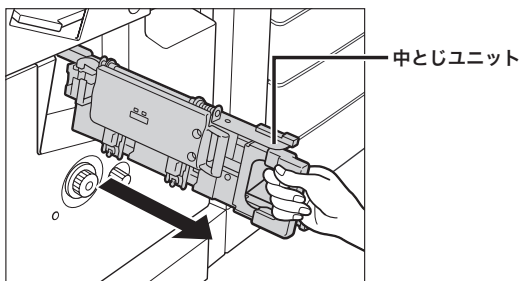
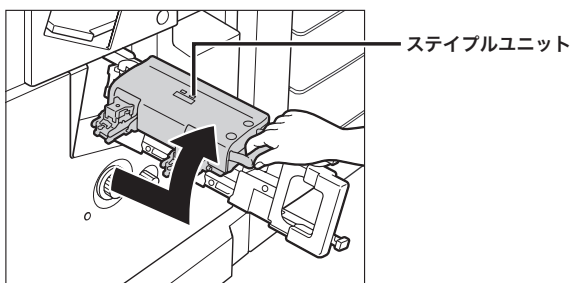
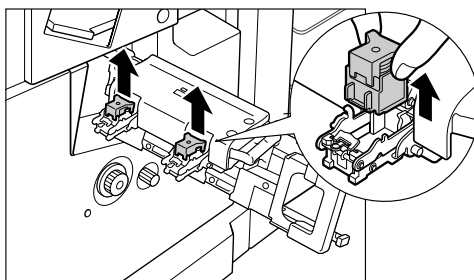
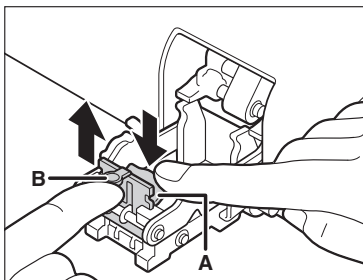
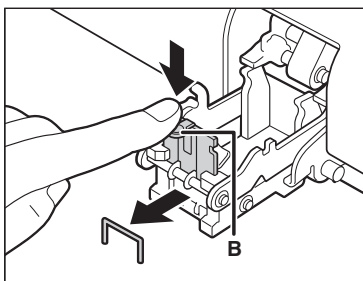
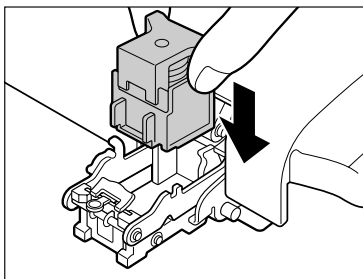
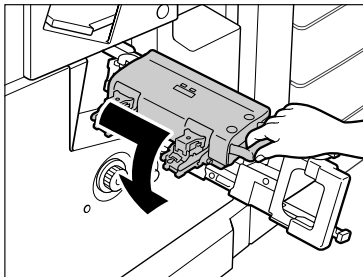
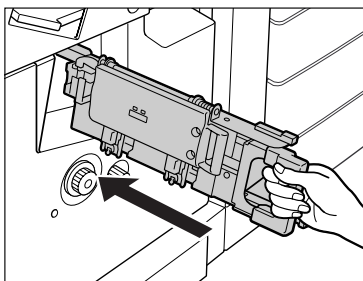
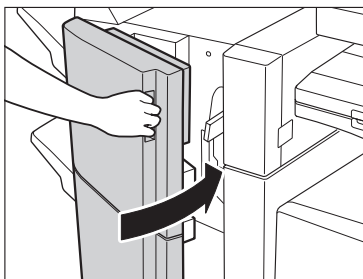
フィニッシャー・AE1

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

メモ カバーを閉じると、針がとじ位置になければステイプルユニットは自動的に数回空打ちして針の頭出しを行います。

サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユニットの針づまりの処理（オプション）

サドルフィニッシャー・AE2 の中とじユニットで針づまりが起こると、下のような画面が表示されます。針づまり位置を確認し、画面に表示される処理方法を参考にしながら、以下の手順に従って針を取り除いてください。

重要

- 中とじユニットの針づまりの処理を行う前に、製本トレイに排紙された用紙をすべて取り除いてください。
- この処理はオプションのサドルフィニッシャー・AE2 装着時のみ行います。

1 **フィニッシャの前カバーを開きます。**

2 中とじユニットの取っ手を持ち、止まるまで引き出します。

3 中とじユニットのステイプルユニットを一度手前に引いたあと起こします。

4 針カートリッジの左右をつまんで取り外します。

5 Aの部分を下に押して、Bのつまみを引き上げます。

6 つまっている針を取り除き、Bのつまみを元に戻します。

7 針カートリッジを元に戻します。

8 中とじユニットのステイプルユニットを一度手前に引いて元に戻します。

9 中とじユニットを押し戻します。

10 フィニッシャの前カバーを閉じます。

注意 カバーを閉じる場合は、すき間に指をはさまないように注意してください。

重要 針づまりの処理が終了したら、針の頭出しを行ってください。(➞ ユーザーズガイド > 初期設定/登録)

エラーメッセージ一覧

タッチパネルディスプレイに表示されるメッセージの対処方法を説明します。

記載されていないメッセージについては、ユーザーズガイド > ネットワークを参照してください。

自己診断表示

表示されたメッセージに応じて、必要な処理を行ってください。次のような状態になったとき、自己診断表示が表示されます。

- 何らかの操作上の誤りでプリントできないとき。
- プリント動作中にユーザの判断や処理が必要になったとき。
- ネットワークの参照中にユーザの判断や処理が必要になったとき。

以下は、自己診断メッセージと原因と処置方法の一覧です。

用紙がありません。

原因 1 用紙がなくなり、プリントできません。

処　置 用紙を補給してください。（➞ 用紙の補給：P.2-8）

原因 2 カセットが正しくセットされていません。

処　置 カセットを奥までセットしてください。（➞ 用紙の補給：P.2-8）

最適サイズの A4 がありません。

原　因 ボックスからのプリント時に、自動用紙選択で選択された最適サイズの用紙がセットされていません。

処置 1 表示されているサイズの用紙をセットしてください。

処置 2 表示されているサイズの用紙がセットされていてもこのメッセージが表示された場合は、目的のカセットのカセットオート選択の ON/OFF を「ON」に設定します。（➞ ユーザーズガイド > 初期設定／登録）

処置 3 現在セットされている用紙にプリントするときは、[プリント設定変更] を押して、プリントする用紙を選択します。（➞ ユーザーズガイド > ボックス）

排紙トレイの紙を取り除いてください。

原　因　前のプリントがトレイに残っています。

処　置　トレイに残っている用紙を取り除いてください。プリントが開始または再開されます。

製本トレイの紙を取り除いてください。

原　因　前のプリントがトレイに残っています。

処　置　製本トレイに残っている用紙を取り除いてください。プリントが開始または再開されます。

トナー容器を交換してください。

原因 1　トナー残量が少なくなり、もうすぐプリントできなくなります。

処　置　交換用のトナー容器を用意してください。

原因 2　トナー残量が少なくなり、プリントできません。

処　置　トナー容器を交換してください。（➞ トナー容器の交換：P.2-44）

回収トナー容器の準備が必要です。（継続プリント可）

原　因　回収トナーがもうすぐいっぱいになります。

処　置　このままでもプリントできますが、回収トナーがいっぱいになると、プリントできなくなります。
大量のプリントをするときは、担当サービスに連絡して、回収トナー容器を交換することをおすすめします。

回収トナーがいっぱいです。(担当サービスに連絡)

原　因　回収トナー容器がいっぱいになり、プリントできません。

処　置　担当サービスに連絡して、回収トナー容器を交換してください。

この番号は登録されていません。再入力してください。

原　因　入力した部門 ID/ 暗証番号は登録されていません。

処　置　部門のシステム管理者に部門 ID/ 暗証番号をご確認ください。

終了コード一覧

ジョブや操作が正常に終了していない場合は、終了コードを確認し、表示されている終了コードに応じて、必要な処理を行ってください。終了コードは、システム状況画面のジョブ履歴の詳細情報画面で確認することができます。（➞ ユーザーズガイド > 基本的な使いかた）

終了コードに応じて、必要な処理を行ってください。

#009

原因 1 用紙がありません。

処　置 用紙を補給してください。（➞ 用紙の補給：P.2-8）

原因 2 カセットが正しくセットされていません。

処　置 カセットを正しくセットしなおしてください。（➞ 用紙の補給：P.2-8）

#099

原　因 プリントが中止されました。

処　置 もう一度プリントをやりなおしてください。

#701

原因 1 ジョブを投入したときに設定した部門 ID が存在しません。または、パスワードを変更しました。

処　置 正しい部門 ID または、暗証番号を⓪～⑨（テンキー）で入力して、もう一度送信してください。

原因 2 ジョブの実行中に部門 ID または暗証番号が変更されました。

処　置 変更後の部門 ID と暗証番号でもう一度やりなおしてください。暗証番号がわからないときは、システム管理者にご連絡ください。

原因 3 ID 不定のプリントジョブの受付設定が「OFF」になっています。

処　置 システム管理設定（初期設定／登録）の部門別 ID 管理にある「ID 不定プリンタジョブの許可」を「ON」にしてください。（➞ ユーザーズガイド > セキュリティ）

#703

原　因　メモリの画像領域がいっぱいになり、プリントできませんでした。

処置 1　しばらくお待ちください。他のプリントジョブが終了してから、もう一度プリントしてください。

処置 2　ボックス内の文書を削除してください。それでも正常に動作しない場合は、本製品の主電源を入れなおしてください。（➞ ユーザーズガイド > ボックス）

#711

原　因　ボックス内のメモリがいっぱいです。

処　置　ボックス内の文書を削除してください。（➞ ユーザーズガイド > ボックス）

#712

原　因　ボックス内の文書がいっぱいです。

処　置　ボックス内の文書を削除してください。（➞ ユーザーズガイド > ボックス）

#749

原　因　サービスコールが表示されたため、実行できませんでした。

処　置　主電源スイッチをいったん切ったあと、10　秒以上待ってからもう一度主電源スイッチを入れてください。それでも正常に動作しない場合は、主電源スイッチを切ったあと、電源プラグをコンセントから抜いて、担当サービスにご連絡ください。（➞ 主電源と操作部電源について：P.1-13）

#816

原　因　部門別 ID 管理の制限面数で設定した数値を超え、プリントできませんでした。

処　置　システム管理者にご連絡ください。

#825

原　因　予約中、実行中のプリントジョブの部門IDと暗証番号が消去、または暗証番号が変更されていたためプリントできませんでした。

処　置　変更後の部門IDと暗証番号でもう一度やりなおしてください。部門IDと暗証番号を登録してください。暗証番号がわからないときは、システム管理者にご連絡ください。

#849

原　因　配信先となる子機のジョブが動作中のため、機器情報を配信できませんでした。

処　置　配信先となる子機のジョブが終了してから、もう一度機器情報を配信してください。

#850

原　因　配信先となる子機で、配信された機器情報の関連画面が操作中のため、機器情報を配信できませんでした。

処　置　配信されなかった機器情報を確認したあと、もう一度機器情報を配信してください。（➞ ユーザーズガイド > セキュリティ）

#851

原因1　本製品のメモリ残量が足りなくなりました。

処　置　本製品のメモリ残量を確認したあと、ボックスの不要な文書を消去してください。（➞ ユーザーズガイド > ボックス）

原因2　メモリの画像領域がいっぱいになりました。

処　置　エラー文書や不要な文書を削除して、メモリの空き容量を増やしてください。（➞ ユーザーズガイド > ボックス）

原因3　指定したボックス内の文書数が2000文書を超えているため、保存できませんでした。

処　置　指定したボックスの文書を消去してください。（➞ ユーザーズガイド > ボックス）

#852

原　因　ジョブ実行中に主電源スイッチが切られ、エラーが発生しました。

処　置　主電源が入っているか確認したあと、必要に応じてもう一度やりなおしてください。（➞ 主電源と操作部電源について：P.1-13）

#853

原因 1　大量なページをプリントしようとしたときなどに、リソース不足によってジョブを実行することができませんでした。

処　置　プリントするページを減らすか、他のプリントジョブが予約されていないときにもう一度実行してください。

原因 2　パソコンから本製品へプリントデータを送信中に、プリンタドライバからキャンセルされたことによってジョブを実行することができませんでした。

処　置　もう一度実行してください。

原因 3　システム管理設定（初期設定／登録）のネットワーク設定にあるスプール機能を使用が「ON」に設定されているときに、受信データのスプール領域がいっぱいになり、ホストからの受信データをすべてスプールしきれませんでした。

処　置　システム管理設定（初期設定／登録）のネットワーク設定にあるスプール機能を使用を「OFF」に設定したあと、もう一度送信してください。（➞ ユーザーズガイド > ネットワーク）

原因 4　受信データ処理中に受信できるデータの上限を超えました。（➞ ユーザーズガイド > ボックス）

処　置　すべてのジョブが終了してからもう一度プリントしてください。それでもプリントできない場合は、送信データを確認してください。

原因 5　同時に受付可能なセキュアジョブ数を越えてセキュアジョブが投入されました。

処　置　プリンタ本体に蓄積されているセキュアジョブを実行または消去してから、もう一度実行してください。（➞ ユーザーズガイド > プリント > 本体の設定 (LIPS プリンタ))

#854

原　因　配信先となる子機で、システム管理設定（初期設定／登録）の機器情報配信の設定にある配信元による受信制限が「ON」の設定になっているため、同一機種グループ以外からの機器情報を配信できませんでした。

処　置　システム管理設定（初期設定／登録）の機器情報配信の設定にある配信元による受信制限の設定を「OFF」にしてから、もう一度機器情報を配信してください。（→ ユーザーズガイド > セキュリティ）

#855

原　因　配信先となる子機で扱えない言語が含まれた機器情報のため、配信できませんでした。

処　置　担当サービスにお問い合わせください。

#856

原　因　一時的な保存データ用のハードディスク領域がいっぱいになったため、ジョブがキャンセルされました。

処　置　システム管理者にご連絡ください。

#857

原　因　データ受信のタイムアウトか、ホストからジョブがキャンセルされました。

処　置　ネットワークの状態を確認し、もう一度プリントしてください。

#858

原　因　プリントデータに異常が発生しました。

処　置　プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

#860

原因 1　プリント中に用紙がつまりました。

処　置　もう一度プリントしてください。

原因 2　本製品専用ではない OHP フィルムが使用されました。

処　置　本製品専用の OHP フィルムを使用してもう一度プリントしてください。

#861

原　因　PDL データ、画像データの処理中にエラーが発生しました。

処　置　プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

#862

原因 1　プリント中に、サドル積載枚数の制限を越えました。

処　置　プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

原因 2　サポートされない設定の組み合わせがされました。

処　置　プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

原因 3　互換性を保証していない画像データがプリントされました。

処　置　プリントデータ、またはプリント設定を変更してもう一度プリントしてください。

#863

原　因　PDL データ、画像データの処理中にエラーが発生しました。

処　置　設定を確認し、もう一度やりなおしてください。

#865

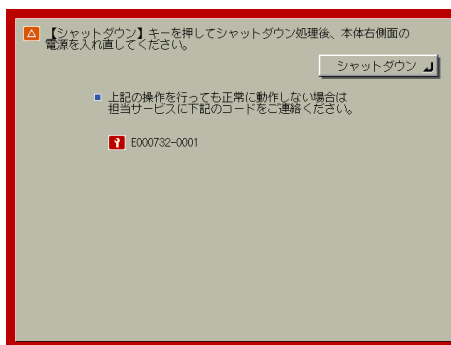
原　因　ジョブ実行に関連する機能が制限されています。

処　置　システム管理者に連絡してください。

サービスコール表示

機械に何らかの異常が起こり、正常に動かなくなったときは、サービスコールが表示されます。

担当サービスを呼ぶときは

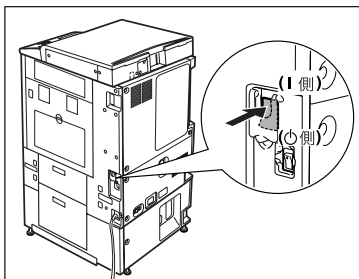
下のようなサービスコールが表示されたら次のように対処してください。

警告　濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。

注意　電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っぱると、電源コードの芯線の露出、断線など電源コードが傷つき、その部分から漏電して、火災や感電の原因になることがあります。

重要　プリント待機中のデータがある場合に主電源スイッチを切ると、プリント待機中のデータは消去されます。

1 ［シャットダウン］を押します。

シャットダウン終了後、自動的に操作部電源スイッチが切れ、本体右側面の主電源スイッチも「⏻」側に倒れます。

2 **10秒以上待ってからもう一度主電源スイッチを「I」側に倒します。**

3 **それでも正常に作動しない場合は、次のことを行ってから担当サービスにご連絡ください。**

❑ 主電源スイッチを切ります。

❑ 電源プラグをコンセントから抜きます。

メモ

担当サービスに連絡する場合は、以下の項目を確認してください。
・製品名
・トラブルの現象や状況など
・タッチパネルディスプレイに表示されているコード番号

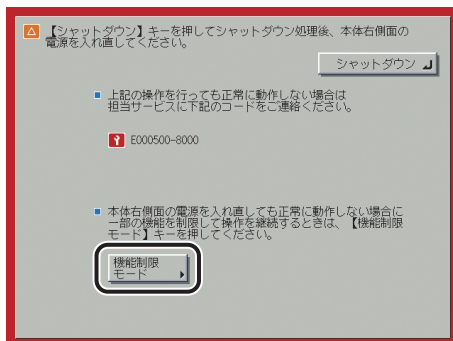
サービスコール画面から機能制限モードを設定する

主電源を入れ直しても、サービスコールが表示される場合に、サービスコールの原因が解決されるまでの一時的な処置として、機能制限モードで本製品を操作することができるものもあります。

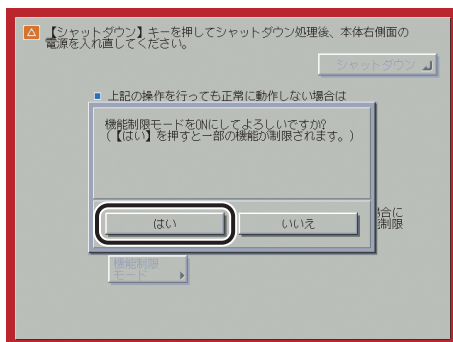
重要

プリント待機中のデータがある場合に主電源スイッチを切ると、プリント待機中のデータは消去されます。

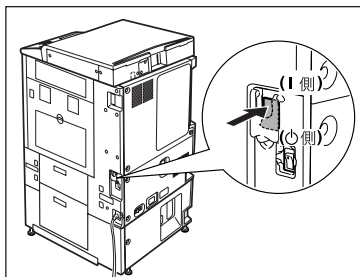
メモ

サービスコール画面から機能制限モードを設定した場合は、共通仕様設定（初期設定／登録）の機能制限モードも「ON」に設定されます。（➞ ユーザーズガイド > 初期設定／登録）

1 ［機能制限モード］を押します。

2 ［はい］を押します。

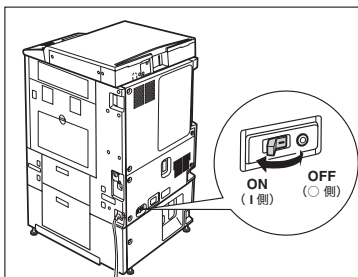
本体の主電源スイッチを入れなおすメッセージが表示されます。

3 ［シャットダウン］を押します。

シャットダウン終了後、自動的に操作部電源スイッチが切れ、本体右側面の主電源スイッチも「⏻」側に倒れます。

4 10 秒以上待ってからもう一度主電源スイッチを「I」側に倒します。

機能制限モードで起動します。

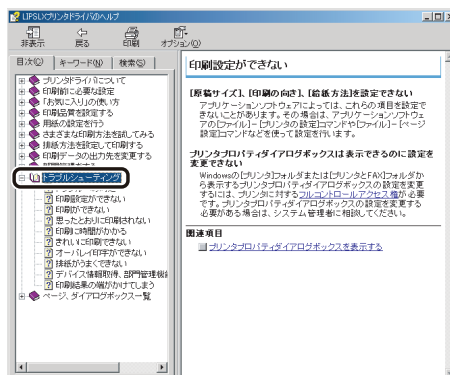
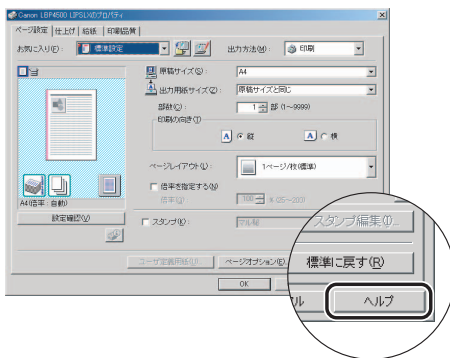
電源が入らないとき（ブレーカーの確認）

主電源スイッチ、操作部電源スイッチが入っているのに本製品が動作しない場合には、必ずブレーカーが OFF になっていないか確認してください。

確認を行ったあとブレーカーが OFF になっていた場合は、ブレーカーを再度入れなおさずに担当サービスにご連絡ください。

警告 本製品のブレーカーが落ちていた場合は、ブレーカーを再度入れなおさないでください。感電、発火、発煙または屋内ブレーカーが落ちる原因になります。

プリンタドライバでのトラブル

Windows 用プリンタドライバを使用したときのトラブル対処については、ドライバヘルプにある「トラブルシューティング」を参照してください。

付録

本体やオプション機器の仕様および便利な情報について記載しています。

4
付録

レポートサンプル

プリント履歴レポート

プリントの履歴をレポートとしてプリントします。プリント履歴レポートは、システム状況／中止画面でプリントすることができます。（➞ ユーザーズガイド > こんなことができます）

2009 04/09 THU 20:19　　LBP4500　　001

****
*** ﾌﾟﾘﾝﾄ履歴ﾚﾎﾟｰﾄ(ﾌﾟﾘﾝﾀ) ***
****

部門ID：8251

受付番号	日時	ｼﾞｮﾌﾞ名	ﾕｰｻﾞ名	枚数x部数	結果
5001	04/03 10:48	テスト ページ	Hiro9	1x1	OK
5003	04/03 11:36	テスト ページ	Administrator	4x1	OK
5007	04/03 11:38	UtilityPrint	System	1x5	OK
5008	04/03 11:46	UtilityPrint	System	5x9	OK
5009	04/03 11:50	UtilityPrint	System	3x5	OK
5010	04/03 13:07	UtilityPrint	System	2x4	OK
5011	04/03 13:11	UtilityPrint	System	1x9	OK
5034	04/03 20:35	UtilityPrint	System	1x4	OK
5035	04/03 20:48	UtilityPrint	System	1x9	OK

■ 部門 ID

部門別 ID 管理が設定されている場合は部門 ID が記載され、部門 ID ごとにプリント履歴がプリントされます。

■ 受付番号

プリントを受け付けたとき、自動的に付けられた番号（4 桁）がプリントされます。

■ 日時

プリントが終了した日付と時刻が 24 時間制でプリントされます。

■ ジョブ名

プリントされた文書名またはジョブの種類がプリントされます。

■ ユーザ名

プリントを行ったユーザ名がプリントされます。

■ 枚数×部数

プリント 1 部あたりの枚数とプリント部数がプリントされます。

■ **結果**

OK または NG がプリントされます。

OK はプリントが正常終了したときにプリントされます。

NG の場合、並べてエラーコードまたは STOP がプリントされます。

機器情報配信先リスト

機器情報配信の配信先の情報をプリントします。機器情報配信先リストは、必要に応じて手動でプリントします。(➞ ユーザーズガイド > セキュリティ)

2009 04/09 THU 16:12　　LBP4500　　001

****
*** 機器情報配信先ﾘｽﾄ ***
****

配信先	配信先受信可能ﾃﾞｰﾀ	自動配信	自動配信ﾃﾞｰﾀ
111.111.111.1	部門ID	ON	部門ID
222.222.222.222	部門ID	ON	部門ID
333.333.333.333	部門ID	ON	部門ID

■ **配信先**

登録してある配信先の IP アドレスがプリントされます。

■ **配信先受信可能データ**

登録してある配信先で受信可能な項目をプリントします。

■ **自動配信**

登録してある配信先に対して、自動配信が設定されているときは "ON"、設定されていないときは "OFF" とプリントされます。

■ **自動配信データ**

自動配信が設定されている場合に、配信する機器情報をプリントします。

機器情報通信履歴レポート

機器情報配信の通信の履歴をレポートとしてプリントします。機器情報通信履歴レポートは、自動でも手動でもプリントすることができます。

レポートは、100 件の文書の配信／受信が終了した時点でプリントするか、指定した時刻にプリントするかを選択することができます。また、配信／受信別にプリントすることもできます。(➞ ユーザーズガイド > セキュリティ)

2009 04/09 THU 19:55　　LBP4500　　001

****
***　機器情報通信履歴ﾚﾎﾟｰﾄ　***
****

開始時刻	終了時刻	種別	通信先	ﾃﾞｰﾀ内容	通信結果
04/06 16:06	04/06 16:07	配信	111.111.111.1	部門ID	NG #754
04/06 16:10	04/06 16:10	配信	111.111.111.1	部門ID	NG #754
04/06 16:10	04/06 16:10	配信	222.222.222.222	部門ID	NG #754
04/06 16:10	04/06 16:10	配信	333.333.333.333	部門ID	NG #754

■ 開始時刻

機器情報の配信／受信が開始された日付と時刻が 24 時間制でプリントされます。(* マークはすでに機器情報配信／受信レポートをプリントしたことのある履歴です。)

■ 終了時刻

機器情報の配信／受信が終了した日付と時刻が 24 時間制でプリントされます。

■ 種別

機器情報を配信したか受信したかプリントされます。

■ 通信先

配信の場合は、配信先をプリントします。

受信の場合は、配信元をプリントします。

■ データ内容

機器情報を配信／受信したデータ内容をプリントします。

■ 通信結果

正常に配信／受信が終了したときは "OK"、配信／受信エラーのときは "NG" とプリントされます。

配信／受信エラーのときは、終了コードの番号もプリントされます。

システム情報

MEAP 上にインストールされているアプリケーション、および一部のシステムアプリケーションの情報を印刷することができます。システム情報は、必要に応じて手動でプリントします。（➞ ユーザーズガイド > セキュリティ）

```
                            ****************************
                            *** System Information ***
                            ****************************

MEAP Function ID : xxxx,xxxx,xxxx,xxxx,xxxx,xxxx,xxxx,xxxx
MEAP Specification : xx,xx,xx,xx,xx,xx,xx,xx
MEAP Contents : xx.xx


Application Name : DSL Installer Service
Application ID/System Application Name : xxxxxxxx-xxxx-xxxx-xxxx-xxxxxxxxxxxx
Application Version : x.x.x.x
Status : Active
Installed on : Thu Apr 19 10:10:10 GMT+09:00 2009
Vendor : Canon Inc.
License Status : Installed
Maximum Memory Usage : 1500
Registered Service :
```

- MEAP Contents：
  MEAP のバージョンが印刷されます。
- MEAP Specifications：
  MEAP の機能を示す情報が印刷されます。
- Application Name：
  アプリケーションの名称が印刷されます。
- Application ID/System Application Name：
  システムアプリケーションの場合はファイル名、一般のアプリケーションの場合はアプリケーション ID が印刷されます。
- Application Version：
  アプリケーションのバージョン名が印刷されます。
- Status：
  アプリケーションの状態が印刷されます。
  - ・Installed：インストール済み
  - ・Active：起動中
  - ・Stopped：停止中
- Installed on：
  アプリケーションをインストールした日時が印刷されます。
- Vendor：
  アプリケーションの開発メーカ名が印刷されます。
- License Status：
  ライセンスの状態が印刷されます。
  - ・Installed：インストール済み
  - ・Invalid：失効
  - ・Overlimit：超過

- License Expires After：
ライセンス期限が印刷されます。ライセンスの状態が Unnecessary のときは印刷されません。
- License Upper Limit ：
カウンタごとの上限枚数が印刷されます。ライセンスの状態が Unnecessary のときは印刷されません。
- Counter Value：
カウンタごとの現在値が印刷されます。ライセンスの状態が Unnecessary のときは印刷されません。
- Maximum Memory Usage：
アプリケーションの最大メモリ使用量が印刷されます。印刷された数値の単位は K バイトです。
- Registered Service：
アプリケーションから MEAP のシステムに登録しているサービスが印刷されます。該当するデータがない場合は印刷されません。

メモ

- プリントされる項目は製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。
- プリントサンプルは、「PortalService」というアプリケーションがインストールされている状態のものです。「PortalService」は MEAP Administration Software CD-ROM に入っているファイルを使用して、インストールすることができます。

仕様

製品が改良され変更になったり、今後発売される製品によって内容が変更になることがありますので、ご了承ください。

本製品に関する情報はキヤノンホームページでもご確認いただけます。キヤノンホームページ（http://canon.jp/）の製品情報から「プリンター」のカテゴリーを選択し、お使いの機種のページを参照してください。

本体

4

付録

■ ハードウェアの仕様

項目	仕様
名称	キヤノン LBP4510
形式	デスクトップ型ページプリンタ
プリント方式	電子写真方式（オンデマンド定着）
解像度	1200 dpi（スーパーファインモード）／ 600 dpi（ファインモード）
プリント速度 **普通紙 (64 ～ 90 g/m^2)**	A4 連続プリント時　45 ページ／分 * プリント速度は、用紙サイズや用紙タイプ、プリント枚数、定着モードの設定により段階的に遅くなることがあります。（これは熱による故障などを防止するための安全機能が働くためです。）
ウォームアップタイム **(電源オンからプリンタがスタンバイになるまでの時間)**	60 秒以下 * 本製品の使用条件（オプション品装着の有無や設置環境など）によって異なる場合があります。
リカバリータイム **(スリープからスタンバイになるまでの復帰時間)**	約 18 秒
ファーストプリント時間	A4 プリント／排紙トレイ使用時 約 8 秒 * 出力環境によって異なる場合があります。

項目	仕様
使用可能用紙	カセットから給紙 用紙坪量：　64 g/m^2 ～ 90 g/m^2 用紙種類：　普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、封筒* * 封筒は、カセット 1 にオプションの封筒カセット・C2 を装着した場合にセットすることができます。 手差しトレイから給紙 用紙坪量*：　64 g/m^2 ～ 128 g/m^2 用紙種類：　普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙、ラベル用紙、郵便はがき、郵便往復はがき、郵便 4 面はがき、OHP フィルム、第 2 原図、封筒 * 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙、第 2 原図、封筒の坪量を表記しています。 用紙の種類によっては、使用の際に条件があります。詳細に関しては「使用できる用紙」（→P.2-2）を参照してください。
自動両面印刷	A3、B4、A4、B5、A5（A5R のみ）、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、エグゼクティブ、ステートメント（ステートメント R のみ）
給紙方式／給紙容量	カセット給紙：　650 枚× 2 カセット（64 g/m^2） 550 枚× 2 カセット（80 g/m^2） 手差し給紙：　55 枚（64 g/m^2） 50 枚（80 g/m^2）
排紙方式／排紙容量	排紙トレイ（フェースダウン）： A4、B5、A5、レター、エグゼクティブ、ステートメント：約 250 枚（64 g/m^2） A3、B4、レジャー（11 × 17）、リーガル：約 100 枚（64 g/m^2）
稼働音（ISO9296 に基づく表示騒音放射値）	Lwad（表示 A 特性音響パワーレベル（1B=10dB）） スタンバイ時：測定限界以下 プリント時：7.5 B 以下 音圧レベル（バイスタンダ位置） スタンバイ時：35 dB プリント時：53 dB
使用環境（プリンタ本体のみ）	動作環境 ・温度範囲：10 ～ 30 ℃ ・湿度範囲：20 ～ 80%RH（相対湿度・結露しないこと）
電源	AC 100 V 11 A　50 Hz/60 Hz 共通

項目		仕様
消費電力（20 ℃時）		動作時平均：約 745 W スタンバイ時平均：約 52 W スリープモード時平均：約 1 W 最大：1230 W 以下 ※電源を切った場合でも、電源プラグを電源コンセントに差し込んだ状態では、わずかですが電力が消費されています。 完全に電力消費をなくすためには、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
消耗品	トナー容器	Canon Toner Cartridge 530 （キヤノン　トナーカートリッジ　５３０）
大きさ		565 mm（幅）× 700 mm（奥行）× 786.4 mm（高さ）
質量		約 72.2 kg
機械占有寸法		862 mm（幅）× 700 mm（奥行）（手差しトレイを伸ばしたサイズ）

■ コントローラの仕様

メモリ（RAM）容量	標準 768 MB オプションの増設メモリ（512 MB）により、最大 1280 MB まで拡張可能
ホストインタフェース	Hi-Speed USB/USB × 1 個 LAN コネクタ（10BASE-T/100BASE-TX/1000Base-T）× 1 個
ユーザインタフェース	・TFT 液晶タッチパネルディスプレイ ・LED ランプ（3 個） ・操作キー（18 個） ・調整ダイヤル（1 個）
RAM スロット	1
拡張ボードスロット	2

■ ソフトウェアの仕様

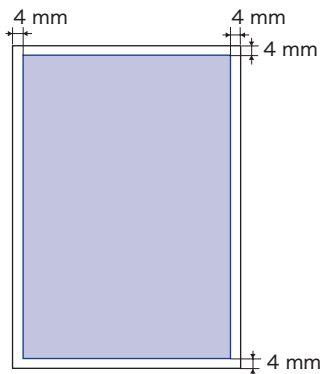
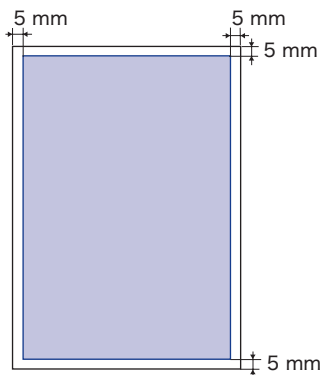
動作モード	LIPS モード、エミュレーションモード（N201、ESC/P、I5577、HP-GL、HP-GL/2）、Imaging モード、PDF モード	
内蔵コントロールコマンド	LIPS II+ ／ LIPS III ／ LIPS IV ／ LIPS LX	
エミュレーションコマンド	内蔵	ESC/P
	オプション	N201、I5577、HP-GL、HP-GL/2
内蔵スケーラブルフォント	・平成明朝体 W3*、平成角ゴシック体 W5*、丸ゴシック体 ・Courier、Swiss、Dutch、Symbol　全 4 書体 13 セット ・バーコード（CODE39、NW-7、JAN、郵便バーコード、OCRフォント） * これらのフォントは日本規格協会を中心に開発参加者が共同開発したものです。当社の許可なしに複製することはできません。	

有効印字領域	● LIPS プリンタドライバからプリントした場合 定形サイズの用紙の場合、用紙の端から上下左右の余白は 5 mm（封筒は 10 mm）です。 * プリンタドライバで［印字領域を広げて印刷する］にチェックしてプリントした場合、余白が各用紙のサイズの端から上下左右 2.5 mm（B4 以上の用紙は後端が 3.5 mm）となり、有効印字領域が拡大されます。 * 用紙いっぱいにデータがある場合、［印字領域を広げて印刷する］にチェックしてプリントしても、データの周囲が欠けて印字されることがあります。その場合はプリンタドライバでデータが欠けないように縮小率を設定し、プリントしなおしてください。 ● ダイレクトプリントした場合 ・ PDFデータの場合:用紙の端から上下左右の余白は4 mmです。 ・ TIFF/JPEG データの場合：用紙の端から上下左右の余白は 5 mm です。 * タッチパネルまたはリモート UI で［印字領域拡大する］を設定してプリントした場合、余白が各用紙のサイズの端から上下左右 2.5 mm（B4 以上の用紙は後端が 3.5 mm）となり、印字領域が拡大されます。(→ ユーザーズガイド > プリント > 本体の設定 (LIPS プリンタ)) * 用紙いっぱいにデータがある場合、［印字領域拡大する］を設定してプリントしても、データの周囲が欠けて印字されることがあります。

●LIPSプリンタドライバからプリントした場合

4

付録

●PDFファイルをダイレクトプリントした場合

●TIFF/JPEGデータをダイレクトプリントした場合

2段カセットペディスタル・Y3

項目	仕様
用紙サイズ	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、レターR、エグゼクティブ、ステートメントR
給紙段数／給紙容量	650枚（64 g/m^2）、550枚（80 g/m^2）／2段
電源／最大消費電力	本体より供給／約20 W
大きさ／質量	565 mm（幅）× 700 mm（奥行）× 252 mm（高さ）／約23 kg

サイドペーパーデッキ・Q1

項目	仕様
用紙サイズ	A4、レター
給紙容量	3000 枚（64 g/m^2）、2700 枚（80 g/m^2）
電源／最大消費電力	本体より供給／約 35 W
大きさ／質量	372 mm（幅） × 591 mm（奥行） × 473 mm（高さ）／約 29.6 kg
本体接続時の占有寸法	937 mm（幅） × 700 mm（奥行）

封筒カセット・C2

項目	仕様
封筒サイズ	洋形４号、COM10 No.10、Monarch : Catalog Glove No.8、DL、ISO-B5、ISO-C5
給紙容量	50 枚（高さ 30 mm 相当）
大きさ／質量	565 mm（幅） × 521 mm（奥行） × 95 mm（高さ）／約 3 kg

フィニッシャー・S1

項目	仕様
用紙サイズ／使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、レター R、ステートメント R、郵便はがき、往復はがき、４面はがき、封筒（洋形４号、COM10 No.10、Monarch : Catalog Glove No.8、DL、ISO-B5、ISO-C5） 64 g/m^2 ～ 128 g/m^2 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙、第２原図、OHP フィルム、ラベル用紙、郵便はがき、往復はがき、４面はがき、封筒

項目		仕様
トレイ容量		ノンソート、ソート、グループ A4、B5、A5R、レター、ステートメント R：1000 枚（高さ 130 mm 相当） A3、B4、A4R、B5R、レジャー（11 × 17)、リーガル、レターR：500 枚（高さ 65 mm 相当） ステイプルソート A4、B5、レター：1000 枚／ 30 部（高さ 130 mm 相当） A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターR：500 枚／ 30 部（高さ 65 mm 相当） ノンソート、ソート、グループ：サイズ混載時 500 枚（高さ 65 mm 相当） ステイプルソート：サイズ混載時 500 枚／ 30 部（高さ 65 mm 相当）
トレイ容量（追加トレイ装着時）		ノンソート、ソート、グループ A4、B5、A5R、レター、ステートメント R：300 枚（高さ 40 mm 相当） A3、B4、A4R、B5R、レジャー（11 × 17)、リーガル、レターR：150 枚（高さ 20 mm 相当） ステイプルソート A4、B5、レター：300 枚／ 30 部（高さ 40 mm 相当） A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターR：150 枚／ 30 部（高さ 20 mm 相当） ノンソート、ソート、グループ：サイズ混載時 150 枚（高さ 20 mm 相当） ステイプルソート：サイズ混載時 150 枚／ 30 部（高さ 20 mm 相当）
ステイプル		A4、B5、レター：50 枚（64 ～ 80 g/m^2) A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17)、リーガル、レターR：30 枚（64 ～ 80 g/m^2) * コーナーステイプルのみ
電源／最大消費電力		本体より供給／約 45W（フィニッシャー用追加トレイ･B1 装着時）
消耗品	**針ケース**	ステイプル・J1
大きさ／質量		598 mm（幅）× 552 mm（奥行）× 315 mm（高さ）（補助トレイを伸ばしたサイズ）／約 12 kg
本体接続時の占有寸法		1044 mm（幅）× 700 mm（奥行）（手差しトレイと補助トレイを伸ばしたサイズ）

フィニッシャー・AE1

項目		仕様
用紙サイズ／使用可能用紙		A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、レターR、エグゼクティブ、ステートメントR、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、不定形サイズ（99 × 148 mm ～ 297 × 431.8 mm）、封筒（洋形4号、COM10 No.10、Monarch : Catalog Glove No.8、DL、ISO-B5、ISO-C5） 64 g/m^2 ～ 128 g/m^2 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙、第2原図、OHPフィルム、ラベル用紙、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、封筒
トレイ容量		ノンソート、ソート、グループ A4、B5、A5R、レター、ステートメントR：1000枚（高さ147 mm相当） A3、B4、A4R、B5R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターR：500枚（高さ73.5 mm相当） ステイプルソート A4、B5、レター：1000枚／30部（高さ147 mm相当） A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターR：500枚／30部（高さ73.5 mm相当） ノンソート、ソート、グループ：サイズ混載時 500枚（高さ73.5 mm相当） ステイプルソート：サイズ混載時 500枚／30部（高さ73.5 mm相当）
ステイプル		A4、B5、レター：50枚（64 ～ 80 g/m^2） A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターR：30枚（64 ～ 80 g/m^2） コーナーステイプル：A3、B4、A4、A4R、B5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、レターR ダブルステイプル：A3、B4、A4、A4R、B5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、レターR
電源／最大消費電力		本体より供給／約70 W（パンチャーユニット・L1装着時）
消耗品	**針ケース（ステイプルユニット）**	ステイプル・J1
	針カートリッジ（中とじユニット）	ステイプル・D3
大きさ／質量		643 mm（幅）× 657 mm（奥行）× 1037 mm（高さ）（補助トレイを伸ばしたサイズ）／約43.2 kg
本体接続時の占有寸法		1508 mm（幅）× 700 mm（奥行）（手差しトレイと補助トレイを伸ばしたサイズ） 1615 mm（幅）× 700 mm（奥行）（パンチャーユニット・L1装着時、手差しトレイと補助トレイを伸ばしたサイズ）

サドルフィニッシャー・AE2

項目	仕様
用紙サイズ／使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、レターR、エグゼクティブ、ステートメントR、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、不定形サイズ（99 × 148 mm ～ 297 × 431.8 mm）、封筒（洋形4号、COM10 No.10、Monarch : Catalog Glove No.8、DL、ISO-B5、ISO-C5） 64 g/m^2 ～ 128 g/m^2 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙、第2原図、OHPフィルム、ラベル用紙、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、封筒
トレイ容量	ノンソート、ソート、グループ A4、B5、A5R、レター、ステートメントR：1000枚（高さ147 mm相当） A3、B4、A4R、B5R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターR：500枚（高さ73.5 mm相当） ステイプルソート A4、B5、レター：1000枚／30部（高さ147 mm相当） A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターR：500枚／30部（高さ73.5 mm相当） ノンソート、ソート、グループ：サイズ混載時 500枚（高さ73.5 mm相当） ステイプルソート：サイズ混載時 500枚／30部（高さ73.5 mm相当） 中とじ：1～5枚／25部、6～10枚／15部、11～15枚／10部 * 製本の［表紙をつける］を設定している場合は10部まで
ステイプル	A4、B5、レター：50枚（64 ～ 80 g/m^2） A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターR：30枚（64 ～ 80 g/m^2） コーナーステイプル：A3、B4、A4、A4R、B5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、レターR ダブルステイプル：A3、B4、A4、A4R、B5、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、レターR
中とじ	15枚（64 ～ 80 g/m^2） A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レターR
電源／最大消費電力	本体より供給／約70 W（パンチャーユニット・L1装着時）
大きさ／質量	747 mm（幅）× 657 mm（奥行）× 1037 mm（高さ）（補助トレイを伸ばしたサイズ）／約73.2 kg
本体接続時の占有寸法	1607 mm（幅）× 700 mm（奥行）（手差しトレイと補助トレイを伸ばしたサイズ） 1714 mm（幅）× 700 mm（奥行）（パンチャーユニット・L1装着時、手差しトレイと補助トレイを伸ばしたサイズ）

パンチャーユニット・L1

項目	仕様
パンチ可能サイズ／使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、レジャー（11 × 17)、リーガル、レター、レターR 64 g/m^2 ～ 128 g/m^2 普通紙、再生紙、色紙、厚紙
パンチ穴数／穴径	2穴／6.5 mm
パンチ穴間隔	80 mm
パンチ屑受け容量	10000枚（80 g/m^2）
電源	本体より供給
大きさ／質量	107 mm（幅）× 615 mm（奥行）× 941 mm（高さ）／約7.2 kg

インナーパンチャーキット・Q1

項目	仕様
パンチ可能サイズ／使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、レジャー（11 × 17)、リーガル、レター、レターR 64 g/m^2 ～ 128 g/m^2 普通紙、再生紙、色紙、厚紙
パンチ穴数／穴径	2穴／6.5 mm
パンチ穴間隔	80 mm
パンチ屑受け容量	2500枚（64 g/m^2）
電源	フィニッシャー・S1より供給
大きさ／質量	505 mm（幅）× 130 mm（奥行）× 175 mm（高さ）／約3.9 kg

フィニッシャー用追加トレイ・B1

項目	仕様
用紙サイズ／使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、レジャー（11 × 17)、リーガル、レター、レターR、ステートメントR、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、不定形サイズ（99 × 148 mm ～ 297 × 431.8 mm)、封筒（洋形4号、COM10 No.10、Monarch : Catalog Glove No.8、DL、ISO-B5、ISO-C5) 64 g/m^2 ～ 128 g/m^2 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙、第2原図、OHPフィルム、ラベル用紙、郵便はがき、往復はがき、4面はがき、封筒

項目	仕様
トレイ容量	ノンソート、ソート、グループ A4、B5、A5R、レター、ステートメント R：300 枚（高さ 40 mm 相当） A3、B4、A4R、B5R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター R：150 枚（高さ 20 mm 相当） ステイプルソート A4、B5、レター：300 枚／ 30 部（高さ 40 mm 相当） A3、B4、A4R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター R：150 枚／ 30 部（高さ 20 mm 相当） ノンソート、ソート、グループ：サイズ混載時 150 枚（高さ 20 mm 相当） ステイプルソート：サイズ混載時 150 枚／ 30 部（高さ 20 mm 相当）
大きさ／質量	200 mm（幅）× 395 mm（奥行）× 80 mm（高さ）／約 1.7 kg

インナー 2 ウェイトレイ・D1

項目	仕様
用紙サイズ／使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、レター R、エグゼクティブ、ステートメント R、郵便はがき、往復はがき、4 面はがき、不定形サイズ（99 × 148 mm ～ 297 × 431.8 mm）、封筒（洋形 4 号、COM10 No.10、Monarch : Catalog Glove No.8、DL、ISO-B5、ISO-C5） 64 g/m^2 ～ 128 g/m^2 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙、厚紙、第 2 原図、OHP フィルム、ラベル用紙、郵便はがき、往復はがき、4 面はがき、封筒
トレイ容量	トレイ A： 250 枚（A4、B5、レター、エグゼクティブ）、100 枚（その他） トレイ B： 100 枚（A4、B5、レター、エグゼクティブ）、50 枚（その他）
電源／最大消費電力	本体より供給／約 16 W
大きさ／質量	176 mm（幅）× 546 mm（奥行）× 151 mm（高さ）／約 3.9 kg
本体接続時の占有寸法	862 mm（幅）× 700 mm（奥行）（手差しトレイを伸ばしたサイズ）

コピートレイ・J1

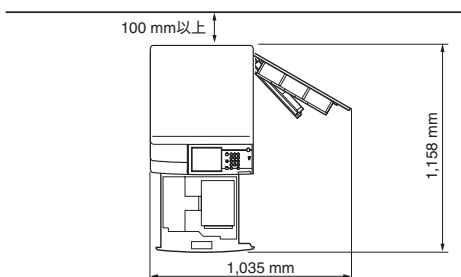
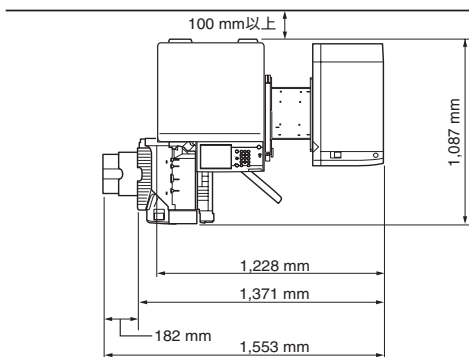
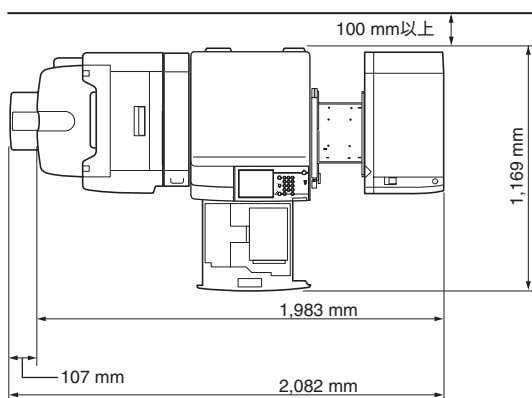
項目	仕様
用紙サイズ／使用可能用紙	A3、B4、A4、A4R、B5、B5R、A5R、レジャー（11 × 17）、リーガル、レター、レターR、エグゼクティブ、ステートメントR 64 g/m^2 ～ 128 g/m^2 普通紙、再生紙、色紙、パンチ済み紙
トレイ容量	150 枚（A4、B5、レター、エグゼクティブ）、75 枚（その他）
大きさ／質量	347 mm（幅）× 351 mm（奥行）× 120 mm（高さ）／約 471 g
本体接続時の占有寸法	912 mm（幅）× 700 mm（奥行）

カードリーダ -C1

項目	仕様
使用カード	磁気式カード
カード読み取り方式	磁気式移動読み取り
磁気カード読み取り方向	差込方向
磁気記録・再生	再生
大きさ／質量	88 mm（幅）× 100 mm（奥行）× 32 mm（高さ）／約 295 g

設置スペースにはゆとりを

■ 製品の左右と前面には、操作に十分なスペースをとってください。

オプション非装着時

フィニッシャー・S1+ サイドペーパーデッキ・Q1

サドルフィニッシャー・AE2+ パンチャーユニット・L1+
バッファパスユニット・E2+ サイドペーパーデッキ・Q1

ユーザ入力項目の文字制限と機能制限について

文字制限

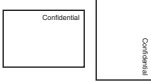
初期設定／登録			
共通仕様設定	イメージ合成のフォーム登録	フォーム名	半角 24 文字、全角 12 文字
	ページ印字／スタンプの文字列登録	文字列	半角 32 文字、全角 16 文字
システム管理設定	システム管理者情報の設定	システム管理者名	半角 32 文字、全角 16 文字
		メールアドレス	半角 64 文字
		連絡先	半角 32 文字、全角 16 文字
		コメント	半角 32 文字、全角 16 文字
	デバイス情報	デバイス名	半角 32 文字、全角 16 文字
		設置場所	半角 32 文字、全角 16 文字
ボックス仕様設定		名称	半角 24 文字、全角 12 文字

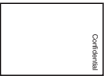
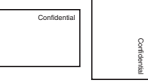
ボックス機能		
文書名		半角 24 文字、全角 12 文字
モードメモリ	名称	半角 10 文字、全角 5 文字

機能制限

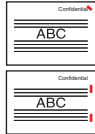
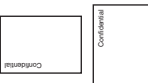
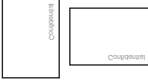
初期設定／登録			
システム管理設定	システム管理者情報の設定	システム管理部門 ID	最大 7 桁
		システム管理暗証番号	最大 7 桁
	部門別 ID 管理	部門 ID	最大 7 桁
		暗証番号	最大 7 桁
		制限面数	各 0 ～ 999999
	日付／時刻設定	日付／時刻	西暦、月、日、時刻

4 付録

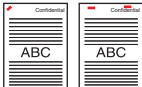
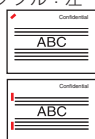
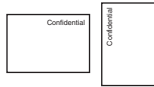
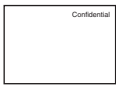
初期設定／登録		
ボックス仕様設定	個数	100
	暗証番号	7 桁

ボックス機能		
モードメモリ	個数	9
予約プリント	個数	32 ジョブ

用紙のセット向きについて

あらかじめロゴなどが印刷されている用紙にプリントするときの用紙のセット向きは以下のとおりです。

メモ

- プリントされた用紙のウラ面にプリントする場合は、下記のとおりにセットしてください。
  - ・カセット：これからプリントする面を上向きにセットしてください。
  - ・手差し、サイドペーパーデッキ：これからプリントする面を下向きにセットしてください。
- 両面印刷では、裏面からプリントされますので、用紙をセットする向きが片面プリントのときと逆になります。

■ ステイプルや両面印刷をしない場合

出力例 / 用紙方向、各種設定	A4, B5, レター, エグゼクティブ	A3, B4, A4R, B5R, A5R, レジャー（11×17）, リーガル, レターR, ステートメントR	A4, レター	A3, B4, A4R, B5R, A5R, レジャー（11×17）, リーガル, レターR, ステートメントR
カセット				
手差し、サイドペーパーデッキ				
オートタテヨコ回転設定	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可（サイドペーパーデッキ、手差しタテ位置セット、カセットタテ位置セットの場合はON）	ON/OFFどちらでも可

4 付録

■ 両面印刷する場合

出力例 / 用紙方向、各種設定	A4, B5, レター, エグゼクティブ	A3, B4, A4R, B5R, A5R, レジャー（11×17）, リーガル, レターR, ステートメントR	A4, レター	A3, B4, A4R, B5R, A5R, レジャー（11×17）, リーガル, レターR, ステートメントR
カセット	Confidential	Confidential	Confidential　Confidential	Confidential
手差し、サイドペーパーデッキ	Confidential	Confidential	Confidential　Confidential	Confidential
オートタテヨコ回転設定	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可 （サイドペーパーデッキ、手差しタテ位置セット、カセットタテ位置セットの場合はON）	ON/OFFどちらでも可

■ 右ステイプルをする場合

ステイプル位置出力例 / 用紙方向、各種設定	コーナー：右上 ダブル：右 Confidential ABC　Confidential ABC A4, B5, レター	コーナー：右上 ダブル：上 Confidential ABC　Confidential ABC A3, B4, A4R, レジャー（11×17）, リーガル, レターR	コーナー：右上 Confidential ABC A4, レター	コーナー：右上 ダブル：右 Confidential ABC Confidential ABC A3, B4, A4R, レジャー（11×17）, リーガル, レターR
カセット	Confidential	Confidential	Confidential　Confidential	Confidential
手差し、サイドペーパーデッキ	Confidential	Confidential	Confidential　Confidential	Confidential
オートタテヨコ回転設定	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可 （サイドペーパーデッキ、手差しタテ位置セット、カセットタテ位置セットの場合はON）	ON/OFFどちらでも可

4 付録

■ 左ステイプルをする場合

ステイプル位置出力例 / 用紙方向、各種設定	コーナー：左上 ダブル：左 A4, B5, レター	コーナー：左上 ダブル：上 A3, B4, A4R, レジャー（11×17）, リーガル, レターR	コーナー：左上 A4, レター	コーナー：左上 ダブル：左 A3, B4, A4R, レジャー（11×17）, リーガル, レターR
カセット				
手差し、サイドペーパーデッキ				
オートタテヨコ回転設定	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可	ON/OFFどちらでも可（サイドペーパーデッキ、手差しタテ位置セット、カセットタテ位置セットの場合はON）	ON/OFFどちらでも可

4

付録

ローマ字入力表

あ	ア	A	は	ハ	HA	が	ガ	GA	ぁ	ァ	XA
い	イ	I	ひ	ヒ	HI	ぎ	ギ	GI	ぃ	ィ	XI
う	ウ	U	ふ	フ	HU	ぐ	グ	GU	ぅ	ゥ	XU
え	エ	E	へ	ヘ	HE	げ	ゲ	GE	ぇ	ェ	XE
お	オ	O	ほ	ホ	HO	ご	ゴ	GO	ぉ	ォ	XO
か	カ	KA	ま	マ	MA	ざ	ザ	ZA	ゃ	ャ	XYA
き	キ	KI	み	ミ	MI	じ	ジ	ZI	ゅ	ュ	XYU
く	ク	KU	む	ム	MU	ず	ズ	ZU	ょ	ョ	XYO
け	ケ	KE	め	メ	ME	ぜ	ゼ	ZE			
こ	コ	KO	も	モ	MO	ぞ	ゾ	ZO			
さ	サ	SA	や	ヤ	YA	だ	ダ	DA	っ	ッ	XTU
し	シ	SI	ゆ	ユ	YU	ぢ	ヂ	DI			
す	ス	SU	よ	ヨ	YO	づ	ヅ	DU			
せ	セ	SE				で	デ	DE			
そ	ソ	SO				ど	ド	DO			
た	タ	TA	ら	ラ	RA	ば	バ	BA			
ち	チ	TI	り	リ	RI	び	ビ	BI			
つ	ツ	TU	る	ル	RU	ぶ	ブ	BU			
て	テ	TE	れ	レ	RE	べ	ベ	BE			
と	ト	TO	ろ	ロ	RO	ぼ	ボ	BO			
な	ナ	NA	わ	ワ	WA	ぱ	パ	PA			
に	ニ	NI	を	ヲ	WO	ぴ	ピ	PI			
ぬ	ヌ	NU				ぷ	プ	PU			
ね	ネ	NE	ん	ン	NN	ぺ	ペ	PE			
の	ノ	NO				ぽ	ポ	PO			
							ヴ	VU			

4
付録

JIS 漢字コード表

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	0100			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	゜	´	｀	¨
	0116	＾	￣	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―	‐	／
	0132	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］
	0148	｛	｝	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×
	0164	÷	＝	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
	0180	＄	¢	£	％	＃	＆	＊	＠	§	☆	★	○	●	◎	◇	
	0200		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓	
	0216											∈	∋	⊆	⊇	⊂	⊃
	0232	∪	∩									∧	∨	¬	⇒	⇔	∀
	0248	∃												∠	⊥	⌒	∂
	0264	∇	≡	≒	≪	≫	√	∽	∝	∵	∫	∬					
	0280			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶					◯	
	0316	０	１	２	３	４	５	６	７	８	９						
	0332		Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ
	0348	Ｐ	Ｑ	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ					
	0364		ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
	0380	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ	ｚ					
	0400		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
	0416	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
	0432	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
	0448	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
	0464	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
	0480	ゐ	ゑ	を	ん												
	0500		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
	0516	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
	0532	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
	0548	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
	0564	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
	0580	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
	0600		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο
	0616	Π	Ρ	Σ	Τ	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω							
	0632		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
	0648	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
	0700		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
	0716	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
	0732	Ю	Я														
	0748		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
	0764	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
	0780	ю	я														

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
ア	1600		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
	1616	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
	1632	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲
イ	1648	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
	1664	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
	1680	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
	1700		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
ウ	1716	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
	1732	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
エ	1748	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
	1764	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
	1780	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
オ	1800		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億
	1816	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
カ	1832	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
	1848	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
	1864	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
	1880	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
	1900		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
	1916	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
	1932	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫
	1948	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
	1964	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
	1980	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
	2000		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
	2016	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
	2032	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
	2048	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
	2064	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
キ	2080	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
	2100		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
	2116	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
	2132	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
	2148	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
	2164	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
	2180	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
	2200		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
キ	2216	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
	2232	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
	2248	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
	2264	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
ク	2280	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
	2300		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
	2316	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
ケ	2332	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
	2348	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚	鶏	芸	迎	鯨
	2364	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
	2380	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	
	2400		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
	2416	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
	2432	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
コ	2448	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
	2464	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
	2480	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
	2500		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
	2516	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
	2532	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
	2548	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	砿	鋼	閤	降
	2564	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
	2580	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
	2600		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
	2616	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
サ	2632	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
	2648	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
	2664	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
	2680	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
	2700		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
	2716	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
	2732	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
シ	2748	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
	2764	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
	2780	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
	2800		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
	2816	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	2832	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦
	2848	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
	2864	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
	2880	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
	2900		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐
	2916	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
	2932	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
	2948	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
	2964	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
シ	2980	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
	3000		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
	3016	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
	3032	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
	3048	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
	3064	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
	3080	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
	3100		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
	3116	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
	3132	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
	3148	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
	3164	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
ス	3180	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	
	3200		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
	3216	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
	3232	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
	3248	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
セ	3264	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
	3280	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
	3300		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
	3316	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
	3332	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
	3348	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
ソ	3364	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
	3380	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
	3400		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
	3416	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
タ	3432	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
タ	３４４８	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
	３４６４	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
	３４８０	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
	３５００		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
	３５１６	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
	３５３２	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地
チ	３５４８	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
	３５６４	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
	３５８０	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
	３６００		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
	３６１６	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
	３６３２	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴
ツ	３６４８	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷	嬬	紬	爪	吊
	３６６４	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
テ	３６８０	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
	３７００		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
	３７１６	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
	３７３２	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
ト	３７４８	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
	３７６４	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
	３７８０	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	
	３８００		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働
	３８１６	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
	３８３２	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
	３８４８	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
ナ	３８６４	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
	３８８０	軟	難	汝	二	尼	弐	迩	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
ニ	３９００		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
ネ	３９１６	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
ノ	３９３２	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
ハ	３９４８	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
	３９６４	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
	３９８０	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	
	４０００		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発
	４０１６	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
	４０３２	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
	４０４８	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
ヒ	4064	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
	4080	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
	4100		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
	4116	桧	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
	4132	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
	4148	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
フ	4164	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
	4180	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
	4200		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
	4216	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
ヘ	4232	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
	4248	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
ホ	4264	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
	4280	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
	4300		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
	4316	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
	4332	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
	4348	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
マ	4364	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
	4380	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭	繭	麿	万	慢	満	
	4400		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
ミ	4416	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
メ	4432	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模
モ	4448	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
	4464	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
ヤ	4480	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒	
ユ	4500		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
	4516	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
ヨ	4532	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
	4548	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽	養	慾	抑	欲
	4564	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
ラ	4580	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	
リ	4600		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜
	4616	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
	4632	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
	4648	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
ル	4664	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
レ	4680	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
	4700		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗
ロ	4716	楼	榔	浪	漏	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄	肋	録
	4732	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨
ワ	4748	椀	湾	碗	腕												

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	4800		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乘	亂	亅	豫	亊
	4816	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
人	4832	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻
	4848	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
	4864	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
	4880	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸	傀	傚	傅	傴	傲	
	4900		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂
	4916	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	竸
	4932	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢
	4948	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
	4964	凰	凵	凾	刄	刋	刔	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
力	4980	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔	劒	剱	劈	劑	辨	
	5000		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵
	5016	勸	勹	匆	匈	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
	5032	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦
	5048	厥	厮	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
口	5064	呀	听	吭	吼	吮	吶	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
	5080	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨	
	5100		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢
	5116	唹	啀	啣	啌	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀	咯	喊
	5132	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜
	5148	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
	5164	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
	5180	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮	囹	圀	囿	圄	圉	
	5200		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦	圷	圸	坎	圻	址	坏
土	5216	坩	埀	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆	埔	埒
	5232	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹
	5248	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壙	壘	壥
	5264	壜	壤	壟	壯	壺	壹	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
大	5280	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奠	奧	奬	奩	
	5300		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姙	姚	娥	娟
	5316	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾	嫋	嫂
	5332	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾
	5348	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	斈	孺	宀
宀	5364	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
	5380	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	
	5400		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌	岑	岔	妛	岫	岻	岶
山	5416	岼	岷	峅	岾	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
	5432	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	5448	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍	巓	巒	巖	巛
	5464	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
	5480	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏	
广	5500		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸
	5516	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌	彎	弯
	5532	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從
	5548	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
	5564	怙	怐	怩	怎	怱	怛	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
	5580	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙	悁	悍	惧	悃	悚	
	5600		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸	惠	惓	悴	忰	悽	惆
	5616	悵	惘	慍	愕	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
心	5632	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙
	5648	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖	憇	憬	憔	憚
	5664	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
	5680	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛	
	5700		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼
	5716	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿	拆	擔
	5732	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵
	5748	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掵	捫
手	5764	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
	5780	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	
	5800		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧	舉	擠	擡	抬	擣	擯
	5816	攬	擶	擴	擲	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴	攵	攷
支	5832	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛
	5848	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
	5864	昃	旻	杳	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
日	5880	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	曁	暹	曉	暾	暼	
	5900		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曵	曷	朏	朖	朞	朦
	5916	朧	霸	朮	朿	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
	5932	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤
	5948	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
	5964	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
	5980	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘	椢	椦	棡	椌	棍	
木	6000		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚
	6016	椣	椡	棆	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
	6032	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝
	6048	榻	槃	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槹
	6064	槲	槧	樅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
	6080	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐	檍	檠	檄	檢	檣	

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
木	6100		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻
	6116	欅	蘖	櫺	欒	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃	歉	歐
	6132	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤
	6148	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟	毬	毫	毳	毯
	6164	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
水	6180	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	
	6200		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洳	洒
	6216	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
	6232	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭
	6248	湮	渮	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟	湃	渺	湎	渤
	6264	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
	6280	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌	
	6300		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘
	6316	澎	澑	濂	潦	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濔	濘
	6332	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟
	6348	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
火	6364	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
	6380	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	
	6400		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆
	6416	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
犬	6432	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩
	6448	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻	獺	珈	玳	珎
玉	6464	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
	6480	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱	
	6500		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸	瓷	甄	甃	甅	甌	甎
	6516	甍	甕	甓	甞	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚	畩	畤
田	6532	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣
病	6548	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
	6564	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
	6580	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	
	6600		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴
	6616	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
目	6632	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿
	6648	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
	6664	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
石	6680	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬	
	6700		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬	礫	祀	祠	祗	祟	祚
	6716	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
禾	6732	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	6748	穉	穡	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竈	窰
穴	6764	窶	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
	6780	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	
	6800		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴	筧	筰	筱	筬	筮	箝
	6816	箘	箟	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏	箴	篆
竹	6832	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣
	6848	簧	簪	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐	籘	籟	籤	籖
	6864	籥	籬	籵	粃	粐	粤	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
米	6880	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯	糲	糴	糶	糺	紆	
	6900		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿	紵	絆	絳	絖	絎	絲
	6916	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
糸	6932	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅
	6948	縊	縣	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻	縵	縹	繃	縷
	6964	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
	6980	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺	
	7000		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罧	罸
	7016	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
	7032	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋
	7048	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
	7064	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
	7080	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋	
肉	7100		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀
	7116	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀	臂	膺
	7132	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅
	7148	與	舊	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
	7164	艢	艨	艪	艫	舮	艱	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
	7180	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹	苞	茆	苜	茉	苙	
	7200		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	茘	莅	莚
	7216	莪	莟	莢	莖	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
	7232	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽
	7248	萸	蔆	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮	蒂	葩	葆	萬
艸	7264	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
	7280	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈	
	7300		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊	薨	蕭	薔	薛	藪	薇
	7316	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
	7332	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣
	7348	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫	蛔	蛞	蛩	蛬
虫	7364	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
	7380	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
虫	7400		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄
	7416	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
	7432	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁
衣	7448	衾	袞	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢	袍	袤	袰	袿
	7464	袱	裃	裄	裔	裘	裙	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
	7480	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞	
	7500		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩
	7516	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
言	7532	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅
	7548	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
	7564	諤	諱	謔	諠	諢	諷	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
	7580	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	
	7600		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讙	讚	谺	豁
	7616	谿	豈	豌	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊	貍	貎
	7632	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚
貝	7648	賽	賺	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓	賍	贔	贖	赧
	7664	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
足	7680	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟	蹂	踵	踰	踴	蹊	
	7700		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁
	7716	躇	躅	躄	躋	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆	躱	躾
	7732	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜
車	7748	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉	轆	轎	轗	轜
	7764	轢	轣	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
辶	7780	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	逹	迸	
	7800		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲
	7816	邂	遽	邁	邀	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
	7832	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢
酉	7848	醫	醯	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釡	釛	釼
金	7864	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
	7880	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷	鋩	錏	鋺	鍄	錮	
	7900		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭
	7916	鎔	鎹	鏖	鏗	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔	鐓	鐃
	7932	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩
	7948	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊	閔	閖	閘	閙
門	7964	閠	閨	閧	閭	閼	閻	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
	7980	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	
阜	8000		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴
	8016	隶	隸	隹	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
雨	8032	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉

	区点	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
	８０４８	靜	靠	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
革	８０６４	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
	８０８０	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆	顏	顋	顫	顯	顰	
頁	８１００		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飆	飩	飫	餃	餉	餒
食	８１１６	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
	８１３２	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭
馬	８１４８	駮	駱	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷	驅	驂	驀	驃
	８１６４	騾	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
	８１８０	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯	髫	髮	髴	髱	髷	
髟	８２００		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲
	８２１６	魄	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
魚	８２３２	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱
	８２４８	鯰	鰕	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮	鰛	鰥	鰤	鰡
	８２６４	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
鳥	８２８０	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈	
	８３００		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩
	８３１６	鶲	鷄	鷁	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭	鷯	鷽
	８３３２	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩
	８３４８	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝	黠	黥	黨	黯
	８３６４	黴	黶	黷	黹	黻	黼	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
	８３８０	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠	
	８４００		堯	槇	遙	瑤	凜	熙									

索引

さ

た

は

や

システム管理モードについて

この「システム管理モードについて」の部分は、切り取って、管理責任者が保管しておいてください。

初期設定／登録のシステム管理者情報を設定することによって、初期設定／登録のシステム管理設定に規制をかけたり、他のユーザが設定した内容を管理することが可能になるモードをシステム管理モードといいます。

システム管理モードで行える操作は次のとおりです。

- ボックス内の文書の管理
- ボックス仕様設定

4

付録

システム管理モードにする

重要

- SSO-Hのログインサービスによる認証を設定しているとき、ユーザタイプが一般ユーザの場合はシステム管理モードにすることはできません。
- SSO-Hのログインサービスによる認証を設定しているとき、ユーザタイプが管理者の場合のみシステム管理モードにすることができます（システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を入力するダイアログボックスが表示されたときは、該当項目を入力してください）。

部門別 ID 管理をしている場合

1 システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を⓪〜⑨（テンキー）で入力します。

❏［部門 ID］を押したあと、システム管理部門 ID を入力します。

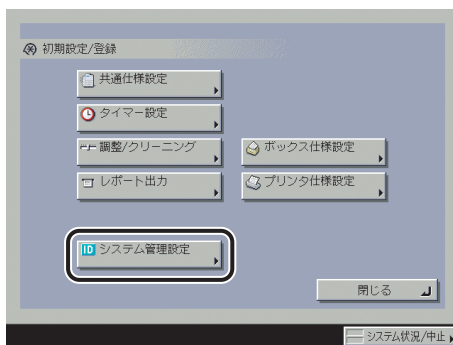
❏［暗証番号］を押したあと、システム管理暗証番号を入力します。

❏ (ID)（認証）を押します。

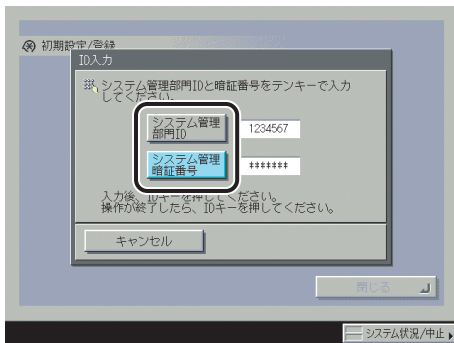
システム管理モードになります。

部門別ID管理をしていない場合

1 ⊛（初期設定／登録）を押します。

2 ［システム管理設定］を押します。

3 **システム管理部門 ID とシステム管理暗証番号を⓪〜⑨（テンキー）で入力します。**

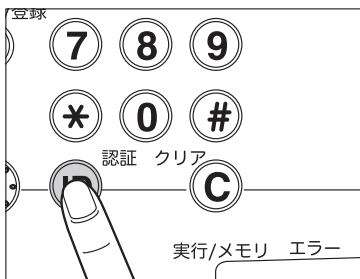
❑ ［システム管理部門 ID］を押したあと、システム管理部門 ID を入力します。

❑ ［システム管理暗証番号］を押したあと、システム管理暗証番号を入力します。

❑ Ⓘ（認証）を押します。

システム管理モードになります。

メモ　システム管理設定（初期設定／登録）のシステム管理者情報の設定で登録した番号を入力します。（→ ユーザーズガイド ＞ セキュリティ）

システム管理モードを解除する

1 **Ⓘ（認証）を押します。**

システム管理モードが解除されます。オートクリア機能が働いた場合もシステム管理モードは解除され、オートクリア後の機能で設定した機能の画面に戻ります。

4
付録

システム管理モードでボックスの操作をする

ユーザが設定したボックスの文書を操作することができます。例えば、暗証番号がわからなくなったユーザのボックスを操作したり、不要な文書の削除や緊急時に暗証番号が設定されているボックス内文書を取り出すことなどができます。

1 システム管理モードにします。

メモ　システム管理モードにする手順については、「システム管理モードにする」（➞P.4-43）の手順 1 を参照してください。

2 ［閉じる］を押します。

3 ボックスの操作を行います。

メモ　ボックスの使いかたについては、ユーザーズガイド > ボックスを参照してください。

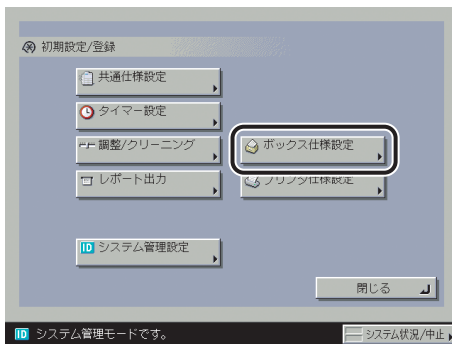
システム管理モードでボックス仕様を変更する

暗証番号で規制のかかっているボックスの仕様を変更することができます。例えば、不要になったボックスを初期化したり、ボックス名称などを変更することができます。

また、暗証番号がわからなくなったボックスの暗証番号を再設定することもできます。

1 システム管理モードにします。

メモ　システム管理モードにする手順については、「システム管理モードにする」（→P.4-43）の手順 1 を参照してください。

2 初期設定／登録画面で［ボックス仕様設定］を押して、設定を変更します。

ボックスの設定方法については、ユーザーズガイド > ボックスを参照してください。

3 ［閉じる］を押します。

4 付録

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon **キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社**

お客様相談センター（全国共通番号）

050-555-90061

＜受付時間＞

（平日） 9:00 ～ 20:00

（土日祝日） 10:00 ～ 17:00

（1/1～3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は 043-211-9627 をご利用ください。

※IP電話をお使いの場合、プロバイダーのサービスによってはつながらないことがあります。

※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

※消耗品はお買い上げいただいた販売店、お近くのキヤノン製品取り扱い店およびキヤノンマーケティングジャパン（株）販売窓口にてご購入ください。
なお、ご不明なときは、上記のお客様相談センターにご相談ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 **〒108-8011 東京都港区港南2-16-6**

Canonホームページ：http://canon.jp

FT5-3864 (010) XXXXXXXXXX PRINTED IN CHINA